

南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

第四條ノ二 出納官吏事務規程第三十五條乃至第三十七條及第七十二條ノ規定ハ取扱官廳ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二章 保管金ノ提出

第五條 保管金ヲ提出スル者ハ保管金提出書ヲ添へ現金ヲ取扱官廳ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ保管金ヲ提出スル者ハ預金部預金取扱規程第五條ノ規定ニ依リ保管金振込書ヲ添へ豫メ現金ヲ取扱官廳ノ預金取扱店ニ振込ミ預金部預金振込通知書ノ交付ヲ受ケ之ニ保管金提出書ヲ添へ取扱官廳ニ提出スルコトヲ得

取扱官廳前二項ノ提出書ノ必要ナシト認メタル場合ニ於テハ之ヲ省略セシムルコトヲ得

第六條 取扱官廳前條ノ規定ニ依リ保管金ノ提出ヲ受ケタルトキハ第一號書式ノ保管金受領證書ヲ提出者ニ交付スヘシ

第三章 保管金ノ拂渡

第七條 保管金ノ拂渡ヲ受クル權利ヲ有スル者ハ保管金拂渡請求書又ハ前條ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル保管金受領證書ヲ取扱官廳ニ提出シ其ノ拂渡ヲ請求スヘシ

取扱官廳前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ請求書又ハ受領證書ニ領收ノ旨ヲ記載セシメ之カ支拂ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ受取人特ニ現金ノ交付ヲ求メタル場合ヲ除クノ外預金部預金ニ預入ヲ爲シタル取扱官廳ハ現金ノ交付ニ代ヘ記名式持參人拂ノ

小切手ヲ振出スヘシ

第八條 保管金ノ拂渡ヲ受クル權利ヲ有スル者其ノ拂渡ヲ請求セムトスルニ當リ取扱官廳ノ預金取扱店所在地外ノ預金取扱店ニ於テ支拂ヲ受ケムトスルトキハ前條ノ請求書又ハ受領證書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

取扱官廳前項ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ該保管金ニシテ第二條但書ノ規定ニ依リ保管スルモノナルトキハ其ノ請求ヲ拒絕シ、大藏省預金部ニ預入レタルモノナルトキハ預金部預金取扱規程第十二條ノ手續ヲ爲シ第

二號書式ノ保管金支拂通知書ヲ請求者ニ交付シ指定ノ預金取扱店ヨリ之カ支拂ヲ受ケシムヘシ

第四章 保管金利子ノ拂渡

第九條 保管金ノ利子ノ拂渡ヲ受クル權利ヲ有スル者ハ毎年三月三十一日迄ニ生シタル利子ノ支拂ヲ請求スヘシ但シ保管金金額ノ拂渡ヲ受クル權利者ハ其ノ拂渡ヲ受クル時迄ニ生シタル利子ノ支拂ヲ請求スヘキモノトス

前項ノ利子ハ保管金提出ノ月及拂渡ノ月ハ其ノ金額ニ對シテ之ヲ付セス保管金ノ一圓未満ノ端數ニ對シ亦同シ

第十條 前條ノ權利者保管金ノ利子拂渡ヲ請求セムトスルトキハ第三號書式ノ保管金利子請求書ヲ取扱官廳ニ提出スヘシ

第十一條 取扱官廳前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ預金部預金取扱規程第十七條ノ規定ニ依リ預金部預金利子支拂請求書ヲ請求者ニ交付シ預金取扱店ヨリ之カ支拂ヲ受ケシムヘシ但シ前條ノ請求書ニ證明ヲ爲シタルモノヲ以テ預金部預金利子支拂請求書ニ代フルコトヲ得

第五章 保管金ノ保管替

第十二條 甲官廳ニ保管金ヲ提出シタル者乙官廳ニ保管替ヲ請求セムトスルトキハ第四號書式ノ保管金保管替請求書二通ヲ甲官廳ニ提出スヘシ

第十三條 甲官廳前條ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ該保管金ニシテ第二條但書ノ規定ニ依リ保管スルモノナルトキハ其ノ請求ヲ拒絕シ、大藏省預金部ニ預入レタルモノニシテ保管替ノ理由アリト認メタルトキハ預金部預金取扱規程第十一條ノ手續ヲ爲シ保管金保管替請求書ノ一通ニ承認ノ旨ヲ記入シ尙有利子ノモノハ第五號書式ノ保管金利子參考表ヲ添附シ之ヲ乙官廳ニ送付スヘシ

第十四條 乙官廳前條ノ請求書及其ノ預金取扱店ヨリ預金部預金領收證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ保管金受領證書ヲ保管替請求者ニ交付スヘシ

第十五條 前二條ノ規定ハ甲官廳保管金ヲ提出シタル者ノ請求ニ依ラスシテ保管金ヲ乙官廳ニ保管替ヲ爲サムトスル場合ニ於ケル甲官廳及乙官廳ノ取扱手續ニ付之ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於テ甲官廳ハ第十三條ノ規定ニ依リ送付スル保管金保管替請求書ニ代ヘ保管金保管替通知書ヲ乙官廳ニ送付スルモノトス

第六章 政府ノ所得ニ歸シタル保管金

第十六條 保管金規則、遺失物法其ノ他ノ法令ニ定メタル期間ノ經過ニ依リ政府ノ所得ニ歸シタル保管金アルトキハ取扱官廳ハ一年度分ヲ取纏メリ政府ノ所得ニ歸シタル保管金アルトキハ取扱官廳ハ一年度分ヲ取纏メリ第六號書式ノ保管金政府所得調書ヲ調製シ翌年度四月三十日迄ニ之ヲ所管大臣ノ指定スル主務官廳ニ送付スヘシ

第十七條 主務官廳前條ノ調書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ取扱官廳毎ニ所得總額ヲ記載金額トセル納入告知書ヲ取扱官廳ニ送付スヘシ

第十二輯 財務 第六章 保管

手續ヲ爲スヘシ

第十八條 第十六條ニ規定スルモノヲ除クノ外保管金ニシテ政府ノ所得ニ歸シタルモノアルトキハ取扱官廳ハ其ノ都度之ヲ歳入ニ納付スルノ手續ヲ爲スヘシ但シ特殊ノ資金ニ組入ヲ要スルモノニ付テハ當該資金ニ組入ノ手續ヲ爲スモノトス

第七章 雜則

第十九條 保管金ヲ提出シタル者其ノ交付ヲ受ケタル保管金受領證書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ證明請求書ヲ取扱官廳ニ提出シ之カ證明ヲ請求スルコトヲ得

第二十條 支出官事務規程中歳出金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於ケル取扱手續ニ關スル規定ハ保管金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ之ヲ準用ス

附則

第二十一條 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條 保管物取扱規程及明治三十六年大藏省令第九號ハ之ヲ廢止ス

第二十三條 本令施行前保管物取扱規程ニ依リ金庫ニ寄託シタル保管金ハ本令ニ依リ大藏省預金部ニ預入レタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テ取扱官廳ハ當該金庫ノ國庫金出納ノ事務ヲ引繼キタル日本銀行ヲ其ノ預金取扱店ト爲スヘシ

第二十四條 前條ノ保管金ノ拂渡、他店拂、保管替、歳入納付、特殊資金ニ組入又ハ期滿失效年月日ノ變更ニ關スル通知ノ手續ニ付テハ從前ノ規

定ニ依ル但シ金庫ニ於テ領收證書ヲ發行シタル保管金ニ付テハ第七條、第八條、第十二條乃至第十五條及第十八條ノ手續ヲ爲スモノトス。前項但書ノ場合ニ於テ取扱官廳ハ其ノ振出ス小切手ニ金庫ノ發行シタル領收證書ノ年月日及番號ヲ附記スヘシ。

保管金受領證書

第一號書式 保管金受領證書(用紙寸法) (半紙判半裁)
號金 保管ノ事由
上記金額領收候也
年月日 何某宛
某廳取扱主任官官氏名
上記金額領收候也
年月日 住所 氏名
某廳取扱主任官宛

備考 一 本書ハ之ヲ縦書トスルコトヲ得
二 受取人本書ヲ以テ保管金ノ拂渡ヲ請求シタルトキハ式ノ如ク領收ノ旨ヲ記入スヘシ

(注意) 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽スヘシ
裏面書式

- 一 (注意事項) 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印スヘシ但シ官吏ニ在リテハ官廳名又ハ公共團體名等ヲ肩書シ官職名ヲ記シ記名捺印スヘシ
- 二 受取人ノ印章ハ請求書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル
- 三 受取人カ代理人ヲ以テ支拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本書刷込ノ委任狀ニ相當ノ事項ヲ記入スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ
- 四 代理人カ支拂ヲ受クル場合ニ於テハ表面領收證ノ部ニ代理人タルノ肩書ヲ附スヘシ
- 五 受領金額五圓以上ノモノハ規定ノ收入印紙ヲ貼附消印スヘシ但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 六 小切手振出ノ日附ヨリ一年ヲ過ケルトキハ日本銀行ハ本書ニ對シ之カ支拂ヲ爲ササルモノトス
- 七 本書ヲ亡失シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ支拂ヲ受クヘキ日本銀行ニ通知シ支拂ノ停止ヲ請求スヘシ

收入印紙 委任狀
表面金額ノ受取方ヲ
年月日
住所 氏名
ニ委任致候也

領收證 保管金支拂通知書
前記ノ金額領收候也
年月日
住所 氏名
保管金受領證書日附番號
期滿失效年月日
小切手振出日附
小切手ヲ宛テタル店名
前記ノ金額日本銀行(何店)ニ於テ受領セラルヘシ
年月日 何某宛
某廳取扱主任官官氏名

備考 一 用紙ハ印刷局紙若ハ永久保存ニ耐フル用紙ヲ用ユヘシ
二 官廳又ハ公共團體等ノ收入ト爲ルヘキモノハ宛名ニ官廳名又ハ公共團體名等ヲ記入シ發行スヘシ
三 領收證ニ收入印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ其ノ貼用場所ニ「要印紙」ノ印ヲ押捺スヘシ

第三號書式 保管金利子請求書(用紙寸法) (半紙判半裁)

年 月 日 日 號保管金 住所 氏名
年 月 日 日 號保管金 住所 氏名
某廳取扱主任官宛
日本銀行(何店)宛
某廳取扱主任官官氏名

前記金額領收候也
年月日
住所 氏名
日本銀行(何店)宛
某廳取扱主任官官氏名

第四號書式 保管金保管替請求書(用紙寸法) (半紙判半裁)

第七章 預金

●預金部預金法

大正十四年三月三十日
法律第二十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル預金部預金法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

預金部預金法

- 第一條 法律勅令ニ依リ大藏省預金部ニ預入ルル現金ハ預金部預金トシ大藏大臣之ヲ管理ス
- 第二條 郵便貯金トシテ受入レタル現金ハ之ヲ大藏省預金部ニ預入レ其ノ利子ヲ以テ貯金利子ノ支拂ニ充ツヘシ
- 第三條 預金部預金ノ種類、利子及取扱ニ關シテハ大藏大臣之ヲ定ム
- 第四條 預金部預金並大藏省預金部特別會計ノ積立金及支拂上ノ餘裕金ハ之ヲ預金部資金トシ預金部資金運用委員會ニ諮問シ有利且確實ナル方法ヲ以テ國家公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用スヘシ
- 預金部資金運用委員會ノ組織權限及預金部資金ノ運用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第五條 預金部資金ノ運用ニ關スル事務ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附則

本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
預金規則、明治二十三年法律第七十五號及明治三十九年勅令第二百一十一號ハ之ヲ廢止ス
本法施行前大藏省預金部ニ於テ受入レタル預金ハ之ヲ預金部預金トス

〔朝〕

預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金及其ノ預金ヲ以テ購入保管シタル國債證券並明治三十九年勅令第二百一十一號ニ依ル預金及預託ノ國債證券ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノニ付本法施行後三月内ニ預金人之カ拂戻ノ請求ヲ爲ササルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ預金ハ之ヲ郵便貯金ニ振替ヘ國債證券ハ之ヲ郵便貯金法第九條ノ規定ニ依リ購入シタルモノト看做シテ保管ス

●預金部資金運用規則

大正十四年四月一日
勅令第五十五號

改正 昭和五年二月第三五號 六年八月第二九號、七年一月第三三號、一〇年一〇月第二八八號、一一年八月第二六三號、一四年一月第二八四三號、一六年九月第八五八號、一七年一月第七四五號

朕預金部資金運用規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

預金部資金運用規則

- 第一條 預金部資金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ運用スヘシ
 - 一 國債ノ應募、引受若ハ買入又ハ一般會計若ハ特別會計ニ對スル貸付
 - 二 地方債、水利組合債若ハ健康保險組合債ノ應募、引受若ハ買入又ハ地方公共團體、水利組合若ハ健康保險組合ニ對スル貸付
 - 三 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ債券ヲ發行スルモノノ發行ニ係ル債券ノ應募、引受若ハ買入又ハ此等ノ法人ニ對スル三年内ノ貸付
 - 四 前號ノ法人以外ノ法人ノ發行ニ係ル債券ニシテ其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付政府ノ保證アルモノノ應募、引受又ハ買入
 - 五 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル銀行ニシテ社債ヲ發行セザルモノニ對スル貸付

六 外國政府ノ發行ニ係ル國債ノ應募又ハ買入
 七 外國法人ノ發行ニ係ル本邦通貨ヲ以テ表示スル債券ニシテ本邦内ニ於テ募集セラレ其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付當該外國政府ノ保證アルモノノ應募又ハ買入
 八 日本銀行ニ對スル在外指定預金
 第二條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金ノ運用ニ關シ必要ナル計畫ヲ定メ豫メ之ヲ預金部資金運用委員會ニ付議スヘシ其ノ計畫ニ付追加又ハ變更ヲ爲サムトスルトキ亦同シ
 第三條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金運用報告書ヲ調製シ年度經過後四月内ニ之ヲ預金部資金運用委員會ニ提出スヘシ
 前項ノ報告書ニハ當該年度ニ於ケル預金部資金運用ノ狀況及運用資産ノ異動ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スヘシ
 第三條ノ二 大藏大臣ハ部下ノ官吏ニ命シテ預金部資金ノ出納ヲ執行セシムルコトヲ得
 第四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外預金部資金ノ運用ノ爲必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム
 第五條 預金部資金運用委員會ハ大藏大臣ノ監督ニ屬シ大藏大臣ノ諮問ニ應ジ預金部資金ノ運用ニ關スル事項ヲ調査審議ス
 第六條 預金部資金運用委員會ハ預金部資金ノ運用ニ關シ大藏大臣ニ建議スルコトヲ得
 第七條 預金部資金運用委員會ハ會長一人及委員二十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス
 臨時必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得
 第八條 會長ハ大藏大臣ヲ以テ之ニ充ツ
 第九條 委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 大藏政務次官
 二 大藏次官
 三 關係各廳高等官
 四 會計検査院部長
 五 日本銀行總裁
 六 學識經驗アル者
 前項第三號、第四號及第六號ニ掲グル者ヲ以テ充ツル委員ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
 臨時委員ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス
 第十條 會長ハ會務ヲ總理ス
 會長事故アルトキハ其ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス
 第十一條 預金部資金運用委員會ニ幹事ヲ置ク
 幹事ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
 第十二條 預金部資金運用委員會ニ書記ヲ置ク
 書記ハ大藏部内判任官ノ中ヨリ大藏大臣之ヲ命ス上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
 附則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行ノ際現ニ運用中ノ預金部資金ニシテ其ノ運用方法カ第一條ノ規定ニ該當セサルモノニ付テハ同條ノ規定ニ拘ラス仍其ノ運用方法ニ依ルコトヲ得

【朝一】

預金部預金取扱規程

大正十一年二月一日
大藏省令第六號

改正 大正一四年四月第五號、一五年三月第九號、
昭和五年九月第一七號、六年八月第三一號、七年九月第二二號、一〇年三月第五號、
一一年三月第七號、六月第一九號、一四年三月第七號、一五年八月第六二號

預金部預金取扱規程左ノ通定ム
預金部預金取扱規程

第一章 總則

第一條 預金部預金及預金購入有價證券ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之カ受拂ヲ爲スヘシ
 第二條 預ケ人ハ左ノ者ヲ擔當者ト爲シ其ノ資格氏名及住所ヲ日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ニ届出ツヘシ
 一 官廳ニ係ルモノハ當該官廳ニ於ケル取扱主任官
 二 法人ニ係ルモノハ其ノ理事者
 預金部預金及購入有價證券ノ受拂ニ關シ預ケ人ヨリ提出スル書類ニハ擔當者之ニ記名捺印スヘシ
 第三條 前項ノ擔當者ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ日本銀行ニ提出スヘシ
 第二章 預金ノ種類
 第三條ノ二 預金部預金中預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金及會計規則第四百二十一條ノ規定ニ依ル預金以外ノモノハ之ヲ普通預金及定期預金トス
 第三條ノ三 普通預金ハ預ケ人ノ請求アルトキハ何時ニテモ之カ拂戻ヲ爲スモノトス

定期預金ハ預入ノ日ヨリ六月以上ノ約定期間内之カ拂戻ヲ爲サルモノトス但シ約定期間内ト雖預ケ人ノ要求アルトキハ事情ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

第三章 預金ノ拂込

第四條 預ケ人預金ノ拂込ヲ爲サムトスルトキハ定期預金ニ在リテハ第一號書式ノ預金部預金拂込書ヲ、其ノ他ノ預金ニ在リテハ第一號ノ二書式ノ預金部預金拂込書ヲ添ヘ現金ヲ日本銀行ニ拂込ミ預金部預金領收證書ノ交付ヲ受クヘシ
 定期預金以外ノ預金ノ預ケ人ハ預金ノ拂戻ニ使用スル小切手用紙ノ交付ヲ受クヘシ
 預ケ人ハ必要アル場合ニ於テハ預金部預金帳ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
 第五條 預ケ人保管金ノ取扱官廳ナル場合ニ於テハ保管金ヲ提出スヘキ者ヲシテ第二號書式ノ保管金振込書ヲ添ヘ現金ヲ日本銀行ニ於ケル預ケ人ノ預金ニ振込マシムルコトヲ得
 前項ノ規定ニ依リ振込ヲ爲サシメタル場合ニ於テハ振込人ヲシテ日本銀行ヨリ預金部預金振込通知書ノ交付ヲ受ケシムヘシ
 第六條 別除
 第七條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人ハ其ノ預金ヲ以テ購入保管ニ係ル有價證券ノ利子支拂期到來シタルモノアルトキハ第三號書式ノ有價證券利子預金組入請求書ニ、其ノ償還ヲ受クヘキモノアルトキハ第四號書式ノ有價證券償還預金組入請求書ニ受領ノ旨ヲ記入シ當該有價證券ノ記番號内譯表ヲ添附シテ之ヲ日本銀行ニ提出シ預金組入金額ノ預金部預金領收證書ノ交付ヲ受クヘシ但シ有價證券カ國債證券ナル場合ニ於テハ記番號内譯表ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八條 預ケ人保管金ノ取扱官廳ナル場合ニ於テ日本銀行政府有價證券取扱規程第十二條ノ規定ニ依リ遺失物法ニ依ル政府保管有價證券ノ元利金受入ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ニ受領ノ旨ヲ記入シテ日本銀行ニ提出シ預金部預金領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ

第八條ノ二 預ケ人定期預金ノ更新ヲ爲サムトスルトキハ其ノ期限到來ノ日迄ニ第四號ノ二書式ノ預金部定期預金更新通知書ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

預ケ人前項ノ手續ヲ爲ササルトキハ定期預金ノ期限到來ノ日ヨリ普通預金ニ預入替ヲ爲シタルモノト看做ス

第四章 預金ノ拂戻

第九條 預ケ人預金ノ拂戻ヲ受ケムトスルトキハ定期預金ニ在リテハ第五號書式ノ預金部預金拂戻請求書ヲ日本銀行ニ提出シ其ノ他ノ預金ニ在リテハ記名式持參人拂ノ小切手ヲ振出スヘシ

第十條 削除

第十一條 預ケ人保管金ノ取扱官廳ナル場合ニ於テ保管金取扱規程第十三條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ保管替ヲ爲サムトスルトキハ第六號書式ノ預金部預金預入替請求書ヲ添へ保管替ヲ爲スヘキ金額ヲ券面金額トセル小切手ヲ日本銀行ニ交付スヘシ

第十二條 預ケ人保管金ノ取扱官廳又ハ供託局ナル場合ニ於テ保管金取扱規程第八條又ハ供託物取扱規則第八條ノ規定ニ依リ日本銀行ヲシテ保管金又ハ供託金ノ他店拂ヲ爲サシメトスルトキハ他店拂ヲ爲スヘキ金額ヲ券面金額トセル小切手ノ裏面ニ保管金又ハ供託金ヲ受取ル權利ヲ有スル者ノ氏名、住所及支拂店名ヲ記入シ之ヲ日本銀行ニ交付スヘシ

預ケ人前項ノ手續ヲ爲ササルトキハ前項ノ利子ハ期限到來ノ日ニ普通預金トシテ拂込マレタルモノト看做ス

第十四條 預ケ人毎年四月日本銀行ヨリ預金利子元加通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ承認ノ旨ヲ記入シ日本銀行ニ提出スヘシ

第十三條但書及前項ノ場合ニ於テ預ケ人ハ日本銀行ニ對シ元加利子額ニ相當スル金額ノ預金部預金領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第十四條ノ二 預ケ人日本銀行ヨリ預金部預金利子組入通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ承認ノ旨ヲ記入シ日本銀行ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ預ケ人ハ日本銀行ニ對シ定期預金利子ノ普通預金組入額ニ相當スル金額ノ預金部預金領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第十五條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人郵便貯金規則第二十四條ノ規定ニ依リ郵便貯金ニ對スル利子ノ元加ヲ要スルトキハ第七號書式ノ預金部預金利子元加請求書ヲ、郵便貯金規則第七十九條ノ規定ニ依リ隨時郵便貯金ニ對スル利子ノ支拂ヲ要スルモノアルトキハ第八號書式ノ預金部預金利子支拂請求書ヲ預金部資金局ニ提出スヘシ

第十六條 預金部資金局前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ調査ノ上元加又ハ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ該請求書ニ記入シ之ヲ日本銀行本店ニ送付シ利子元加又ハ支拂ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第十七條 預ケ人保管金ノ取扱官廳又ハ供託局ナル場合ニ於テ保管金又ハ供託金ノ利子ヲ受取ル權利ヲ有スル者ニ對シテ利子ノ支拂ヲ要スルトキハ第九號書式ノ預金部預金利子支拂請求書ニ依リ其ノ利子額ニ相當スル預金利子額ノ支拂ヲ日本銀行ニ請求スヘシ但シ保管金又ハ供託金ノ利子ヲ受取ル權利ヲ有スル者ノ提出シタル利子請求書ニ證明ヲ爲シタルモノ

第五章 預金ノ利子

第十二條ノ二 普通預金及定期預金ニ對シテハ拂込ノ翌日ヨリ拂戻ノ日迄日割計算ヲ以テ左ノ區分ニ依リ利子ヲ付スヘシ但シ一圓未満ノ端數ニ對シテハ利子ヲ付セス

- 一 普通預金
 - (イ) 法律勅令ニ依リ現金ノ預入ヲ大藏省預金部ノミニ限定セラレタル資金ニ屬スル預金ハ年一分
 - (ロ) 其ノ他ノ預金ハ年七厘五毛
- 二 定期預金
 - (イ) 保険料又ハ掛金ノ計算ノ基礎ニ付年三分五厘以上ノ豫定利率ノ定メアル保險又ハ年金ニ關スル特別會計ノ預金ハ年三分五厘
 - (ロ) 法律勅令ニ依リ現金ノ預入ヲ大藏省預金部ノミニ限定セラレタル資金ニ屬スル預金(イ)ニ該當スルモノヲ除ク)ハ年三分
 - (ハ) 其ノ他ノ預金ハ年二分五厘

第三條ノ三第二項但書ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル定期預金ノ額ニ對シテハ利子ヲ付セス但シ事情ニ依リ普通預金ニ付スヘキ利子ト同額以下ノ利子ヲ付スルコトヲ得

第十三條 普通預金ノ利子ハ毎年三月三十一日ヲ期トシテ計算シ之ヲ其ノ元金ニ組入ルルモノトス但シ預金全額ノ拂戻ニ係ル利子ハ預金ノ拂戻ヲ爲ストキ計算シ之ヲ其ノ元金ニ組入ルルモノトス

第十三條ノ二 預ケ人定期預金ノ利子ノ支拂ヲ受ケムトスルトキハ定期預金期限到來ノ日ニ於テ第六號ノ二書式ノ預金部預金利子支拂請求書ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

ヲ以テ預金部預金利子支拂請求書ニ代フルコトヲ得

第六章 預金購入有價證券

第十八條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人預金ヲ以テ有價證券ノ購入ヲ請求セムトスルトキハ第十號書式ノ有價證券購入請求書ヲ預金部資金局ニ提出スヘシ

第十九條 預金部資金局前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ該請求書ニ記載ノ購入日附ニ於ケル時價ヲ以テ日本銀行本店ヲシテ指定ノ有價證券ヲ購入セシムヘシ

第二十條 削除

第二十一條 預金部資金局日本銀行本店ヨリ購入有價證券ノ額面金額及購入代價ノ通知ヲ受ケタルトキハ第十一號書式ノ有價證券購入済通知書ヲ日本銀行ヲ經テ預ケ人ニ送付スヘシ

第二十二條 預ケ人前條ノ通知書ヲ受ケタルトキハ該通知書ノ裏面ニ有價證券購入代價ニ相當スル金額ノ預金ヲ領收セル旨ヲ記入シ之ヲ日本銀行ニ提出シ預金購入有價證券保管通知書ノ交付ヲ受ケヘシ

第二十三條 預ケ人預金購入有價證券ノ拂戻ヲ受ケムトスルトキハ第十二號書式ノ預金購入有價證券拂戻請求書ニ當該有價證券ノ記番號内譯表ヲ添附シ之ヲ日本銀行ニ提出スヘシ但シ有價證券カ國債證券ナル場合ニ於テハ記番號内譯表ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第二十四條 預ケ人日本銀行ヨリ預金購入有價證券ノ拂戻ヲ受ケタルトキハ第十三號書式ノ預金購入有價證券受領證書ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

第七章 證明

第二十五條 預ケ人官廳ナル場合ニ於テ日本銀行統轄店又ハ特設代理店ヨ

預金部預金ノ受入及拂渡ノ請求書並支拂小切手ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添へ預金部預金月計突合表ヲ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ證明ノ上五日以内ニ之ヲ日本銀行ニ返付スヘシ但シ相違アル點ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ返付アル場合ニ於テハ預金取扱店ヲ經由スヘシ

第一項ノ規定ハ大藏大臣ノ指定シタル官吏統轄店ヨリ預金部受拂計算表ノ送付ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第八章 雜則

第二十六條 日本銀行甲店ヲ預金取扱店トスル預ケ人日本銀行乙店ヲ預金取扱店ニ變更セムトスルトキハ第十四號書式ノ預金取扱店變更申請書ヲ日本銀行甲店ニ提出シ預金部預金現在額證明書ノ交付ヲ受クヘシ

預ケ人ハ前項ノ證明書ヲ日本銀行乙店ニ提出シ承認ノ旨ノ記入ヲ受クヘシ

第二十七條 預ケ人預金部預金領收證書、預金部預金振込通知書又ハ預金購入有價證券保管通知書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ證明請求書ヲ日本銀行ニ提出シ之カ證明ヲ請求スルコトヲ得第五條第二項ノ振込人預金部預金振込通知書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ亦同シ

第二十八條 第二十五條ノ規定ニ依リ預ケ人又ハ大藏大臣ノ指定シタル官吏預金部預金月計突合表又ハ預金部受拂計算表ニ證明ヲ爲シタル後其ノ證明ニ付誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シテ證明ヲ爲シ之ヲ日本銀行統轄店又ハ特設代理店ニ送付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ送付アル場合ニ於テハ預金取扱店ヲ經由スヘシ

第二十九條 預金部預金帳ノ交付ヲ受ケタル預ケ人ハ隨時之ヲ日本銀行ニ提出シ預金ノ受拂額ノ記入ヲ受クヘシ

第三十條 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ノ預ケ人ハ日本銀行ヨリ預金購入有價證券保管帳ノ交付ヲ受ケ隨時之ヲ日本銀行ニ提出シ預金購入有價證券ノ受拂額ノ記入ヲ受クヘシ

附則

第三十一條 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條 預金取扱規程ハ之ヲ廢止ス

第三十三條 本令施行前大藏省預金部ニ預入ヲ爲シタル預ケ人ハ從前ノ規定ニ依ル總代人、擔當者又ハ取扱主任官ヲ以テ本令ニ規定スル擔當者ト爲シタルモノト看做ス

保管金取扱規程第二十三條ノ規定ニ依ル預金部預金ノ預ケ人ハ保管物取扱規程ニ依ル取扱主任官ヲ以テ本令ニ規定スル擔當者ト爲シタルモノト看做ス

第三十四條 本令施行前預ケ人カ金庫ヨリ交付ヲ受ケタル預金通帳ハ本令ニ依リ日本銀行ヨリ交付ヲ受ケタル預金部預金帳ト看做ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

預金部預金法附則第四項ニ規定スル預金及國債證券ニシテ本令施行後三月内ニ受拂ヲ爲スモノニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

附則 (大正十五年大藏省令第九號) 本令ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金及會計規則第百二十一條ノ規定ニ依

ル預金以外ノ預金ニシテ本令施行前預入ニ係ルモノニ付テハ其ノ預ケ人ハ本令施行後一月内ニ預金ノ種類ヲ定メ之ヲ日本銀行ニ通知スルコトヲ要ス

預ケ人前項ノ通知ヲ爲シタルトキハ本令施行ノ日ニ於テ當該預金ニ預入替ヲ爲シタルモノト看做シ其ノ通知ヲ爲ササルトキハ本令施行ノ日ニ於テ普通預金ニ預入替ヲ爲シタルモノト看做ス

大正九年九月大藏省告示第百六十五號ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ昭和五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ預入シタル定期預金ニ付テハ該預金ノ期限到來ノ日迄從前ノ利率ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ預入シタル定期預金ニ付テハ該預金ノ期限到來ノ日迄從前ノ利率ニ依ル

附則

本令ハ昭和七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ預入シタル定期預金ニ付テハ該預金ノ期限到來ノ日迄從前ノ利率ニ依ル

附則

本令ハ昭和十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ預入シタル定期預金ニ付テハ該預金ノ期限到來ノ日迄從前ノ利率ニ依ル

第一號書式 預金部預金拂込書 (周紙寸法)

預金部預金拂込書

號 年 月 日

期限 年 月 日

預入根據法令

上記金額預金部定期預金トシテ拂込候也

年 月 日

某廳取扱主任官 氏名 (又ハ住所) 氏名 (印)

日本銀行(何店)宛

有價證券利子預金組入請求書

金 内譯下記ノ通

上記利子金額受領ノ上郵便貯金ニ係ル預金ニ元加相成度候也

年 月 日

貯金局長氏名印

日本銀行宛

證券種別	券面額	利子額	内 譯						
			所得 税 賦 課			同 免 除			
			券面額	利子額	所得額	券面額	利子額		

第三號書式 有價證券利子預金組入請求書 (用紙寸法 半紙判半裁)

所得税免除證券利子證明書

金 利子金額

内 譯

證券種別	記番號及回数別	券面額	利子額

上記證券ハ所得税ヲ免除スヘキ所有者ノ分ナルコトヲ證明ス

年 月 日

貯金局長氏名印

第三號書式附屬 所得税免除證券利子證明書 (用紙寸法 半紙判半裁)

預金部預金拂込書

第 號

金

預入根據法令

上記金額拂込候也

年 月 日

某廳取扱主任官官氏名 (又ハ何々理事者) (住所氏名) 印

日本銀行 (何店) 宛

第一號ノ二書式 預金部預金拂込書 (用紙寸法 半紙判半裁)

金

保管金振込書

右某廳ノ保管金トシテ振込候也

年 月 日

住所

氏

名 印

備考 本書ハ之ヲ横書スルコトヲ得

日本銀行(何店)宛

第二號書式 保管金振込書 (用紙寸法 半紙判半裁)

預金部預金利子支拂請求書

金
上記金額郵便貯金ノ利子支拂ヲ要スルモノニ付支拂ノ手續相成度候也
年 月 日

貯金局長氏名印

預金部資金局長宛

上記金額支拂ヲ要ス
年 月 日

預金部資金局長氏名印

日本銀行宛

上記金額領收候也
年 月 日

貯金局長氏名印

日本銀行宛

第八號書式 預金部預金利子支拂請求書(用紙判半寸法)

預金部預金利子支拂請求書

金
上記金額支拂相成度候也
年 月 日

某廳取扱主任官官氏名(又ハ某供託局長氏名)印

日本銀行(何店)宛

上記金額領收候也
年 月 日

住所

氏名印

日本銀行(何店)宛

第九號書式 預金部預金利子支拂請求書(用紙判半寸法)

預金部預金利子支拂請求書

金
定期預金利子
預入年月日 年 月 日
期限 年 月 日
預入根據法令
上記金額支拂相成度候也
年 月 日

某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事者)印
住所氏名

日本銀行(何店)宛

上記金額領收候也
年 月 日

某廳取扱主任官官氏名(又ハ何々理事者)印
住所氏名

日本銀行(何店)宛

預金部預金利子元加請求書

金
上記金額郵便貯金ノ利子元加ヲ要スルモノニ付預金ニ元加ノ手續相成度候也
年 月 日

貯金局長氏名印

預金部資金局長 宛

上記金額元加ヲ要ス
年 月 日

預金部資金局長氏名印

日本銀行 宛

第六號ノ二書式 預金部預金利子支拂請求書(用紙判半寸法)

第七號書式 預金部預金利子元加請求書(用紙判半寸法)

第 號
有價證券購入済通知書原符
(郵便貯金)

證券種別	券面別	購入代金

貯金局長氏名
購入済通知書年月日

第 號
有價證券購入済通知書
(郵便貯金)

證券種別	券面別	購入代金

上記證券購入済ニ付通知ス
年月日
預金部資金局長氏名
日本銀行宛

備考

有價證券力國債證券ナル場合ニ於テハ記番號内譯表ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

預金購入有價證券拂戻請求書
何公債證書(又ハ何)額面何圓也 何枚
内譯下記ノ通
上記證券拂戻相成度候也
年月日
貯金局長氏名
日本銀行宛
内譯 (證券記番號ハ別紙記番號内譯表ノ通)

券面、記號及回数別	枚數	券面、記號及回数別	枚數	券面、記號及回数別	枚數

第十二號書式 預金購入有價證券拂戻請求書 (用紙寸法 半紙判半裁)

有價證券購入請求書

下記證券 月 日ノ時價ヲ以テ購入保管相成度候也

年 月 日

貯金局長氏名

預金部資金局長宛

證券種別	券面額	券面別	枚數	見込相場額	備考

第十號書式 有價證券購入請求書 (用紙寸法 半紙判半裁)

年月日

裏面

第 號
有價證券購入済通知書
(郵便貯金)

證券種別	券面別	購入代金

上記證券購入済ニ付通知ス
年月日
預金部資金局長氏名
貯金局長宛

日本銀行宛

年月日

枚

貯金局長氏名

表書ノ通大藏省ヨリ通知ヲ受ケ候ニ付預金部預金帳及預金購入有價證券保管帳差出候間購入代價及有價證券ノ記入相成度候也

第十一號書式 有價證券購入済通知書 (用紙寸法 縦八寸五分 横一尺五寸)

第十三號書式 預金購入有價證券受領證書 (用紙寸法 半紙判半裁)

預金購入有價證券受領證書

何公債證書(又ハ何)額面何圓也 何枚

内譯下記ノ通

上記證券領收候也

年 月 日

貯金局長氏名 印

日本銀行宛

券面、記番 號及回數別	枚數	券面、記番 號及回數別	枚數	券面、記番 號及回數別	枚數	券面、記番 號及回數別	枚數

第十四號書式 預金取扱店變更申込書 (用紙寸法 半紙判半裁)

預金取扱店變更申込書

左記預金日本銀行(何店)ノ取扱ニ變更相成候也

年 月 日

某廳取扱主任官氏名(又ハ何々理事若ハ) 印

日本銀行(何店)宛

預金現在高

○預金部預金法附則第四項ニ依リ
預金部預金ヲ郵便貯金ニ振替ノ
件

大正十四年六月二十四日
大藏省令
逓信省令

預金部預金法附則第四項ニ依リ預金部預金ヲ郵便貯金ニ振替ノ件左ノ通之ヲ定ム

第一條 預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金及明治三十九年勅令第二百一十一號ニ依ル預金ニシテ預金部預金法施行後三月内ニ預ケ人ノ力拂戻ノ請求ヲ爲サ、ルトキハ大正十四年六月三十日ヲ以テ之ヲ郵便貯金ニ振替ヘ預ケ人ニ對シ郵便貯金通帳ヲ交付ス但預ケ人既ニ他ノ郵便貯金通帳

ヲ所持スル場合ニハ貯金轉記ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依リ郵便貯金ニ振替ヘタル預金ノ利子ニ付テハ大正十四年六月分迄ノ利子ヲ從前ノ規定ニ依リ計算シ郵便貯金ノ全部拂戻又ハ利子元加ノ際其ノ支拂又ハ元加ヲ爲スヘシ

第三條 預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金ヲ以テ購入保管シタル國債證券及明治三十九年勅令第二百一十一號ニ依ル預託ノ國債證券ニシテ預金部預金法施行後三月内ニ預ケ人ノ力拂戻ノ請求ヲ爲サ、ルトキハ大正十四年六月三十日ヲ以テ之ヲ貯金局保管ニ組替ヘ預ケ人ニ對シ證券保管通帳ヲ交付ス

第四條 從前ノ預金部預金又ハ預金購入保管國債證券ノ拂戻ニ關シ特ニ定メタル者ノ證明ヲ要スル場合ニ於テ其ノ證明ヲ爲スヘキ者ハ大正十四年七月一日以後之ヲ郵便貯金ノ加印者トス

第五條 第一條及第三條ノ規定ニ依リ郵便貯金通帳又ハ證券保管通帳ノ交付ヲ受ケタル者從前ノ規定ニ依リ日本銀行ヨリ交付ヲ受ケタル預金部預金帳又ハ證券保管證書ヲ所持スルトキハ之ヲ日本銀行ニ返還スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八章 資本移動附資金調整及敵産管理

●外國爲替管理法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和八年四月二十六日
勅令第六十六號

除外國爲替管理法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
外國爲替管理法ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附則

本令ハ昭和八年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國爲替管理法

昭和十六年四月十二日
法律第八十三號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル外國爲替管理法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

外國爲替管理法

第一條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

- 一 外國通貨又ハ外國爲替ノ取得又ハ處分
- 二 通貨若ハ外國通貨ノ輸出若ハ輸入、金地金、金ノ合金若ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ輸出又ハ金貨幣ノ鑄造若ハ毀傷

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

- 三 外國ヘノ送金ニシテ前二號ニ包含スル方法ニ依ラザルモノ
- 四 外國ニ於テ爲シタル委託ニ基キ又ハ外國居住者（法人ノ外國ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ含ム以下同ジ）ノ爲ニスル本邦内ニ於テ爲ス支拂又ハ其ノ受領
- 五 外國ニ於テ爲ス支拂ノ本邦内ニ於ケル委託
- 六 本邦居住者（法人ノ本邦内ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ含ム）ノ爲ニスル外國ニ於テ爲ス支拂又ハ其ノ受領
- 七 外國居住者ニ對スル債權ノ取立又ハ取立ノ依頼若ハ引受
- 八 外國居住者ノ爲ニスル債權ノ取立又ハ取立ノ依頼若ハ引受
- 九 外國居住者、本邦内ニ居住スル外國人（外國法人ノ本邦内ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ含ム）又ハ命令ノ定ムル本邦法人ノ本邦内ニ於テ爲ス財産（事業若ハ營業又ハ之ニ對スル出資ヲ含ム以下同ジ）ノ取得若ハ處分、預ケ金ノ引出又ハ貸出金ノ回收
- 十 前號ニ掲グル者ノ爲又ハ之ヲ相手方トスル本邦内ニ於テ爲ス前號ニ掲グル取引又ハ行爲
- 十一 外國爲替相場ノ取極
- 十二 外國通貨ヲ以テ表示スル證券（財産權ヲ證スル證書及帳簿ヲ含ム以下同ジ）、債權又ハ債務ノ取得又ハ處分
- 十三 本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ニ對スル債權又ハ債務ノ取得又ハ處分
- 十四 信用狀ノ發行又ハ取得
- 十五 外國居住者ニ信用ヲ與フル行爲

十六 證券ノ輸出又ハ輸入

十七 價額ノ全部又ハ一部ニ付外國爲替ヲ取組マザル貨物ノ輸出又ハ輸入

十八 外國ニ在ル財産ニシテ第一號、第十二號又ハ第十三號ニ掲ゲザルモノノ取得又ハ處分

第二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ外國爲替ニ關スル取引ヲ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲ相手方トスル場合ニ限定スルコトヲ得

第三條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル財産ニ關シ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ニ對スル賣却其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

一 外國通貨又ハ外國爲替

二 外國通貨ヲ以テ表示スル證券若ハ債權又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ニ對スル債權

三 外國ニ在ル財産ニシテ前二號ニ掲ゲザルモノ

前項ノ規定ニ依リ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ジタル場合ノ賣却價額ハ政府之ヲ定ム

第四條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ外國ヘノ送金、外國ヨリノ送金ノ受領其ノ他外國トノ間ニ於ケル債權債務ノ決済又ハ外國ヨリ外國ヘノ送金其ノ他外國間ニ於ケル債權債務ノ決済ニ關シ其ノ方法、條件其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第五條 政府ハ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ、帳簿書類ノ備付ヲ命ジ、帳簿書類ノ記載方ヲ指定シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

ヲ得

關稅法第八十四條乃至第九十三條ノ規定ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ違反事件ニ付之ヲ準用ス但シ同法ニ定ムル職務ヲ行フ官吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ施行ニ關スル事務ノ一部ヲ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事務ノ一部ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシメタル場合ニ於テ當該事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

第一項ノ場合ニ於テ當該事務ニ從事スル日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ノ職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ従事スル職員ト看做ス

第七條 第一條又ハ第二條ノ規定ニ基キテ發スル命令ヲ以テ指定スル取引又ハ行爲ノ禁止又ハ制限ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス但シ當該取引又ハ行爲ノ目的物ノ價額ノ三倍ガ一萬圓ヲ超ユルトキハ罰金ハ當該價額ノ三倍以下トス

第一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シ金貨幣、金地金、金ノ合金若ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スル目的ヲ以テ取得シ若ハ輸出セントシタル者又ハ通貨、外國通貨若ハ證券ヲ輸出若ハ輸入セントシタル者亦前項ニ同シ

第八條 第三條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ當該命令ニ依リ外國通貨其ノ他ニ關シ必要ナル事項ヲ爲スベキ旨ノ政府ノ命ニ從ハザル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ當該外國通貨其ノ他ノ價額ノ二倍以下ノ罰金ニ處ス

第九條 第四條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ當該命令ニ依リ政府ノ命ニ從ハザル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 第五條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ當該命令ニ依リ政府ノ命ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ、帳簿書類ノ備付ヲ爲サズ、之ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ、之ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ、之ノ記載方ノ指定ニ從ハズ、業務狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ノ検査ヲ拒ミ又ハ帳簿書類ノ隱蔽不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ検査ヲ妨ゲタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者亦同シ

第十一條 本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲ス處分ニ附シタル條件ニ違反シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ第七條乃至前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第七條乃至前條ノ罰金刑ヲ科ス

第十三條 本法ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同シ

第十四條 當該官吏、外國爲替管理委員會ノ會長委員幹事若ハ第六條ニ規定スル日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ニ依リ職務執行ニ關シ知得タル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 第三條ノ財産ノ賣却價額其ノ他本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ付主務大臣ノ諮問ニ應ズル爲外國爲替管理委員會ヲ置ク

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

外國爲替管理委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三三三三

三三三三

三三三三

●外國爲替管理法施行規則

昭和十六年七月三十日
朝鮮總督府令第二百二十號

改正 昭和十七年一月第二四號、八月第一九六號

外國爲替管理法施行規則左ノ通定ム

外國爲替管理法施行規則

第一章 定義

第一條 本令ニ於テ外國爲替トハ本邦ヨリ外國ニ仕向ケ、外國ヨリ本邦ニ仕向ケ又ハ外國ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替手形、小切手、支拂指圖書、電信爲替又ハ郵便爲替ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ信用狀トハ荷爲替信用狀、逆爲替信用狀、旅行信用狀、旅行小切手、爲替買取指圖書、爲替買取推薦狀、貨物證券引換指圖書、其ノ他此等ニ準ズルモノヲ謂フ

第三條 本令ニ於テ證券トハ本邦又ハ外國ノ公債、社債、債券、此等ノモノノ利札、株式、株式拂込證書、預金證書又ハ預金通帳ヲ謂フ

第四條 本令ニ於テ外貨證券トハ本邦又ハ外國ノ公債、社債、債券、此等ノモノノ利札、株式又ハ株式拂込證書ニシテ外國通貨ヲ以テ表示スルモノヲ謂フ

登錄シタル公債、社債、債券又ハ株式ニシテ外國通貨ヲ以テ表示スルモノハ之ヲ外貨證券ト看做ス

第五條 本令ニ於テ外貨債權トハ外國通貨ヲ以テ表示スル債權ニシテ外國爲替又ハ外貨證券以外ノモノヲ謂フ

第六條 本令ニ於テ貨物トハ本邦通貨(軍用手票ヲ含ム以下同シ)、外國通

貨、爲替手形、小切手、支拂指圖書、郵便爲替、金地金、金ノ合金、金ヲ主タル材料トスル物並ニ證券其ノ他財産權ヲ證スル證券及帳簿以外ノ物ヲ謂フ

第七條 本令ニ於テ財産トハ動産、不動産、債權其ノ他ノ財産權、事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資ヲ謂フ

第八條 本令ニ於テ外國居住者トハ外國ニ住所若ハ居所ヲ有スル人、外國ニ本店若ハ主タル事務所ヲ有スル法人又ハ法人ノ外國ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ謂フ

第九條 本令ニ於テ本邦居住者トハ本邦内ニ住所若ハ居所ヲ有スル人、本邦内ニ本店若ハ主タル事務所ヲ有スル法人又ハ法人ノ本邦内ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ謂フ

第二章 外國爲替、信用狀、送金、金等ニ關スル規定
第十條 商取引上ノ必要其ノ他ノ實需ニ基クコトナク本邦通貨ノ爲替相場ノ變動又ハ差異ニ因リ利益ヲ得ルコトヲ目的トシテ外國通貨、外國爲替又ハ外貨債權ノ賣買ヲ爲スコトヲ得ズ

第十一條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ
一 朝鮮内ニ於ケル外國爲替ノ買入
二 外國ニ於テ爲シタル委託ニ基キ朝鮮内ニ於テ爲ス支拂
三 外國居住者ノ爲ニスル朝鮮内ニ於テ爲ス支拂ニシテ前號ニ包含セラレザルモノ

前項第一號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ買入シタル外國爲替ヲ以テ前項第二號若ハ第三號ノ支拂ヲ爲ス場合又ハ第四十五條第一項ノ規定ニ依リ許可

〔朝一〕

ヲ受ケ貸付金、假拂金若ハ立替金ヲ爲ス爲前項第二號若ハ第三號ノ支拂ヲ爲ス場合ニハ該支拂ニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第一項ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第一號乃至第三號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲シタル者外國爲替銀行ヲ相手方トスル場合ハ本令附屬報告書式第一號又ハ第二號ニ依リ其ノ他ノ者ヲ相手方トスル場合ハ同第三號又ハ第四號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十二條 左ニ掲グル場合ハ前條ノ規定ニ拘ラズ外國爲替ノ買入又ハ外國爲替銀行ニ對スル支拂ヲ爲スニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

一 本邦ニ於テ發行シタル信用狀ニ基キ振出サレタル爲替ノ支拂ヲ爲シ又ハ支拂ノ爲爲替ヲ買入ルルトキ

二 本邦内ニ於テ支拂ハルル公債、社債若ハ銀行預金ノ利子又ハ金錢信託ノ利益ヲ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ住所ヲ有スル權利者ニ送ル爲該地域ニ仕向ケタル爲替ノ買入又ハ該地域ヨリ仕向ケラレタル爲替ノ支拂ヲ爲ス爲必要ナルトキ

三 前各號ニ該當スル場合ノ外一箇年ヲ通ジ二百圓相當額以下ノ金額ヲ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ送ル爲必要ナルトキ但シ輸入貨物ノ代金又ハ旅行者ノ旅費若ハ滞在費ニ充ツル場合ヲ除ク

四 官廳ノ爲ストキ

第十三條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國爲替ノ賣却ヲ爲スコトヲ得ズ但シ外國爲替銀行ヲ相手方トスル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及破産管理

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者外國爲替銀行ヲ相手方トスル場合ハ本令附屬報告書式第五號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十四條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國ニ仕向ケタル信用狀ヲ發行又ハ取得スルコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第五號又ハ第六號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第六號又ハ第七號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十五條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國通貨ノ買入ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第七號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者外國爲替銀行又ハ兩替商ヲ相手方トスル場合ハ本令附屬報告書式第九號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
外國通貨ヲ處分シタル者ハ本令附屬報告書式第十號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十七條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ本邦通貨又ハ外國通貨ヲ外國ニ送付又ハ携帶スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
一 第十五條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ買入レタル外國通貨ヲ送付又ハ携帶スルトキ
二 官廳ノ爲ストキ

前項ノ本邦通貨又ハ外國通貨ニハ金貨幣又ハ外國金貨ヲ含マズ
第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

本邦通貨又ハ外國通貨ヲ外國ニ送付シタル者ハ本令附屬報告書式第十五號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第十八條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ本邦通貨ヲ輸入スルコトヲ得ズ但シ官廳ノ輸入スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

本邦通貨又ハ外國通貨ヲ輸入スル者ハ本令附屬報告書式第十一號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第十九條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國居住者トノ間ニ有スル交互計算勘定其ノ他ノ相殺勘定ヘノ貸記ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

濫スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第一項又ハ前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十三號乃至第十五號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項又ハ第二項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十三號又ハ第十四號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十二條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ第十一條、第十七條、第十九條、第二十條又ハ前條ニ規定スル以外ノ方法ニ依リ外國ヘノ送金ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十六號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十五號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十三條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ左ニ掲グルモノノ取立ノ依頼又ハ引受ヲ爲スコトヲ得ズ但シ外國爲替銀行ニ對シ取立ノ依頼ヲ爲シ又ハ第三十四條第一項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ外國爲替銀行以外ノ者ニ對シ取立ノ依頼ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 外國ニ於テ支拂ハルル手形、小切手、支拂指圖書、電信爲替又ハ郵便爲替
二 外國ニ於テ支拂ハルル公債、社債若ハ債券ノ償還金若ハ利息又ハ株式配當金
三 外國ニ於テ支拂ハルル銀行預金ノ元金若ハ利息又ハ金錢信託ノ元本

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十七號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
若ハ利息
前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十七

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

一 貸記ノ原因トナルベキ行爲ニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ
二 關東州又ハ滿洲國ニ居住スル者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ヲ爲ス

三 中華民國居住者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ヨシテ一箇月ヲ通シ貸記額五千圓相當額以下ナルトキ
四 第三國(關東州、滿洲國及中華民國以外ノ外國ヲ謂フ以下同シ)居住者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ニシテ一箇月ヲ通シ貸記額千圓相當額以下ナルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十一號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
朝鮮内ニ於テ外國居住者ト交互計算勘定其ノ他ノ相殺勘定ヲ有スル者ハ本令附屬報告書式第十二號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國ヘノ送金ニ代フル目的ヲ以テ外國ニ於テ爲ス支拂ノ委託(外國爲替ニ依ルモノヲ除ク)ヲ爲スコトヲ得ズ
前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十五號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十一條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ金貨幣、金地金(外國金貨ヲ含ム)金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スルコトヲ得ズ金貨幣ハ之ヲ鑄造又ハ毀傷スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ

一 貸記ノ原因トナルベキ行爲ニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ
二 關東州又ハ滿洲國ニ居住スル者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ヲ爲ス

三 中華民國居住者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ヨシテ一箇月ヲ通シ貸記額五千圓相當額以下ナルトキ
四 第三國(關東州、滿洲國及中華民國以外ノ外國ヲ謂フ以下同シ)居住者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ニシテ一箇月ヲ通シ貸記額千圓相當額以下ナルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十一號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
朝鮮内ニ於テ外國居住者ト交互計算勘定其ノ他ノ相殺勘定ヲ有スル者ハ本令附屬報告書式第十二號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

本令附屬報告書式第十二號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國ヘノ送金ニ代フル目的ヲ以テ外國ニ於テ爲ス支拂ノ委託(外國爲替ニ依ルモノヲ除ク)ヲ爲スコトヲ得ズ
前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十五號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十一條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ金貨幣、金地金(外國金貨ヲ含ム)金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スルコトヲ得ズ金貨幣ハ之ヲ鑄造又ハ毀傷スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ

濫スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
外國爲替銀行ニ對シ第一項ノ取立ヲ依頼シタル者ハ本令附屬報告書式第十六號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第一項又ハ第二項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十三號又ハ第十四號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十四條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國居住者ノ爲ニ左ニ掲グルモノノ取立ノ依頼又ハ引受ヲ爲スコトヲ得ズ但シ外國爲替銀行ニ對シ取立ノ依頼ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 本邦内ニ於テ支拂ハルル手形、小切手、支拂指圖書、電信爲替又ハ郵便爲替
二 本邦内ニ於テ支拂ハルル公債、社債若ハ債券ノ償還金若ハ利息又ハ株式配當金
三 本邦内ニ於テ支拂ハルル銀行預金ノ元金若ハ利息又ハ金錢信託ノ元本

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十八號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
第一項ノ取立ヲ引受ケタル者ハ本令附屬報告書式第十七號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三章 旅費ニ關スル規定
第二十五條 關東州又ハ滿洲國ニ旅行セントスル者ハ第十一條、第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ旅費ニ充ツル爲金額通シテ五百圓以下ノ本邦通貨又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル送金爲替若ハ信用狀ヲ携帶又ハ取得スルニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十六條 中華民國ニ旅行セントスル者ハ第十一條、第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ旅費ニ充ツル爲金額通シテ五百圓以下ノ本邦通貨

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

一 貸記ノ原因トナルベキ行爲ニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ
二 關東州又ハ滿洲國ニ居住スル者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ヲ爲ス

三 中華民國居住者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ヨシテ一箇月ヲ通シ貸記額五千圓相當額以下ナルトキ
四 第三國(關東州、滿洲國及中華民國以外ノ外國ヲ謂フ以下同シ)居住者トノ間ニ有スル勘定ヘノ貸記ニシテ一箇月ヲ通シ貸記額千圓相當額以下ナルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十一號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ
朝鮮内ニ於テ外國居住者ト交互計算勘定其ノ他ノ相殺勘定ヲ有スル者ハ本令附屬報告書式第十二號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國ヘノ送金ニ代フル目的ヲ以テ外國ニ於テ爲ス支拂ノ委託(外國爲替ニ依ルモノヲ除ク)ヲ爲スコトヲ得ズ
前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第十五號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十一條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ金貨幣、金地金(外國金貨ヲ含ム)金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スルコトヲ得ズ金貨幣ハ之ヲ鑄造又ハ毀傷スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ

貨又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル送金爲替若ハ信用狀ヲ携帶又ハ取得スルニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ但シ許可ヲ受クルコトヲ要セズシテ携帶シ得ル本邦通貨ハ二百圓以下トス

第二十七條 第三國ニ旅行セントスル者ハ第十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ旅費ニ充ツル爲二百圓相當額以下ノ本邦通貨又ハ外國通貨ヲ携帶スルニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十八條 官廳ヨリ支給ヲ受ケタル旅費其ノ他ノ給與ヲ携帶又ハ送付スル爲必要ナル場合ニハ第十四條ノ規定ニ拘ラズ信用狀ヲ取得スルニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十九條 外國ニ旅行セントスル者本邦通貨、外國通貨、送金爲替又ハ信用狀ヲ外國ニ携帶スルトキハ本令附屬報告書式第十八號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十條 關東州、滿洲國又ハ中華民國ヨリ朝鮮内ヘノ旅行者ハ第十八條ノ規定ニ拘ラズ金額二百圓以下ノ本邦通貨ヲ携帶輸入スルル付朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第三十一條 第二十五條乃至第二十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ許可ヲ要セズシテ携帶輸出又ハ輸入シ得ル本邦通貨ニハ券面金額百圓以上ノ銀行券ヲ合マズ

第四章 證券ニ關スル規定
第三十二條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外貨證券ヲ有價ニテ取得

第三十三條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外國ニ在ル外貨證券ヲ賣却シ若ハ外國爲替銀行ニ取立ノ依頼ヲ爲シ又ハ本邦内ニ於テ之ガ支拂ヲ受ケベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條 本邦内ニ在ル外貨證券ニシテ支拂期日到来シタルモノハ其ノ期日後二箇月以内ニ本邦内ニ於テ之ヲ賣却シ若ハ外國爲替銀行ニ取立ノ依頼ヲ爲シ又ハ本邦内ニ於テ之ガ支拂ヲ受ケベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 外國ニ在ル外貨證券又ハ外國ニ於テ支拂ヲ受クル外貨證券ノ利息若ハ配當金ニシテ支拂期日到来シタルモノハ其ノ期日後二箇月以内ニ之ガ支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ賣却スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

外國ニ在ル外貨證券ヲ賣却シ若ハ之ガ支拂ヲ受ケ又ハ外貨證券ノ利息若ハ配當金ヲ外國ニ於テ支拂ヲ受ケ若ハ之ヲ受取ル權利ヲ讓渡シタルトキハ其ノ代り金ハ其ノ外貨證券又ハ外貨證券ノ利息若ハ配當金ニ付外國ニ於テ要シタル費用トシテ支拂ヒタルモノヲ除キ二箇月以内ニ賣却シタル地、支拂ヲ受ケタル地又ハ權利ヲ讓渡シタル地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一項但書又ハ前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十一號又ハ第二十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十六條 外貨證券ヲ取得又ハ處分シタル者ハ本令附屬報告書式第十九號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十七條 證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ヲ主タル業トスル者ハ外貨證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ニ付本令附屬報告書式第二十號ニ依リ朝鮮總督ニ報告ス

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
一 昭和七年七月十五日ニ本邦内ニ在リタル外貨證券又ハ昭和七年朝鮮總督府令第六十三號第三條若ハ昭和八年朝鮮總督府令第四十號第十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ若ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

二 第三十八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

三 外國人ガ外國ニ於テ有スル資金ヲ以テ外貨證券ヲ取得スルトキ

四 内地、臺灣若ハ樺太ニ於テ資本逃避防止法若ハ外國爲替管理法ニ基ク命令ノ規定ニ依リ又ハ南洋群島ニ於テ昭和十六年勅令第十號ニ基ク命令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

五 取得スベキ外貨證券ノ代金ヲ送金シ又ハ之ガ支拂ヲ爲スニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十八條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外國ニ在ル外貨證券ヲ輸出又ハ輸入スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 本邦内ニ支拂地ヲ有スル證券ノ支拂ヲ受クル爲支拂期日前三箇月以内又ハ支拂期日以後ニ輸入スルトキ

二 株主、取締役、公債所有者又ハ社債權者ガ内外ノ法令ノ規定ニ基キ義務トシテ提出スベキ株式、公債又ハ社債ヲ當該會社、官公署又ハ其ノ財務代理人ニ送付スル爲輸出又ハ輸入スルトキ

三 前號ニ掲グル株式、公債又ハ社債ノ提出ニ伴ヒ當該會社、官公署又ハ其ノ財務代理人ヨリ株式、公債又ハ社債ヲ返付又ハ交付スル爲輸出又ハ輸入スルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十一號又ハ第二十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十九條 價額ノ全部若ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ證券ヲ輸出シタル者又ハ價額ノ全部若ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミ證券ヲ輸出シタル後其ノ取組ミタル爲替ノ償還若ハ買戻ヲ爲シタル者其ノ他該證券ノ代金ヲ外國ヨリ受領スベキ者ハ該證券ノ仕向地ニ到着後又ハ爲替ノ償還若ハ買戻後三箇月以内ニ仕向地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十

號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十條 關東州、滿洲國又ハ中華民國ヨリ朝鮮内ヘノ旅行者ハ第十八條ノ規定ニ拘ラズ金額二百圓以下ノ本邦通貨ヲ携帶輸入スルル付朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十一條 第二十五條乃至第二十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ許可ヲ要セズシテ携帶輸出又ハ輸入シ得ル本邦通貨ニハ券面金額百圓以上ノ銀行券ヲ合マズ

第四章 證券ニ關スル規定
第三十二條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外貨證券ヲ有價ニテ取得

第三十三條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外國ニ在ル外貨證券ヲ賣却シ若ハ外國爲替銀行ニ取立ノ依頼ヲ爲シ又ハ本邦内ニ於テ之ガ支拂ヲ受ケベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條 本邦内ニ在ル外貨證券ニシテ支拂期日到来シタルモノハ其ノ期日後二箇月以内ニ本邦内ニ於テ之ヲ賣却シ若ハ外國爲替銀行ニ取立ノ依頼ヲ爲シ又ハ本邦内ニ於テ之ガ支拂ヲ受ケベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 外國ニ在ル外貨證券又ハ外國ニ於テ支拂ヲ受クル外貨證券ノ利息若ハ配當金ニシテ支拂期日到来シタルモノハ其ノ期日後二箇月以内ニ之ガ支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ賣却スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

外國ニ在ル外貨證券ヲ賣却シ若ハ之ガ支拂ヲ受ケ又ハ外貨證券ノ利息若ハ配當金ヲ外國ニ於テ支拂ヲ受ケ若ハ之ヲ受取ル權利ヲ讓渡シタルトキハ其ノ代り金ハ其ノ外貨證券又ハ外貨證券ノ利息若ハ配當金ニ付外國ニ於テ要シタル費用トシテ支拂ヒタルモノヲ除キ二箇月以内ニ賣却シタル地、支拂ヲ受ケタル地又ハ權利ヲ讓渡シタル地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一項但書又ハ前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十一號又ハ第二十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第三十六條 外貨證券ヲ取得又ハ處分シタル者ハ本令附屬報告書式第十九號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十七條 證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ヲ主タル業トスル者ハ外貨證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ニ付本令附屬報告書式第二十號ニ依リ朝鮮總督ニ報告ス

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
一 昭和七年七月十五日ニ本邦内ニ在リタル外貨證券又ハ昭和七年朝鮮總督府令第六十三號第三條若ハ昭和八年朝鮮總督府令第四十號第十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ若ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

二 第三十八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

三 外國人ガ外國ニ於テ有スル資金ヲ以テ外貨證券ヲ取得スルトキ

四 内地、臺灣若ハ樺太ニ於テ資本逃避防止法若ハ外國爲替管理法ニ基ク命令ノ規定ニ依リ又ハ南洋群島ニ於テ昭和十六年勅令第十號ニ基ク命令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ヲ本邦内ニ於テ取得スルトキ

五 取得スベキ外貨證券ノ代金ヲ送金シ又ハ之ガ支拂ヲ爲スニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

四號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ニ掲グル者ハ輸出證券代金ノ回收状況等ニ付本令附屬報告書式第二十三號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十條 第三十八條又ハ昭和八年朝鮮總督府令第四十號第十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ輸入シタル外貨證券ニシテ報告ヲ爲シタルモノニ付テハ所有者其ノ他ノ利害關係人ハ最寄朝鮮銀行(本店及各支店ヲ謂フ以下同ジ)ニ證券ヲ呈示シ本令附屬様式ニ依ルスタンプノ押捺ヲ受タルコトヲ得但シ朝鮮總督ガスタンプノ押捺ヲ受タルコトヲ得サル旨ヲ定メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ朝鮮銀行ヲシテ前條ノ規定ニ該當セザル外貨證券ニ付本令附屬様式ニ依ルスタンプヲ押捺セシムルコトヲ得

第五章 外貨債權債務、對外債權債務、信用供與ニ關スル規定

第四十二條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外貨債權ヲ讓受クルコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十五號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

外貨債權ヲ讓受ケタル者ハ本令附屬報告書式第二十四號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十三條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ何人ノ計算ニ於テスルヲ問ハズ外國通貨ヲ以テ表示スル債權又ハ債務ヲ取得スベキ預金又ハ消費貸借ノ契約ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十

六號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第四十四條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ本邦内ニ在ル財産ヲ擔保トシテ外國居住者ヨリノ借入金ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ
二 借入金ノ借入及返済ガ本邦内ニ於テ本邦通貨ヲ以テ爲サルトキ
前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十七號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第四十五條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國居住者ニ對シ又ハ外國居住者ノ爲ニ貸付金、假拂金又ハ立替金ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 關東州、滿洲國若ハ中華民國ニ居住スル者ニ對シ又ハ此等ノ者ノ爲ニ一箇年ヲ通ジ一萬圓相當額以下ノ貸付金、假拂金又ハ立替金ヲ爲スコトキ
二 第四十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ爲シタル消費貸借ノ契約ニ基キ貸付金ヲ爲スコトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十八號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第四十六條 左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第二十五號乃至第三十三號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

一 本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ニ對スル債權ノ讓受
二 外國通貨ヲ以テ表示スル預金又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ヘノ預金ノ預入又ハ引出

三 外國通貨ヲ以テ表示スル貸付金又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ヘノ貸付金ノ貸付又ハ回收

四 外國通貨ヲ以テ表示スル預り金又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ヨリノ預り金ノ受入又ハ拂戻

五 外國通貨ヲ以テ表示スル借入金又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ヨリノ借入金ノ借入又ハ返済

第四十七條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國通貨ヲ以テ表示スル債權又ハ債務ヲ取得スベキ信託又ハ保險(再保險及海上保險ヲ除ク)ノ契約ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十九號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ
第一項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第三十四號又ハ第三十五號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十八條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外國通貨ヲ以テ表示スル地方債、社債又ハ株式ヲ發行スルコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ
外國通貨ヲ以テ表示スル地方債又ハ社債ヲ發行又ハ償還シタル者ハ本令附屬報告書式第三十六號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十九條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外國居住者ノ債務ニ付擔保ヲ供シ又ハ保證ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第三十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ外國ニ在ル外貨證券ヲ擔保ニ供スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

七 第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十一號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第六節 在外財産ニ關スル規定

第五十條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ外國ニ在ル不動産 礦業權、漁業權、森林伐採權、工業所有權、事業、營業、事業若ハ營業ニ對スル出資又ハ外國ノ國籍ヲ有スル船舶(外國ニ在ル日本ノ國籍ヲ有セザル船舶ヲ含ム)ヲ取得スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 一箇年ヲ通ジ價額二萬圓相當額以下ノ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ在ル財産ヲ取得スルトキ
二 一箇年ヲ通ジ價額一萬圓相當額以下ノ第三國ニ在ル財産ヲ取得スルトキ
三 財産ヲ取得スルニ必要ナル取引又ハ行爲ヲ爲スニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ

四 礦業權、漁業權又ハ工業所有權ノ設定ヲ受クルトキ
五 相續又ハ遺贈ニ因リ取得スルトキ
六 官廳ノ取得スルトキ
前項ノ規定ハ外國人ガ無償ニテ又ハ外國ニ在ル財産ヲ以テ前項ニ掲グル財産ヲ取得スル場合ニハ之ヲ適用セズ

第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十二號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第五十一條 第三國ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲ス者ハ其ノ事業又ハ營業ニ關シ各事業年度又ハ毎年一月ヨリ十二月迄ノ期間ニ於ケル收支豫算及事業

計畫ヲ本令附屬報告書式第三十七號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十二條 外國ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲ス者ハ其ノ事業又ハ營業ニ關シ各事業年度又ハ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ各期間ニ於テ外國ニ於テ生ジル收入支出及本邦トノ間ノ送金其ノ他資金移動ノ狀況竝ニ各期末ニ於テ外國ニ有スル資産負債ノ内容ニ付本令附屬報告書式第三十八號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十三條 外國ニ於テ本邦系外國子會社(本邦法人又ハ本邦人ガ資本金ノ二分ノ一以上ヲ占メ若ハ其ノ他ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スル外國法人又ハ之ニ準ズルモノヲ謂フ以下同ジ)ヲ有スル者ハ本令附屬報告書式第三十九號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十四條 外國ニ財產(外貨證券、預ケ金及貸付金ヲ除ク)ヲ有スル者ハ其ノ財產ニ關シ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ各期間ニ於ケル増減ノ内容及各期末ニ於ケル現在高ニ付本令附屬報告書式第四十號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十五條 朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ第三國ヨリ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ貨物ヲ輸入シ又ハ資金ヲ移ス爲第三國ニ在ル財產ヲ處分スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 本令ノ規定ニ依リ第三國ヨリ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ貨物ヲ輸入スル爲許可ヲ受ケ本邦ヨリ送金シタル資金ヲ處分スルトキ

二 關東州、滿洲國又ハ中華民國ヨリ輸出シタル貨物ノ代金其ノ他關東州、滿洲國又ハ中華民國、第三國トノ間ノ取引ヨリ生ジタル財產ヲ處分スルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十三號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

一 營業上必要ナル寄贈ヲ爲ス爲又ハ公共團體、慈善團體其ノ他之ニ準ズルモノニ寄贈スル爲一箇年ヲ通ジ二萬圓相當額以下ノ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ在ル財產ヲ處分スルトキ

二 營業上必要ナル寄贈ヲ爲ス爲又ハ公共團體、慈善團體其ノ他之ニ準ズルモノニ寄贈スル爲一箇年ヲ通ジ五千圓相當額以下ノ第三國ニ在ル財產ヲ處分スルトキ

三 本令ノ他ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ處分スルトキ

四 官廳ノ爲ストキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十五號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第五十八條 外國ニ在ル不動産、礦業權、漁業權、森林伐採權、工業所有權、船舶、事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資(株式ヲ除ク)ヲ賣却又ハ讓渡シタル者ハ其ノ代リ金ヨリ該賣却又ハ讓渡ニ付外國ニ於テ要シタル費用トシテ支拂ヒタルモノヲ除キ該賣却又ハ讓渡後二箇月以内ニ賣却又ハ讓渡シタル地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキ
二 一箇年ヲ通ジ五千圓相當額以下ノ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ在ル財產ヲ賣却又ハ讓渡シタルトキ
三 一箇年ヲ通ジ千圓相當額以下ノ第三國ニ在ル財產ヲ賣却又ハ讓渡シタルトキ
四 外國人ガ外國ニ在ル財產ヲ處分シタルトキ
五 官廳ノ爲シタルトキ

第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ同項ノ行爲ヲ爲シタル者ハ本令附屬報告書式第四十一號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十六條 朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 本邦居住者ニ對スル外國ニ在ル資金ノ貸付
二 外國ニ在ル資金ヲ以テ爲ス本邦内ニ在ル財產ノ賣却代金ノ受領
三 外國ニ在ル資金ヲ以テ爲ス本邦内ニ在ル財產ノ買入代金ノ支拂
四 外國ニ在ル財產ノ賣却ニシテ其ノ代金ヲ本邦内ニ在ル資金ヲ以テ受領スルモノ

五 外國ニ在ル財產ノ買入ニシテ其ノ代金ヲ本邦内ニ在ル資金ヲ以テ支拂フモノ

六 外國ニ在ル財產ト本邦内ニ在ル財產トノ交換
前項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニハ之ヲ適用セズ

一 外國爲替銀行ガ業務トシテ爲ストキ
二 前號ニ掲グル取引又ハ行爲ノ相手方トシテ爲ストキ
三 本令ノ他ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ外國ニ在ル財產ヲ取得又ハ處分スルトキ

四 本令ノ規定ニ依リ取引又ハ行爲ノ相手方ガ許可ヲ受ケ外國ニ在ル財產ヲ取得又ハ處分スルトキ
五 官廳ノ爲ストキ
第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十四號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第五十七條 朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ外國ニ在ル財產ヲ無償ニテ又ハ不當ニ低廉ナル價格ニテ處分スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項第一號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十六號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第一項ニ掲グル者ハ賣却又ハ讓渡代リ金ノ回收狀況等ニ付本令附屬報告書式第四十二號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十九條 本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ外國ニ送金シタル者該資金ヲ其ノ目的ニ使用セザルニ至リタルトキハ遲滞ナク送金仕向地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十七號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第六十條 外國ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲ス者ハ該事業又ハ營業ニ因リ生ジタル利益金ヲ之ガ確定後三箇月以内ニ該利益金ヲ生ジタル地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十八號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第六十一條 外國ニ於テ締結シタル第三國通貨ヲ以テ表示スル保險契約ニ基キ保險業者ノ取得スル保險料ハ第三國通貨ニ依リ之ヲ受領スベシ但シ

左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキ
- 二 保険料ヲ受領シタル通貨ニ依リ保險金ノ支拂ヲ爲スベキ契約アルトキ

前項第一號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第三十九號ニ依リ申請書ヲ提出スベシ

前二項ノ規定ハ保險業者ガ本邦内ニ於テ締結シタル第三國通貨ヲ以テ表示スル船舶保險契約又ハ外國ト外國トノ間ノ輸送貨物ニ關スル積荷保險契約ニ基ク保險料ヲ取得スル場合ニ付之ヲ準用ス

第六十二條 外道ト外國トノ間ノ旅客又ハ貨物ノ輸送ニ因リ海運業者ノ取得スル運賃ハ第三國通貨ニ依リ之ヲ受領スベシ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキ
- 二 關東州、滿洲國、中華民國相互間ノ旅客又ハ貨物ノ輸送ニ因ル運賃ヲ該地域ノ通貨ニ依リ受領スルトキ
- 三 關東州、滿洲國又ハ中華民國ヨリ第三國ヘノ旅客又ハ貨物ノ輸送ニ因ル運賃ヲ該地域ノ通貨ニ依リ受領スルトキ

前項第一號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十號ニ依リ申請書式第四十號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第七條 貨物ノ輸出又ハ輸入ニ關スル規定

第六十三條 朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ價額ノ全部又ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ貨物ノ輸出ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 見本トシテ輸出スルトキ
- 二 慰問又ハ救恤ノ爲ノ寄贈品ヲ輸出スルトキ
- 三 五十圓相當額以下ノ物ヲ輸出スルトキ
- 四 手荷物、引越荷物又ハ船用品(漁業用品ヲ含ム以下同シ)ヲ輸出スルトキ
- 五 官廳ノ輸出スルトキ

外國ヨリ仕向ケラレタル信用狀ニ基キ本邦内ノ銀行ニ宛テタル爲替手形ヲ振出シ之ヲ賣却シタルトキ又ハ本邦内ノ銀行ニ船積書類等ヲ提供シ代金ヲ受領シタルトキハ本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミタルモノト看做ス

第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十一號ニ依リ申請書ヲ提出スベシ

第六十四條 價額ノ全部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ貨物ヲ輸出スル者ハ本令附屬報告書式第四十五號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ但シ左ニ掲グル物ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 慰問又ハ救恤ノ爲ノ寄贈品
- 二 十圓相當額以下ノ物
- 三 手荷物、引越荷物又ハ船用品
- 四 官廳ノ輸出スルトキ

第六十五條 價格ノ全部又ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミ貨物ヲ輸出スル者ハ其ノ爲替取組ニ關シ本令附屬報告書式第四十六號又ハ第四十七號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ但シ前條各號ニ掲グル物ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附屬報告書式第四十六號又ハ第四十七號ニ依リ爲替取組先銀行ノ證明ヲ附シ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十六條 前條第一項ノ報告ヲ爲シタル者其ノ後爲替ヲ取組マズ又ハ爲替取組金額ヲ變更シタルトキハ本令附屬報告書式第四十五號乃至第四十七號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ但シ爲替取組金額ヲ變更シタル場合ニハ爲替取組先銀行ノ證明ヲ附スルコトヲ要ス

價額ノ全部又ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミ貨物ヲ輸出シタル者其ノ取組ミタル爲替ノ全部又ハ一部ニ付價還又ハ買戻ヲ爲シタルトキハ本令附屬報告書式第四十五號又ハ第四十七號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十七條 價額ノ全部若ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ貨物ヲ輸出シタル者又ハ價額ノ全部若ハ一部ニ付本邦ヨリ外國ニ仕向ケタル爲替ヲ取組ミ貨物ヲ輸出シタル後其ノ取組ミタル爲替ノ價還若ハ買戻ヲ爲シタル者其ノ他該貨物ノ代金(増量金、増量金其ノ他之ニ準ズルモノヲ含ム)ヲ外國ヨリ受領スベキ者ハ該貨物ノ仕向地ニ到着後又ハ爲替ノ價還若ハ買戻後三箇月以内ニ仕向地ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十二號ニ依リ申請書ヲ提出スベシ

第一項ニ掲グル者ハ輸出貨物代金ノ回收狀況等ニ付本令附屬報告書式第四十八號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十八條 關東州又ハ滿洲國ヨリ貨物ヲ輸入スル者ハ第十一條ノ規定ニ拘ラズ其ノ代金ノ決済ヲ爲ス爲一箇月ヲ通ジ百圓相當額以下ノ外國爲替

ノ買入ヲ爲シ又ハ關東州若ハ滿洲國ヨリ本邦ニ仕向ケタル爲替ノ支拂ヲ爲スニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルコトヲ要セズ

關東州又ハ滿洲國ヨリ貨物ヲ輸入スル者ハ第十四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ代金ノ決済ヲ爲ス爲一箇月ヲ通ジ百圓相當額以下ノ關東州又ハ滿洲國ニ仕向ケタル信用狀ヲ取得スルニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルコトヲ要セズ

第六十九條 朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ價格ノ全部又ハ一部ニ付外國ヨリ本邦ニ向ケタル爲替ヲ取組マズル貨物ノ輸入ヲ爲スコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 見本若ハ寄贈品トシテ又ハ博覽會ニ出品スル爲輸入スルトコト
- 二 修繕ノ爲輸入スルトキ
- 三 本邦ヨリ出漁セル船舶ガ出漁ニ際シ携帯シタル用品又ハ漁獲物ヲ該船舶ニ依リ輸入スルトキ
- 四 手荷物又ハ引越荷物ヲ輸入スルトキ
- 五 本令ノ規定ニ依リ代金ノ決済ノ爲必要ナル取引又ハ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケタル貨物ヲ輸入スルトキ
- 六 前各號ニ該當スル場合ノ外關東州又ハ滿洲國ヨリ一箇月ヲ通ジ百圓相當額以下ノ貨物ヲ輸入スルトキ
- 七 官廳ノ輸入スルトキ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十三號ニ依リ申請書ヲ提出スベシ

第七十條 本邦ヘノ輸入貨物代金ノ決済ノ爲必要ナル取引又ハ行爲ニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ該貨物ノ輸入前ニ其ノ許可ヲ受ケテバシ但シ前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七十一條 第三國ヨリ貨物ヲ輸入シタル者該貨物ニ付缺斤料、値引金其ノ他之ニ準ズル債權ヲ取得シタルトキハ該債權ノ取得後三箇月以内ニ第三國ヨリ銀行ヲ經由シ又ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依リ之ヲ本邦ニ回收スベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十四號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

前二項ノ規定ハ第三國へ貨物ヲ輸出シタル者該貨物ニ付手數料、立替金其ノ他之ニ準ズル債權ヲ取得シタル場合ニ之ヲ準用ス

第一項又ハ前項ニ掲グル者ハ債權ノ取得及回收狀況等ニ付本令附屬報告書式第四十九號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八章 外國爲替銀行、兩替商等ニ關スル規定

第七十二條 既存又ハ新設ノ店舗ニ於テ外國爲替業務ヲ營マントスル銀行ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケベシ

昭和十一年十一月三十日迄ニ外國爲替業務ヲ營ム旨ノ届出ヲ爲シタル銀行又ハ昭和八年朝鮮總督府令第四十號第十七條第一項若ハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル銀行ヲ外國爲替銀行ト謂ヒ其ノ外國爲替業務ヲ營ム店舗ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

外國爲替銀行其ノ全部若ハ一部ノ店舗ニ於ケル外國爲替業務ヲ廢止セントスルトキ又ハ其ノ外國爲替業務ヲ營ム店舗ノ名稱若ハ位置ヲ變更セントスルトキハ豫メ朝鮮總督ニ届出ツベシ此ノ場合朝鮮總督ハ之ヲ告示ス

第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十五號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第七十三條 外國爲替銀行ハ第十三條第一項但書ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督

ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國爲替銀行(外國ニ在ル自行ノ他ノ店舗ヲ含ム)ニ對シ外國爲替ヲ賣却スルコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第七十四條 外國爲替銀行ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國ヨリ本邦ニ仕向ケタル外國爲替ノ取立ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十六號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第七十五條 朝鮮内ニ在ル外國爲替銀行ハ爲替勘定其ノ他名義ノ何タルヲ問ハズ外國ニ在ル銀行(自行ノ他ノ店舗ヲ含ム)ニ對シ預ケ金又ハ貸越金ヲ爲スコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十七號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第七十六條 外國爲替銀行ハ第三國ニ在ル店舗ニ於テ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル限度ヲ超エ資金ヲ保有スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十八號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第七十七條 第十九條、第二十四條、第三十三條乃至第三十五條、第三十九條、第四十九條及第五十二條ノ規定ハ外國爲替銀行ニ之ヲ適用セズ

第七十八條 外國爲替銀行ハ顧客(銀行ヲ含ム)ト取引又ハ行爲ヲ爲スニ付該顧客ガ本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルコト又ハ許可ヲ受ケルノ要ナキコトヲ確認スルニ非ザレバ該取引又ハ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

〔朝〕

第七十九條 外國爲替銀行ハ各月ニ於ケル外國爲替ノ賣買、取立爲替ノ取扱、送金爲替ノ支拂、信用狀ノ發行等ニ關シ本令附屬報告書式第五十號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十條 外國爲替銀行ハ毎日ノ外國爲替賣買高及賣持又ハ買持ノ高ヲ本令附屬報告書式第五十一號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十一條 業トシテ外國通貨ノ賣買ヲ爲サントスル者(銀行ヲ除ク)ハ豫メ其ノ業務ヲ營ムベキ店舗ヲ朝鮮總督ニ届出ツベシ

昭和八年朝鮮總督府令第四十號第二十條ノ二第一項若ハ第二項又ハ前項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ヲ兩替商ト謂ヒ其ノ業務ヲ營ム店舗ノ變更及廢止ハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ届出ツベシ

第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲サントスル者ハ本令附屬届出書式ニ依ル届出書ヲ提出スベシ

第八十二條 兩替商ハ第十六條第一項但書ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外國爲替銀行又ハ兩替商ニ對シ外國通貨ヲ賣却スルコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第八號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第八十三條 兩替商ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テハ外貨旅行小切手ノ賣却ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第四十九號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第八十四條 兩替商ハ相手方ガ外國通貨又ハ外貨旅行小切手ノ買入ヲ爲スニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルコト又ハ許可ヲ受ケルノ要ナキコトヲ確認スルニ非ザレバ之ガ賣却ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十五條 業トシテ外國爲替取引ノ媒介ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ

許可ヲ受ケベシ

本令施行ノ際業トシテ外國爲替取引ノ媒介ヲ爲シ居レル者引續キ其ノ業務ヲ營マントスルトキハ昭和十六年八月三十日迄ニ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケベシ

第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ヲ爲替ブローカート謂ヒ其ノ業務ヲ廢止セントスルトキハ豫メ朝鮮總督ニ届出ツベシ

第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第五十號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第八十六條 本章ノ規定ニ於ケル外國爲替ニハ第一條ニ規定スルモノノ外國爲替銀行ノ業務上之ニ準ズルモノヲ含ム

第九章 特別命令ニ關スル規定

第八十七條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ人ヲ指定シテ左ニ掲グル財産ニ關シ本令ニ定ムルモノノ外朝鮮銀行其ノ他朝鮮總督ノ指定スル者ニ對スル賣却其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

一 外國通貨又ハ外國爲替

二 外貨證券、外貨債券又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者ニ對スル債權

三 外國ニ在ル財産ニシテ前二號ニ掲ゲザルモノ

第八十八條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ人ヲ指定シテ外國へノ送金、外國ヨリノ送金ノ受領其ノ他外國トノ間ニ於ケル債權債務ノ決済又ハ外國ヨリ外國へノ送金其ノ他外國間ニ於ケル債權債務ノ決済ニ關シ其ノ方法、條件其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八十九條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ人ヲ指定シテ外國居住者、本邦内ニ居住スル外國人(外國法人ノ本邦内ニ在ル支店其ノ他ノ營業所ヲ含ム)又ハ左ニ掲グル法人ノ朝鮮内ニ於テ爲ス財産ノ取得若ハ處分、預ケ金ノ

引出又ハ貸出金ノ回收ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

一 外國法人又ハ外國人が資本金ノ二分ノ一以上ヲ占ムル本邦法人

二 外國法人又ハ外國人が前號以外ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スル本邦法人

朝鮮總督ハ必要アルトキハ前項第一號又ハ第二號ニ掲グル法人ヲ告示ス

第九十條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ人ヲ指定シテ前條ニ掲グル者ノ爲又

ハ之ヲ相手方トスル朝鮮内ニ於テ爲ス前條ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ禁止

又ハ制限スルコトヲ得

第十條 検査其ノ他ニ關スル規定

第九十一條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨

檢シ業務狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

外國爲替管理法第五條第二項ノ規定ニ基ク犯罪事件ノ調査ニ付テハ關稅

法及大正九年法律第五十三號施行規則ノ規定ヲ準用ス

第九十二條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ人ヲ指定シテ本令ニ定ムルモノノ

外帳簿書類ノ備付ヲ命シ又ハ帳簿書類ノ記載方ヲ指定スルコトヲ得

第九十三條 左ニ掲グル者ハ本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セ

ズシテ昭和十六年十二月一日以後爲シタル取引又ハ行爲ニ關シ日本語ヲ

以テ記載シタル帳簿ヲ備付クベシ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ

此ノ限ニ在ラズ

一 外國爲替銀行

二 兩替商

三 保險業者

四 證券業者

五 海運業者

六 外國貿易業者

七 前各號ニ該當スル者ノ外國ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲ス者

前項ノ規定ハ外國ニ在ル店舗ニ備付クル帳簿ニハ之ヲ適用セズ

第九十四條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ事項又ハ人ヲ指定シテ本令ニ定ム

ル取引又ハ行爲ノ制限ヲ免除スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事項又ハ人ヲ指定シテ本令ニ定ムル取引又ハ行爲ノ制

限ヲ免除シタル場合ニハ朝鮮總督ハ必要アルトキハ之ヲ告示ス其ノ廢止又

ハ變更ヲ爲シタル場合亦同シ

第九十五條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ外國爲替管理法ノ施行ニ關スル事

務ノ一部ヲ朝鮮銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲシテ取扱ハシムルコトヲ

得

前項ノ規定ニ依リ朝鮮銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲシテ外國爲替管理

法ノ施行ニ關スル事務ノ一部ヲ取扱ハシムル場合ニハ朝鮮總督ハ必要アル

トキハ之ヲ告示ス其ノ廢止又ハ變更ヲ爲シタル場合亦同シ

第十一章 許可申請及報告ニ關スル規定

第九十六條 本令ノ規定スル手續ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルコト又ハ

朝鮮總督ニ報告スルコト業務上其ノ他ノ事由ニ因リ著シク支障アリト認

ムル場合ハ朝鮮總督ハ特別ノ手續ヲ定ムルコトアルベシ

第九十七條 法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ外國ニ於テ

爲ス取引又ハ行爲ニ付許可ヲ申請スル場合ニハ法人ノ本店、主たる事務所

又ハ京城所在店舗ヨリ許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ人ノ代理人、

使用人其ノ他ノ從業者ガ外國ニ於テ爲ス取引又ハ行爲ニ付許可ヲ申請ス

ル場合ニハ本人又ハ使用主ヨリ許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第九十八條 朝鮮内ニ財産ヲ有スル第三國人又ハ第八十九條第一項第一號

若ハ第二號ニ掲グル法人ハ其ノ所有スル財産ニ關シ、外國ニ在ル第三國

人又ハ第三國法人ノ爲ニ朝鮮内ニ於テ財産ヲ保有又ハ管理スル者ハ其ノ

〔朝一〕

〔朝一〕

保有又ハ管理スル財産ニ關シ曆年ニ依ル四半期毎ニ各期間ニ於ケル増減

ノ内容及各期末ニ於ケル現在高ヲ本令附屬報告書式第五十二號ニ依リ朝

鮮總督ニ報告スベシ

第九十九條 外國通貨、外國爲替若ハ外貨證券ヲ有スル者、外國通貨ヲ以

テ表示スル預金、消費貸借、信託若ハ保險ノ契約ヲ爲シ居ル者又ハ外國

居住者ト本邦通貨ヲ以テ表示スル預金若ハ消費貸借ノ契約ヲ爲シ居ル者

朝鮮内ニ住所ヲ有スルニ在リタルトキハ本令附屬報告書式第五十三號ニ

依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

前項ノ規定ハ外國爲替以外ノモノニ付テハ外國人ニ之ヲ適用セズ

第一百條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ事項又ハ人ヲ指定シテ本令ニ定ムルモ

ノノ外報告ヲ徵シ又ハ本令ニ定ムル報告ヲ免除シ若ハ報告ノ期間ヲ延長

スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事項又ハ人ヲ指定シテ本令ニ定ムルモノノ外報告ヲ徵

シ又ハ本令ニ定ムル報告ヲ免除シ若ハ報告ノ期間ヲ延長シタル場合ニハ

朝鮮總督ハ必要アルトキハ之ヲ告示ス其ノ廢止又ハ變更ヲ爲シタル場合亦

同シ

第一百一條 本令ノ規定ニ依ル報告書ハ各本令附屬報告書式ニ依リノ外其ノ

準則ニ從ヒ之ヲ作成シ朝鮮總督ニ提出スベシ

第一百二條 本令ノ規定ニ依リ外國ニ於ケル取引又ハ行爲ニ付提出スベキ報

告書ハ各本令附屬報告書式ノ準則ニ定ムルモノノ外翌月十五日迄ニ之ヲ

當該地ヨリ發送シ本店若ハ之ニ準ズルモノ又ハ京城所在店舗ニ於テ其ノ

接受後運送ナク朝鮮總督ニ提出スベシ

第一百三條 本令ノ規定ニ依リ一定ノ期間内ニ報告書ヲ提出スベキ業務ヲ負

フ者變災其ノ他已ムラ得ザル事故ニ因リ其ノ期間内ニ提出スルコト能ハ

ザルトキハ其ノ事故止ミタルトキ其ノ理由ヲ具シテ遲滞ナク提出スベシ

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

一三四九

附則 第一百四條 本令ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十九條第一項

及第二項ノ規定ハ昭和十六年十二月一日ヨリ、第二十條第一項乃至第三

項、第六十一條、第六十二條及第七十三條乃至第七十六條ノ規定ハ同年

八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

第一百五條 昭和八年朝鮮總督府令第四十號、昭和八年朝鮮總督府令第四十

一號及昭和十二年朝鮮總督府令第二號ハ之ヲ廢止ス

第一百六條 本令ノ規定ニ依リ各月分ニ付提出スベキ報告書ハ昭和十六年七

月分ヨリ、第五十一條ノ規定ニ依リ各事業年度ニ付提出スベキ報告書ハ

同年六月一日以後ニ始マル事業年度分ヨリ、同條ノ規定ニ依リ一月ヨリ

十二月迄ノ期間ノ分ニ付提出スベキ報告書ハ同年九月三十日迄ニ同年一

月ヨリ十二月迄ノ期間ノ分ヨリ、第五十四條第一項ノ規定ニ依リ提出ス

ベキ報告書ハ同年七月ヨリ十二月迄ノ期間ノ分ヨリ、第九十八條ノ規定

ニ依リ提出スベキ報告書ハ同年第三四半期分ヨリ之ヲ提出スベシ

第一百七條 昭和八年朝鮮總督府令第四十號又ハ昭和十二年朝鮮總督府令第

二號ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ當該取引又ハ行爲ニ付

本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

申請書式第一號(第十一條)

外國爲替買入許可申請書(電話番号)

擔當者

朝鮮總督 殿

年 月 日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 爲替ノ種類及金額
- 二 爲替ノ受取人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 爲替ノ支拂地、支拂期日並ニ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 現物又ハ豫約ノ別及豫約ニ在リテハ受渡期
- 五 賣渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 買入ノ豫定期
- 七 買入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規程ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- (二) 第一項ノ爲替ノ種類ニハ送金手形、送金小切手、支拂指圖書、電信爲替、郵便爲替等ノ別ヲ、電信爲替ニ在リテハ「レミツタン」又ハ「アグセブタン」ノ別ヲ記載スベシ
- (三) 第四項ノ豫約爲替ノ受渡期ニハ成ルベク月別ニ其ノ受渡金額ヲ記載スベシ
- (四) 第六項ハ成ルベク月別ニ其ノ買入金額ヲ記載スベシ
- (五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二號(第十一條)

委託支拂許可申請書(電話番號
擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 委託者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 支拂委託ノ豫定期
- 三 支拂金額
- 四 支拂委託ノ方法
- 五 支拂ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 支拂ノ豫定期
- 七 預リ金ノ支拂又ハ立替拂等ノ別
- 八 支拂人ト支拂委託者トノ關係及支拂ヲ委託セラレ之ヲ引受ケタル事由
- 九 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規程ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- (二) 第二項及第六項ニハ成ルベク月別ニ其ノ豫定期額ヲ記載スベシ
- (三) 第四項ニハ書面、電信、一覽後何日拂付手形振出等ノ如ク記載スベシ
- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三號(第十一條)

外國居住者ノ爲ニス
ル支拂許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國居住者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 支拂金額
- 三 支拂ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 支拂ノ豫定期
- 五 預リ金ノ支拂又ハ立替拂等ノ別
- 六 支拂人ト外國居住者トノ關係及支拂ヲ爲ス事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- (二) 第四項ニハ成ルベク月別ニ其ノ豫定期額ヲ記載スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四號(第十三條及第七十三條)

外國爲替賣却許可申請書(電話番號
擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

爲替ノ種類及金額

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 信用狀ノ種類及金額
- 二 信用狀ニ依ル手形振出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 信用狀發行依頼人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 發行ノ豫定期

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- (二) 買豫約ノ相殺又ハ取消ノ場合ニハ第二項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第五號(第十四條)

信用狀發行許可申請書(電話番號
擔當者)

朝鮮總督 殿

朝鮮

朝鮮

爲替ノ支拂地、支拂期日並ニ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

- 一 現物又ハ豫約ノ別及豫約ニ在リテハ受渡期
- 二 取引ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 賣却ノ豫定期
- 四 賣却ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- (二) 買豫約ノ相殺又ハ取消ノ場合ニハ第二項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第五號(第十四條)

信用狀發行許可申請書(電話番號
擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 信用狀ノ種類及金額
- 二 信用狀ニ依ル手形振出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 信用狀發行依頼人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 發行ノ豫定期

朝鮮

五 發行ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
六 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(一) 第一項ノ信用狀ノ種類ニハ輸入荷爲替信用狀、外國間貿易信用狀、逆爲替信用狀、旅行信用狀、旅行小切手等ノ別ヲ記載スベシ
(二) 第四項ニハ可成月別ニ其ノ豫定額ヲ記載スベシ
(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第六號(第十四條)

信用狀取得許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 信用狀ノ種類、金額及主要條件
- 二 信用狀ニ依ル手形振出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 信用狀發行者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 取得ノ豫定期
- 五 取得ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 六 旅行信用狀ニ在リテハ旅行ノ豫定計畫、同一ノ旅行ノ爲他ニ取得スル

旅行信用狀又ハ送金爲替等アルトキハ其ノ金額及別ニ携帶又ハ送付スル旅費アルトキハ其ノ金額

七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(一) 第一項ノ信用狀ノ種類ニハ荷爲替信用狀、逆爲替信用狀、旅行信用狀、旅行小切手、爲替買取指圖書、爲替買取推薦狀、貨物證券引換指圖書ノ別ヲ記載スベシ
(二) 第一項ノ信用狀ノ主要條件ニハ左記事項ヲ記載スベシ
(1) 手形ノ振出期間(信用狀ノ有効期間)
(2) 手形ノ振出豫定期及金額(成ルベク月別ニ記載スルコト)
(3) 手形ノ支拂期限(一覽後何日拂等)
(4) 手形ノ支拂地
(5) 振出手形支拂ノ爲外國爲替ノ買豫約ヲ爲ス場合ハ該豫約ノ豫定期

(四) 第四項ニハ成ルベク月別ニ其ノ豫定額ヲ記載スベシ
(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第七號(第十五條)

外國通貨買入許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 買入ノ種類、金額及所在地
- 二 賣渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 買入ノ豫定期
- 四 買入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

〔朝一〕

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國通貨ノ種類、金額及所在地
- 二 賣渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 買入ノ豫定期
- 四 買入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第八號(第十六條及第八十二條)

外國通貨賣却許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國通貨ノ種類及金額
- 二 買入人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 賣却ノ豫定期

旅行信用狀又ハ送金爲替等アルトキハ其ノ金額及別ニ携帶又ハ送付スル旅費アルトキハ其ノ金額

七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(一) 第一項ノ信用狀ノ種類ニハ荷爲替信用狀、逆爲替信用狀、旅行信用狀、旅行小切手、爲替買取指圖書、爲替買取推薦狀、貨物證券引換指圖書ノ別ヲ記載スベシ
(二) 第一項ノ信用狀ノ主要條件ニハ左記事項ヲ記載スベシ
(1) 手形ノ振出期間(信用狀ノ有効期間)
(2) 手形ノ振出豫定期及金額(成ルベク月別ニ記載スルコト)
(3) 手形ノ支拂期限(一覽後何日拂等)
(4) 手形ノ支拂地
(5) 振出手形支拂ノ爲外國爲替ノ買豫約ヲ爲ス場合ハ該豫約ノ豫定期

(四) 第四項ニハ成ルベク月別ニ其ノ豫定額ヲ記載スベシ
(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第七號(第十五條)

外國通貨買入許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 買入ノ種類、金額及所在地
- 二 賣渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 買入ノ豫定期
- 四 買入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

〔朝一〕

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國通貨ノ種類、數量及金額
- 二 受取人アル場合ニハ其ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 送付又ハ携帶ノ方法
- 四 他人ニ託スル場合ニハ其ノ託送者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 送付又ハ携帶ノ豫定期
- 六 送付又ハ携帶ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第九號(第十七條)

本邦通貨又ハ外國通貨ノ送付又ハ携帶許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 本邦通貨又ハ外國通貨ノ種類、數量及金額
- 二 受取人アル場合ニハ其ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 送付又ハ携帶ノ方法
- 四 他人ニ託スル場合ニハ其ノ託送者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 送付又ハ携帶ノ豫定期
- 六 送付又ハ携帶ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ外國ニ旅行セントスル者本邦通貨ヲ携帶輸出セントスル場合ニハ乘船前本申請書一通ヲ乘船港所管稅關ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スルコトヲ得

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七耗橫三六四耗トスベシ

申請書式第十號(第十八條)

本邦通貨輸入許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿
年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

印

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 通貨ノ名稱、種類、數量及金額
 - 二 申請者又ハ發送人ノ通貨ヲ取得シタル原因、經路及時期
 - 三 通貨ノ發送人及名宛人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 四 通貨ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 五 輸送ノ方法、積出港、輸入港及積載船名
 - 六 輸入ノ豫定期間
 - 七 輸入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 八 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ輸入地所管稅關ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

提出スベシ

〔朝一〕

(一) 第一項ニハ日本銀行券、何圓券、何枚、何圓等ノ如ク記載スベシ

(二) 過去一箇年內ニ本邦通貨ノ輸入ヲ爲シタルコトアル場合ハ其ノ實績ヲ第八項ニ記載スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七耗橫三六四耗トスベシ

申請書式第十一號(第十九條)

相殺勘定貸記許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿
年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

印

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 貸記スベキ金額
 - 二 相殺勘定ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 三 貸記ノ豫定期間又ハ豫定期間
 - 四 相殺勘定ノ相手方トノ關係
 - 五 貸記ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 六 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- (二) 成ルベク一定期間ニ爲スベキ貸記ニ付包括申請ヲ爲スベシ
- (三) 右ノ場合期間ガ數箇月ニ亙ル時ハ各月ニ於ケル貸記豫定額ヲ附記

提出スベシ

〔朝一〕

申請書式第十二號(第二十條)

外國ニ於ケル支拂ノ委託許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿
年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

印

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 受託者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 支拂ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 支拂委託ノ金額
- 四 支拂委託ノ方法
- 五 支拂委託ノ豫定期間
- 六 支拂ノ豫定期間
- 七 支拂資金ノ内容
- 八 委託者ト支拂ノ相手方トノ關係
- 九 委託者ト受託者トノ關係及支拂ヲ委託セル事由
- 十 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ外國ニ於ケル支拂金ノ受領者ヲ記載スベシ

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

申請書式第十三號(第二十一條)

金貨幣又ハ金地金ノ輸出許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿
年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

印

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸出セントスル金貨幣又ハ金地金ノ種類、數量及價格
 - 二 荷受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 三 輸出セントスル物ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ニハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 四 輸送ノ方法、積出港、仕向港及積載船名、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出郵便局名
 - 五 輸出ノ豫定期間、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出ノ年月日
 - 六 輸出ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

(一) 第一項ノ種類ニハ金ノ品位ヲ附記スベシ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第十四號(第二十一條)

金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ輸出許可(電話番号) (擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸出セントスル金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ種類、數量、價額及金ノ含有量
 - 二 荷受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 三 輸出セントスル物ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ニハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 四 輸送ノ方法、積出港、仕向港及積載船名、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出郵便局名
 - 五 輸出ノ豫定年月日、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出ノ豫定年月日
 - 六 輸出ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 七 輸出代金ノ受領ノ時期及方法
 - 八 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ輸出地所管稅關ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(一) 第一項ノ金ノ含有量ニハ含有純金ノ量目ヲ五ヲ以テ記載スベシ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第十五號(第二十一條)

金貨幣ノ鑄造許可申請書(電話番号) (擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 金貨幣ノ種類及數量
 - 二 鑄造ヲ爲ス者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 三 金貨幣ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 四 鑄造シタルモノノ處分先
 - 五 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第十六號(第二十二條)

外國送金許可申請書(電話番号) (擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(朝一)

標題ノ件左ノ通及申請候也

(代表者氏名)

- 一 送金ノ方法
 - 二 送金額
 - 三 受取人アル場合ニハ其ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 四 他人ニ託スル場合ニハ其ノ取扱者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 五 送金ノ豫定時期
 - 六 送金ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 第五項ニハ成ルベク月別ニ其ノ送金額ヲ記載スベシ
(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第十七號(第二十三條)

外國ニ於テ支拂ハル債權ノ取立依頼又ハ引受許(電話番号) (擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 取立債權ノ種類及金額
- 二 取立債權ノ支拂地、支拂期日並ニ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 取立代リ金ノ回收ノ見込時期及方法

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

四 取立引受人又ハ依頼者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
五 取立依頼者ト取立債權ノ權利者ト異ル場合ハ其ノ權利者ノ住所、職業及氏名又ハ商號

(朝一)

- 六 取立依頼又ハ引受ノ豫定時期
 - 七 取立ノ依頼又ハ引受ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 八 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 第一項ニハ第二十三條各號ニ掲グル種類ヲ記載スベシ
(三) 第六項ニハ成ルベク月別ニ取立依頼又ハ引受ノ金額ヲ記載スベシ
(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第十八號(第二十四條)

外國居住者ノ爲ニスル債權ノ取立依頼又ハ引受許(電話番号) (擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 取立債權ノ種類及金額
- 二 外國居住者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 取立債權ノ支拂地、支拂期日並ニ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 取立代リ金ノ處分ノ見込時期及方法

- 五 取立引受人又ハ依頼者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 取立依頼又ハ引受ノ豫定期
- 七 取立依頼又ハ引受ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第一項ニハ第二十四條各號ニ掲グル種類ヲ記載スベシ

(三) 第六項ニハ成ルベク月別ニ取立依頼又ハ引受ノ金額ヲ記載スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第十九號(第三十二條)

外貨證券有償取得許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 外貨證券ノ名稱、金額、數量及所在地
 - 二 對價タル通貨等ノ種類及豫定期
 - 三 外貨證券ノ受渡地
 - 四 取引ノ相手方又ハ媒介人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 五 取得ノ豫定期
 - 六 取得ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 外貨證券ノ名稱、金額、數量及所在地
 - 二 對價タル通貨等ノ種類、數量、豫定期及所在地並ニ處分代リ金ノ本邦ヘノ回收見込時期及方法
 - 三 外貨證券ノ受渡又ハ擔保差入等ノ場所
 - 四 取引ノ相手方又ハ媒介人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
 - 五 賣却又ハ擔保差入等ノ豫定期
 - 六 賣却又ハ擔保差入等ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

外貨證券處分許可申請書(電話番號 擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(一) 第一項ノ金額及數量ニ付テハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計株數並ニ合計枚數ヲ記載スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十一號(第三十四條及第三十五條)

外貨證券ノ賣却、取立依頼又ハ支拂金受領期間延(電話番號 擔當者)長許可申請書

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 外貨證券ノ名稱、金額、數量及所在地
 - 二 外貨證券、外貨證券ノ利息又ハ配當金ノ支拂期日及支拂金額
 - 三 期間延長ヲ必要トスル金額
 - 四 賣却、取立依頼又ハ支拂金受領ノ見込時期
 - 五 期間延長ヲ必要トスル事由
 - 六 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第一項ノ金額及數量ニ付テハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計株數並ニ合計枚數ヲ記載スベシ

計枚數ヲ記載スベシ

(一) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十二號(第三十五條)

外貨證券代リ金ノ不回收、回收期(電話番號 擔當者)間延長又ハ特殊回收許可申請書

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號
(代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 外貨證券ノ名稱、金額、數量及所在地
 - 二 外貨證券、外貨證券ノ利息若ハ配當金ノ賣却又ハ支拂金受領ノ時期及金額
 - 三 賣却先、支拂人又ハ讓受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號並ニ賣却地、支拂受領地又ハ讓渡地
 - 四 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
 - 五 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニアリテハ回收ノ見込時期及方法
 - 六 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第一項ノ金額及數量ニ付テハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計株數並ニ合計枚數ヲ記載スベシ

(三) 特殊回收トハ外貨證券ノ賣却地、支拂受領地若ハ權利讓渡地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十三號(第三十八條)

證券輸出又ハ輸入許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 證券ノ名稱、金額、數量及所在地
- 二 證券ヲ取得シタル時期、場所、價額、取得ノ相手方及取得ノ原因
- 三 證券ノ發送人並ニ名宛人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 證券ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ニハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 輸送ノ方法、輸出ニ在リテハ差出郵便局名又ハ積出港及積載船名、輸入ニ在リテハ郵便差出地又ハ輸入港及積載船名
- 六 輸出又ハ輸入ノ豫定期間、郵便ニ依リ輸出スルモノニ在リテハ差出ノ豫定期間
- 七 證券ガ賣買ノ目的タルモノニ在リテハ其ノ代金決済ノ方法及豫定期間
- 八 輸出又ハ輸入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 九 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 特殊回收トハ仕向地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ

(三) 第二項ノ金額及數量ニハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計株數並ニ合計枚數ヲ記載シ賣却價額ニ付テハ賣却未済ノモノニ在リテハ見込價額ヲ記載スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十五號(第四十二條)

外貨債權讓受許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 債權ノ種類及金額
- 二 債務者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 對價タル邦貨額等
- 四 讓渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 讓受ノ豫定期間
- 六 讓受ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 特殊回收トハ仕向地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ

(三) 第二項ノ金額及數量ニハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計株數並ニ合計枚數ヲ記載シ賣却價額ニ付テハ賣却未済ノモノニ在リテハ見込價額ヲ記載スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十五號(第四十二條)

外貨債權讓受許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 債權ノ種類及金額
- 二 債務者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 對價タル邦貨額等
- 四 讓渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 讓受ノ豫定期間
- 六 讓受ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 特殊回收トハ仕向地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ

(三) 第二項ノ金額及數量ニハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計株數並ニ合計枚數ヲ記載シ賣却價額ニ付テハ賣却未済ノモノニ在リテハ見込價額ヲ記載スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十五號(第四十二條)

外貨債權讓受許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 債權ノ種類及金額
- 二 債務者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 對價タル邦貨額等
- 四 讓渡人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 讓受ノ豫定期間
- 六 讓受ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ證券ヲ携帶輸入セシトスル者ハ本令施行地ニ到着ノ際到着港所管稅關ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スルコトヲ得

(二) 第一項ノ金額及數量ニ付テハ公社債ニ在リテハ額面總額及合計枚數ヲ、株式ニ在リテハ一株ノ額面額及拂込額、合計株數並ニ合計枚數ヲ記載シ本邦外貨證券ニ在リテハ記號及番號ヲモ記載スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十四號(第三十九條)

證券代金ノ不回收、回收期間延長又ハ特殊回收許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 證券ノ發送人並ニ名宛人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出證券ノ名稱、金額、數量及賣却價額
- 三 輸出ノ時期及輸送ノ方法
- 四 證券ノ仕向地及到着時期
- 五 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 六 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 七 爲替ノ償還又ハ買戻ヲ爲シタル場合ニ在リテハ其ノ金額、時期及銀行名
- 八 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十六號(第四十三條)

外貨預金契約又ハ外貨消費貸借契約許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 預金殘高ノ最高限度又ハ消費貸借ノ契約金額
- 二 契約ノ種類及主要條件
- 三 他人ノ計算ニ於ケルモノニ在リテハ其ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 契約ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 契約ノ豫定期間
- 六 契約ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十七號(第四十四條)

外貨預金契約又ハ外貨消費貸借契約許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 預金殘高ノ最高限度又ハ消費貸借ノ契約金額
- 二 契約ノ種類及主要條件
- 三 他人ノ計算ニ於ケルモノニ在リテハ其ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 契約ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 契約ノ豫定期間
- 六 契約ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十七號(第四十四條)

外貨預金契約又ハ外貨消費貸借契約許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 預金殘高ノ最高限度又ハ消費貸借ノ契約金額
- 二 契約ノ種類及主要條件
- 三 他人ノ計算ニ於ケルモノニ在リテハ其ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 契約ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 契約ノ豫定期間
- 六 契約ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十七號(第四十四條)

在內財産ヲ擔保トスル借入金許可申請書(電話番號) (擔當者)

朝鮮總督

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

㊦

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 借入ノ金額及主要條件
- 二 擔保物ノ種類、數量、價格及所在地並ニ差入先ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 借入地
- 四 契約ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 借入ノ豫定期
- 六 借入ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

注意(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十八號(第四十五條)

外國居住者ニ對スル又ハ其ノ爲ニス(電話番號) (擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

㊦

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 外國居住者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 貸付假拂又ハ立替拂ノ區分及金額
- 三 擔保ヲ徵取スルモノニ在リテハ擔保物ノ種類、數量、價格及所在地
- 四 貸付、假拂又ハ立替拂ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 貸付金、假拂金又ハ立替金ノ回收見込時期及方法
- 六 貸付、假拂又ハ立替拂ノ豫定期
- 七 貸付、假拂又ハ立替拂ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

注意(二) 第四項ハ外國居住者ニ對スル貸付、假拂又ハ立替拂ニ付テハ記載スルニ及バズ

申請書式第二十九號(第四十七條)

外國信託契約又ハ外貨(電話番號) (擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

㊦

〔朝一〕

標題ノ件左ノ通申請候也

- 一 信託又ハ保險ノ契約金額
- 二 契約ノ種類及主要條件
- 三 他人ノ計算ニ於ケルモノニ在リテハ其ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 契約ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 契約ノ豫定期
- 六 契約ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

注意(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第三十號(第四十八條)

外國通貨ヲ以テ表示スル地方債、(電話番號) (擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

㊦

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 地方債、社債又ハ株式ノ發行豫定期及主要條件
- 二 地方債、社債又ハ株式ノ發行地

〔朝一〕

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

㊦

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 擔保物ノ種類、數量、價格、所在地及差入先又ハ保證金額
- 二 擔保提供又ハ保證ノ豫定期及主要條件
- 三 債務者タル外國居住者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 債權者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 債務ノ金額及主要條件
- 六 擔保提供又ハ保證ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及破産管理

行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

申請書式第三十二號(第五十條) 在外不動産等ノ取得許可申請書(電話番號 擔當者) 朝鮮總督 殿 年 月 日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
一 取得スル不動産ノ種類、數量、價額及所在地
二 事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資ノ取得ノ場合ニハ其ノ事業又ハ營業ノ財産及損益ノ狀況
三 取得ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
四 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額及所在地
五 取得ノ豫定時期
六 取得ヲ必要トスル事由
七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

朝鮮總督 殿 年 月 日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
一 資金ノ貸付又ハ財産ノ取得若ハ處分ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
二 貸付金ノ種類、金額及主要條件
三 處分スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
四 取得スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
五 貸付又ハ財産ノ取得若ハ處分ノ豫定時期
六 貸付又ハ財産ノ取得若ハ處分ヲ必要トスル事由
七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 第一項ノ相手方ハ左記ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號ヲ記載スベシ

- (1) 在外資金ノ貸付ニ在リテハ在內債務者
(2) 在內財産ノ賣却ニ在リテハ其ノ買受人及外國ニ於ケル代金支拂人
(3) 在內財産ノ買受ニ在リテハ其ノ賣却人及外國ニ於ケル代金受取人

申請書式第三十三號(第五十五條) 關東州、滿洲國又ハ中華民國ヘノ貨物(電話番號 輸入等ノ爲ノ在外財産處分許可申請書(擔當者) 朝鮮總督 殿 年 月 日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
一 處分スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
二 處分ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
三 處分ノ豫定時期
四 輸入貨物ノ品名、數量及價額又ハ送付資金ノ金額及送付方法
五 荷受人又ハ資金受取人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
六 荷送人又ハ送金者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
七 處分ヲ必要トスル事由
八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
(三) 外國ニ在ル資金ノ貸付、在外財産ノ取得又ハ(電話番號 在外財産取得ノ爲ノ在外財産處分許可申請書(擔當者) 申請書式第三十四號(第五十六條)

〔朝一〕

〔朝一〕

- (1) 在外財産ノ賣却ニ在リテハ其ノ買受人及本邦ニ於ケル代金支拂人
(2) 在外財産ノ買受ニ在リテハ其ノ賣却人及本邦ニ於ケル代金受取人
(3) 在內財産ト交換ニ在外財産ヲ取得スル場合ニ在リテハ在內財産ノ取得者及在外財産ノ引渡人
(4) 在外財産ト交換ニ在內財産ヲ取得スル場合ニ在リテハ在外財産ノ取得者及在內財産ノ引渡人
(5) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
(6) 在外財産無償處分等許可申請書(電話番號 擔當者) 申請書式第三十五號(第五十七條)

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
一 處分スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
二 處分ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
三 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額及所在地
四 處分ノ豫定時期
五 無償處分又ハ低價處分ヲ必要トスル事由
六 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第三十六號(第五十八條)

在外不動産等ノ代リ金ノ不回收、回(電話番号) 收期間延長又ハ特殊回收許可申請書(擔當者) 朝鮮總督 殿 年 月 日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 不動産等ノ種類、數量、價額及所在地
- 二 不動産等ノ賣却又ハ讓渡代リ金受領ノ時期及金額
- 三 賣却先又ハ讓渡先ノ住所、職業及氏名又ハ商號並ニ賣却地又ハ讓渡地
- 四 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 五 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 六 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(一) 特殊回收トハ不動産等ノ賣却地若ハ讓渡地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ
(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第三十七號(第五十九條)

本邦ヨリ送付セル資金ノ不回收、回(電話番号) 收期間延長又ハ特殊回收許可申請書(擔當者) 朝鮮總督 殿 年 月 日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 本邦ヨリノ送金ノ時期、金額、方法、目的並ニ許可ヲ受ケタル送金ニ付テハ其ノ許可證ノ日附及番號
- 二 送金仕向先ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 本邦ヨリ送付セル資金ニシテ其ノ目的ニ使用セザルニ至リタル時期、金額及其ノ事由並ニ資金ノ預ケ先又ハ寄託先ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 五 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 六 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

【朝一】

【朝一】

行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- (一) 特殊回收トハ送金仕向地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ
- (二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ
申請書式第三十八號(第六十條)

利益金ノ不回收、回收期間延長(電話番号) 長又ハ特殊回收許可申請書(擔當者) 朝鮮總督 殿 年 月 日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 事業所又ハ營業所ノ所在地並ニ事業又ハ營業ノ種類
- 二 利益金ノ確定額並ニ確定ノ時期
- 三 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 四 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及方法
- 五 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 六 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

申請書式第三十九號(第六十一條) 第三國通貨以外ノ通貨ニ依(電話番号) ル保険料受領許可申請書(擔當者) 朝鮮總督 殿 年 月 日

申請者ノ住所 職業、氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 第三國通貨以外ノ通貨ヲ以テ受領スベキ保険料及通貨ノ種類並ニ受領地
- 二 保険ノ種類、保険金額、保険金支拂ノ通貨ノ種類、契約保険料並ニ其ノ受領ノ時期及場所
- 三 被保險者又ハ保険ノ目的及其ノ住所又ハ所在地
- 四 保険契約締結ノ時期及場所並ニ其ノ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 五 保険料支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

- 六 保險料受領ノ豫定期
- 七 第三國通貨ヲ以テ受領シ得ザル事由
- 八 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- (二) 第三項ノ保險ノ目的ガ積荷ナルトキハ貨物ノ種類、數量、積地及揚地ヲモ記載スベシ
- (三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十號(第六十二條)
第三國通貨以外ノ通貨ニ依ル外電話番號
國間輸送運賃ノ受領許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

年 月 日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 第三國通貨以外ノ通貨ヲ以テ受領スベキ運賃及通貨ノ種類並ニ受領地
- 二 輸送契約ノ内容
 - (イ) 旅客又ハ貨物ノ別
 - (ロ) 貨物ノ品名、數量及其ノ所有者

(イ) 積地及揚地

(ロ) 運賃ノ單價及總額

(ニ) 運賃受領ノ時期及場所

三 輸送契約締結ノ時期及場所並ニ相手方ノ住所、職業及氏名又ハ商號

四 運賃受領ノ豫定期

五 第三國通貨ヲ以テ受領シ得ザル事由

六 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十一號(第六十三條)
無爲替貨物輸出許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

年 月 日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸出申告者又ハ郵便差出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出貨物ノ品名、數量、單價、價額及送り狀金額
- 三 爲替ヲ取組マザル金額
- 四 荷受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

- 五 貨物ガ他人ノ所有ニ屬スル場合ニハ其ノ所有者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 六 郵送ノ方法、積出港、積載船名、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出郵便局名、鐵道便ニ依ルモノニ在リテハ積出驛名
- 七 貨物代金ノ受領ノ経路、方法及時期
- 八 本邦内ニ在ル者ヨリ代金ノ支拂ヲ受ケル場合ニハ其ノ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 九 他人ガ外國ヨリ代金ヲ受領スル場合ニハ其ノ者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 十 輸出ノ豫定期、郵便ニ依ルモノニ在リテハ差出ノ豫定期、鐵道ニ依ルモノニ在リテハ託送ノ豫定期
- 十一 爲替ヲ取組マザル事由
- 十二 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ輸出地所管稅關ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ業務上其ノ他ノ事由ニ依リ著シク支障アル場合ハ最寄稅關ヲ經テ提出スルコトヲ得

(二) 第二項ノ輸出貨物ノ品名ニハ品質、等級、銘柄、構成材料、製造者名ヲ附記スベシ但シ貨物ノ性質上明白ナルモノ又ハ記載特ニ困難ナルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

(三) 第二項ノ輸出貨物ノ價額ニハ外國居住者ニ對スル賣價ヲ、賣價確定セズ若ハ判明セザルモノ又ハ賣價ナキモノニ付テハ仕向地ニ於ケル見込賣價ヲ記載シ且F.O.B.、C.I.F.等ノ別ヲ附記スベシ

- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

無爲替輸出貨物代金ノ不回收、四款(電話番號期間延長又ハ特殊回收許可申請書(擔當者)朝鮮總督 殿

年 月 日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 輸出申告者又ハ郵便差出人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出貨物ノ品名、數量、單價、價額及送り狀金額
- 三 荷受人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 輸出ノ時期及輸送ノ方法
- 五 輸出貨物ノ仕向地及到着時期
- 六 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル金額
- 七 回收期間延長又ハ特殊回收ノ場合ニ在リテハ回收ノ見込時期及銀行名
- 八 爲替ノ償還又ハ買戻ヲ爲シタル場合ニ在リテハ其ノ金額、時期及銀行名
- 九 不回收、回收期間延長又ハ特殊回收ヲ必要トスル事由
- 十 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ輸出地所管稅關ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ業務上其ノ他ノ理由ニ依リ著シク支障アル場合ハ最寄稅關ヲ經テ提出スルコトヲ得本邦ヘノ輸入貨物代金決済ノ爲

ニスル場合ニ在リテハ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)

(イ) 特殊回収トハ仕向地外ヨリノ回収又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回収ヲ謂フ

(ロ) 第二項ノ輸出貨物ノ品名ニハ品質、等級、銘柄、構成材料、製造者名ヲ附記スベシ但シ貨物ノ性質上明白ナルモノ又ハ記載特ニ困難ナルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

(ハ) 第二項ノ輸出貨物ノ價額ニハ外國居住者ニ對スル賣値ヲ、賣値確定セズ若ハ判明セザルモノ又ハ賣値ナキモノニ付テハ仕向地ニ於ケル見込賣値ヲ記載シ且F.O.B.、C.I.F.等ノ別ヲ附記スベシ

(ニ) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十三號(第六十九條)

無爲替貨物輸入許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

- 一 輸入貨物ノ種類、數量、單價、價額、産地、積出時期、陸揚地及到着時期並ニ輸入貨物ノ處分方法
- 二 貨物代金決済ノ方法及見込時期又ハ其ノ豫定

【朝一】

三 外國爲替ヲ取組マザル事由

四 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十四號(第七十一條)

輸出又ハ輸入貨物附帶債權ノ代リ金ノ不同(電話番號)

收、回収期間延長又ハ特殊回収許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

- 一 輸出貨物ノ荷受人又ハ輸入貨物ノ荷送人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 二 輸出又ハ輸入貨物ノ品名、數量、單價、價額及送り狀金額
- 三 輸出又ハ輸入ノ時期及方法
- 四 輸出貨物ノ仕向地及到着時期又ハ輸入貨物ノ積出時期
- 五 輸出又ハ輸入貨物附帶債權ノ種類、金額及其ノ算出基礎
- 六 輸出又ハ輸入貨物附帶債權代リ金ノ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號並ニ支拂受領地
- 七 輸出又ハ輸入貨物附帶債權代リ金ノ受領ノ時期及金額
- 八 不回収、回収期間延長又ハ特殊回収ヲ必要トスル金額
- 九 回収期間延長又ハ特殊回収ノ場合ニ在リテハ回収ノ見込時期及方法
- 十 不回収、回収期間延長又ハ特殊回収ヲ必要トスル事由
- 十一 其ノ他參考トナルベキ事項

【朝一】

申請書式第四十六號(第七十四條)

被仕向取立爲替ノ取立許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

- 一 取立爲替ノ種類及金額
- 二 取立爲替ノ支拂地、支拂期日並ニ支拂人ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 三 取立依頼者ノ住所、職業及氏名又ハ商號
- 四 取立ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十七號(第七十五條)

在外銀行ニ對スル預ケ金(電話番號)

又ハ貸越金許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

- 一 預ケ金又ハ貸越金額

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 特殊回収トハ輸出又ハ輸入貨物附帶債權代リ金受領地外ヨリノ回収又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回収ヲ謂フ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十五號(第七十二條)

外國爲替業務開始許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

- 一 外國爲替業務ヲ營ムコトスル店舗ノ名稱及所在地
- 二 前號ノ店舗ニ於ケル外國爲替業務開始ノ時期
- 三 取引ヲ必要トスル地域
- 四 外國爲替業務ヲ營ムコトヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第四十五號(第七十二條)

外國爲替業務開始許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所

職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

在外店舗ノ所 在地及名稱	通貨ノ 種類	當方口又 ハ先方口	預ケ金又 ハ貸越金	預ケ金又ハ貸越ヲ 必要トスル事由
-----------------	-----------	--------------	--------------	---------------------

二 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 當方口預ケ金ニハ邦貨換算額ヲ括弧書スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七糎横三六四糎トスベシ
申請書式第四十八號(第七十六條)

在外保有外貨資金限度ニ關スル許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

在外店舗ノ所 在地及名稱	通貨ノ 種類	現金	預ケ金	フアシリ	計	備考(フアシリ ナリ額)
-----------------	-----------	----	-----	------	---	-----------------

一 在外保有資金限度額

標題ノ件左ノ通及申請候也

(一) 他ノ種ノ業務ヲ併セ營ム者ハ第三項ニ其ノ業務ノ種類ヲ記載スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七糎横三六四糎トスベシ

届出書式(第八十一條)

兩營業務開始届

(電話番號
擔當者)

朝鮮總督 殿
年月日

届出者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及届出候也

一 届出者法人ナルトキハ資本金、出資者氏名及出資金額

二 業務ヲ營ム店舗ノ名稱及其ノ所在地

三 業務ヲ開始スル時期

四 外國ニ本店、支店其ノ他ノ營業所又ハ取引店ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ名稱及所在地

五 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本屆書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本屆書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七糎横三六四糎トスベシ
報告書式第一號(第十一條)經由銀行名

二 保有ヲ必要トスル事由

其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第一項ノ各欄ノ金額ニハ邦貨換算額ヲ括弧書スベシ

(三) 第一項ノ預ケ金ニ付テハ預ケ先名ヲ附記シ預ケ先別ニ金額ノ内譯ヲ掲記スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大イサハ縱二五七糎横三六四糎トスベシ
申請書式第四十九號(第八十三條)

外貨旅行小切手賣却許可申請書

申請書式第八號ヲ準用ス

申請書式第五十號(第八十五條)

爲替媒介業務開始許可申請書

朝鮮總督 殿

年月日

申請者ノ住所
職業、氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 爲替媒介業務開始ノ豫定期

二 爲替媒介業務ヲ營ムコトヲ必要トスル事由

三 其ノ他參考トナルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

【朝一】

外國爲替銀行ヨリノ外國爲替買入等報告書

(一) 豫約爲替 昭和何年何月何日 住所 氏名又ハ商號

仕向被仕向ノ別	外貨	仕向被仕向ノ別
	邦貨	
爲替相場		爲替相場
受渡		受渡
備考		備考

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ買入ノ際相手方銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ

3 備考ノ欄ニハ買入ノ目的或ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ

4 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱一四八糎横九一糎トスベシ

(一) 現物爲替及豫約實行 經由銀行名

昭和何年何月何日 住所 氏名又ハ商號

仕向被仕向ノ別	
受取人又ハ手形振出人等ノ住所、氏名又ハ商號	
仕向爲替ノ支拂又ハ被仕向爲替ノ仕向地	

爲替ノ種類	
現物豫約實行ノ別	
金額	外貨 邦貨
爲替相場	
備考	

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ買入又ハ豫約實行ノ際相手方銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- 2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
- 3 爲替ノ種類ノ欄ニハ仕向送金爲替ニ在リテハ送金手形、送金小切手、支拂指圖書、電信爲替ノ別、被仕向取立爲替（取立爲替ニ準ズルモノヲ含ム）ニ在リテハ荷付爲替手形、クリーン・ビル等ノ別並ニ信用狀ノ有無及手形ノ振出年月日等ヲ記載スベシ
- 4 豫約實行ニ在リテハ現物豫約實行ノ別ノ欄ニ豫約年月日ヲ附記スベシ
- 5 表示通貨ガ外貨ナルトキハ其ノ對價タル邦貨額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
- 6 備考ノ欄ニハ買入ノ目的並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 7 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦128.5センチ横91.1センチ

報告書式第二號(第十一條) 經由銀行名

外國爲替銀行ニ對スル外國ニ於テ爲シタル委託ニ基ク支拂又ハ外國居住者ノ爲ニスル支拂報告書

昭和何年何月何日 住所 氏名又ハ商號

支拂委託者又ハ外國居住者ノ住所、氏名又ハ商號	
支拂委託ノ方法	
金額	外貨 邦貨
支拂ヲ爲シタル事情	
備考	

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ支拂ノ際相手方銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- 2 被仕向取立爲替（取立爲替ニ準ズルモノヲ含ム）ノ支拂ニ付テハ報告書式第一號(Ⅱ)ニ依リ報告スベシ
- 3 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
- 4 備考ノ欄ニハ支拂ノ目的、立替拂ニ在リテハ其ノ旨並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 5 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦128.5センチ横91.1センチ

報告書式第三號(第十一條)

外國爲替銀行以外ノ者ヨリノ外國爲替買入報告書

昭和何年何月分 住所 氏名又ハ商號

買入ノ住所、氏名又ハ商號	金額	爲替相場	取引日	備考
	外貨	邦貨		

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最新朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- 2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
- 3 關東州、滿洲國及中華民國ニ仕向ケタル爲替ニ付テハ一箇月ヲ通ジ買入高千圓未満ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得
- 4 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
- 5 備考ノ欄ニハ買入ノ目的並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182.5センチ横91.1センチ

報告書式第四號(第十一條)

外國爲替銀行以外ノ者ニ對スル外國ニ於テ爲シタル委託ニ基ク支拂又ハ外國居住者ノ爲ニスル支拂報告書

昭和何年何月分 住所 氏名又ハ商號

支拂委託者又ハ外國居住者ノ住所、氏名又ハ商號	支拂相手方支拂委託者ノ住所、氏名又ハ商號	金額	支拂日	支拂ヲ爲シタル事情	備考
		外貨	邦貨		

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最新朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- 2 外國爲替銀行ハ被仕向送金爲替及被仕向取立爲替ノ支拂ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 3 月中ノ支拂額千圓相當額未満ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得
- 4 支拂委託者又ハ外國居住者ノ住所ガ關東州又ハ滿洲國ニシテ一口一萬圓未満ノモノハ一括シ口數及金額ヲ記載スルヲ以テ足ル
- 5 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
- 6 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
- 7 備考ノ欄ニハ支拂ノ目的、立替拂ニ在リテハ其ノ旨並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 8 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182.5センチ横91.1センチ

報告書式第五號(第十三條) 經由銀行名
外國爲替銀行ニ對スル外國爲替賣却報告書

(I) 豫約爲替
書式ハ第一號(I)ノ例ニ準ズ
準則 第一號(I)ノ準則ニ準ズ

(II) 現物爲替及豫約實行 經由銀行名 住所 氏名又ハ商號
昭和何年何月何日

仕向被仕向ノ別	
支拂人又ハ送金人等ノ住所、氏名又ハ商號	
仕向爲替ノ支拂地又ハ被仕向爲替ノ仕出地	
爲替ノ種類	
現物豫約實行ノ別	
金額	
外貨	
邦貨	
爲替相場	
備考	

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ賣却又ハ豫約實行ノ際相手方銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ

3 爲替ノ種類ノ欄ニハ仕向取立爲替(取立爲替ニ準ズルモノ)ヲ含ム)ニ在リテハ荷付爲替手形、クリーン・ビル等ノ別及信用狀ノ有無ヲ記載シ被仕向送金爲替ニ在リテハ送金手形、送金小切手、支拂指圖書、電信爲替ノ別ヲ記載スベシ
4 豫約實行ニ在リテハ現物豫約實行ノ別ノ欄ニ豫約年月日ヲ附記スベシ
5 表示通貨ガ外貨ナルトキハ其ノ對價タル邦貨額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
6 備考ノ欄ニハ賣却ノ目的ヲ記載スベシ
7 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱128.5糎横91糎トスベシ
報告書式第六號(第十四條)

信用狀發行報告書

昭和何年何月分 住所 氏名又ハ商號

信用狀ノ種類	發行依頼人ノ住所、氏名又ハ商號		取引日	備考
	金	額		
	外貨	邦貨		

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
3 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ但外國ニ於テ發行シタルモノハ報告スルニ及バズ
4 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記スベシ

5 備考ノ欄ニハ發行依頼人ノ取得ノ目的並ニ發行依頼人ガ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱128.5糎横91糎トスベシ
報告書式第七號(第十四條) 發行者名

信用狀取得報告書

昭和何年何月何日 住所 氏名又ハ商號

信用狀ノ種類	
手形振出人ノ住所、氏名又ハ商號	
手形名宛先	
金額	
外貨	
邦貨	
爲替相場	
備考	

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ取得ノ際發行者ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ

3 旅行小切手ニ在リテハ金額及目的ヲ記載スルヲ以テ足ル
4 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
第十二章 出納 第八節 資本移動 附 資金融通及換算管理

5 目的ノ欄ニハ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ附記シ尙旅行信用狀及旅行小切手ニ在リテハ出發豫定期日ヲ附記スベシ
6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱128.5糎横91糎トスベシ
報告書式第八號(第十五條) 相手方銀行又ハ兩替商名

外國爲替銀行又ハ兩替商ヨリノ外國通貨買入報告書

昭和何年何月何日 住所 氏名又ハ商號

金額	外貨	額
	邦貨	換算額
爲替	相場	
備考		

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ買入ノ際相手方銀行又ハ兩替商ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
3 備考ノ欄ニハ買入ノ目的並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
4 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱128.5糎横91糎トスベシ
報告書式第九號(第十六條) 相手方銀行又ハ兩替商名

外國爲替銀行又ハ兩替商ニ對スル外國通貨買却報告書

書式ハ第六號ノ例ニ準ス

準則 第六號ノ準則ニ準ス

報告書式第十號(第十五條、第十六條)

外國通貨所有高増減報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

(前回提出 昭和何年何月分)

外貨別	前月		当月		中月		末月		備考
	現	高	現	高	現	高	現	高	

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行

ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- 2 月中ノ増減千圓相當額未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得
- 3 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
- 4 其ノ月中ニ増減ナキ外貨ニ付テモ其ノ月末現在高ヲ記載スベシ
- 5 其ノ月中ニ外國ヨリ現送ヲ受ケタルモノハ當月中取得高ノ欄ニ内書スベシ
- 6 其ノ月中ニ外國ニ現送シタルモノハ當月中處分高ノ欄ニ内書スベシ
- 7 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182横257箱トスベシ

(乙) 海外所在分 昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

(前回提出 昭和何年何月分)

外貨別	前月		月末現在高		外貨所在地	備考
	現	高	現	高		

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ本店若ハ之ニ準スルモノ又

ハ京城所在店舗ニ於テ接受後連滞ナク最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮

總督ニ提出スベシ

2 月末現在高過シテ千圓相當額未滿ナル場合ハ報告スルニ及

ズ

3 其ノ他(甲)ノ準則ニ準ス

報告書式第十一號(第十八條)

本邦通貨又ハ外國通貨輸入報告書

(甲) 携帶輸入分

昭和何年何月何日

何 税 關

報告書ノ住所 職業	氏名	年齢	国籍
乗船舶船名 旅行出發地			
輸入ノ目的			取得ノ経路

携帶金額	外國通貨		本 邦 通 貨		貨 物	許可申請金額 圓
	英貨 米貨 何貨	磅 弗	日銀券 朝鮮券 臺灣券 政府紙幣 軍用手票	圓(内百圓券 圓(内百圓券 枚) 枚) 圓		
						許可年月日
						許可證番號
						許可金額 圓
						備考

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ到着ノ際到着港所管税關ヲ經テ朝鮮

總督ニ提出スベシ

2 補助携貨ニ付テハ報告スルニ及バズ

3 航空機ニ依リ旅行スル者ハ乗船舶船名ノ箇所ニ航空機ト記載

シ乗船豫定港ニ代ヘ搭乘地ヲ記載スベシ

4 報告書ガ所有者ニ非ザルトキハ所有者ノ住所及氏名又ハ商號

ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ

5 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182横257箱トスベシ

(乙) 携帶ニ依ラザル輸入分 昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號

種類	輸入		輸出		到着		發送		輸入		備考
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ輸入後二週間内ニ輸入地所管税關

ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 補助携貨ニ付テハ報告スルニ及バズ

3 種類ノ欄ニハ本邦通貨ニ在リテハ日銀券、朝鮮券、臺灣券、
政府紙幣、軍用手票ノ別、外國通貨ニ在リテハ外貨ノ種類ヲ記
載スベシ

4 本邦銀行券ノ内券面額百圓以上ノモノニ付テハ金額ノ欄ニ種
類毎ニ其ノ枚數ヲ内書スベシ

5 報告書ガ所有者ニ非ザルトキハ所有者ノ住所及氏名又ハ商號
ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ

6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257横364箱トスベシ

報告書式第十二號(第十九條)

相殺勘定報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

(前回提出 昭和何年何月分)

何國何市		何店(社)ニ對スル何貨勘定		何方		何方	
仕向被仕向ノ別	摘要	金額	備考	仕向被仕向ノ別	摘要	金額	備考

借方計	貸方計		
前月残借高	前月残借高		
当月借高	当月借高		
計	計		

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 外國ニ在ル本支店、代理店、取引先等トノ間ニ有スル各勘定毎ニ且通貨別ニ別紙ニ記載スベシ
- 3 同一ノ目的ヲ有スル取引ハ仕向ト被仕向トニ區分シ一括記載スルコトヲ得
- 4 一口千圓相當額未滿ノモノハ一括シ金額ノミヲ記載スルコトヲ得
- 6 月中ノ貸記額又ハ借記額ガ千圓相當額未滿ナル場合ハ其ノ月分ヲ報告スルニ及バズ但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ後ノ報告書ニ一括記載スベシ
- 6 摘要ノ欄ニハ取引ノ目的ヲ記載スベシ
- 7 備考ノ欄ニハ付替送金票又ハ付替逆爲替票ノ番號、入帳日其ノ他參考トナルベキ事項並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ

- 8 被仕向取引ニ付テハ入帳ヲ爲シタル月分ノ報告ニ記載シ當該取引ノ歸屬スベキ月ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
- 9 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2577耗横2647耗トスベシ

報告書式第十三號(第二十一條)

金ヲ主タル材料トスル物(又ハ金貨幣、金地名、金ノ合名)ノ輸出報告書

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號

種類	數量	價格	含有純金量目	輸出港ハ差出郵便局	輸出月日	受入ノ姓名	住所	輸出許可證番號	備考

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ輸出申告又ハ郵便差出ニ際シ税關又ハ差出郵便局ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 種類ノ欄ニハ金ノ品位(例ヘバ十八金、二十二金等)ノ異ル毎ニ細別シ品名ヲ記載スベシ
- 3 含有純金量目ノ欄ニハ含有純金ノ量目ヲ元ヲ以テ記載スベシ
- 4 備考ノ欄ニハ輸出ノ目的等ニ付記載スベシ
- 5 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2107耗横2977耗トスベシ

報告書式第十四號(第二十一條)

金貨幣續渡報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

種類	枚數	額面金額	含有純金量目	續渡月日	續渡者ノ姓名	許可證番號	備考

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 種類ノ欄ニハ額面及新、舊貨幣ニ區分シ記載スベシ
- 3 含有純金量目ノ欄ニハ含有純金ノ量目ヲ元ヲ以テ記載スベシ
- 4 備考ノ欄ニハ續渡ノ目的等ニ付記載スベシ
- 5 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2107耗横2977耗トスベシ

外國ニ於テ支拂ハルル送金報告書

昭和何年何月分 住所 氏名又ハ商號

送金ノ方法	受取人ノ住所、氏名又ハ商號	仕向地	金額	外貨	邦貨	送金日	備考

報告書式第十六號(第二十三條)

金ヲ主タル材料トスル物(又ハ金貨幣、金地名、金ノ合名)ノ輸出報告書

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號

種類	數量	價格	含有純金量目	輸出港ハ差出郵便局	輸出月日	受入ノ姓名	住所	輸出許可證番號	備考

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
- 3 書式第十二號(相殺勘定)又ハ第十八號(旅費携帶)ニ依リテ報告セララルモノニ付テハ記載スルニ及バズ
- 4 支店ヲ有スルモノハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
- 5 送金ノ方法ノ欄ニハ本邦通貨若ハ外國通貨ノ送付、支拂委託又ハ手形若ハ小切手ノ送付等ノ別ヲ記載スベシ
- 6 表示通貨ガ外貨ナルトキハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
- 7 備考ノ欄ニハ送金ノ目的並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 8 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2107耗横2977耗トスベシ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
- 3 書式第十二號(相殺勘定)又ハ第十八號(旅費携帶)ニ依リテ報告セララルモノニ付テハ記載スルニ及バズ
- 4 支店ヲ有スルモノハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
- 5 送金ノ方法ノ欄ニハ本邦通貨若ハ外國通貨ノ送付、支拂委託又ハ手形若ハ小切手ノ送付等ノ別ヲ記載スベシ
- 6 表示通貨ガ外貨ナルトキハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
- 7 備考ノ欄ニハ送金ノ目的並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 8 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2107耗横2977耗トスベシ

(C) 取立依頼ノ際提出分

昭和何年何月何日 住所 氏名又ハ商號

取立 債 權 ノ 種 類	支拂人ノ住所、氏名又ハ商號

金額	外	貨	
	邦	貨	
爲	株	相	場
支拂	ノ	豫	定
取立代リ金	ノ	本邦	回収ノ
備			考

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ取立依頼ノ際相手方銀行ヲ經テ朝鮮

總督ニ提出スベシ

- 2 外國爲替銀行ハ本報告書ヲ提出スルニ及バズ
- 3 取立債權ノ種類ノ欄ニハ第二十三條第一項各號ニ掲グル種類ヲ記載スベシ
- 4 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
- 5 取立代リ金ヲ本邦ニ回収セザル場合ニハ其ノ旨ヲ取立代リ金ノ本邦回収ノ豫定時期ノ欄ニ記載スベシ
- 6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦128.5センチ横91センチ

(I) 取立金受領ノ際提出分 經由銀行名

昭和何年何月何日 住所 氏名又ハ商號

取立債權ノ種類	種類
---------	----

支拂人ノ住所、氏名又ハ商號	
金額	外 貨
爲	控 相 場
備	考

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ取立金受領ノ際相手方銀行ヲ經テ朝

鮮總督ニ提出スベシ

- 2 取立金ヲ本邦ニ回収セザルモノニ付テハ備考ノ欄ニ之が理由及本邦ニ回収セザル理由ヲ記載スベシ
- 3 其ノ他(I)ノ準則2乃至6ニ準ズ

報告書式第十七號(第二十四條)

外國居住者ノ爲ニナル取立ノ引受報告書

昭和何年何月分 住所 氏名又ハ商號

外國居住者ノ住所又ハ商號	支拂人ノ住所又ハ商號	金額	取立債權ノ種類	取立金處ノ住所又ハ商號	取立ノ方法	備考

- 準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ取立ヲ完了シタルモノニ付各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 表示通貨ガ外貨ナルトキハ其ノ對價タル邦貨額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
 - 3 取立依頼先ノ欄ニハ引受ケタル取立ヲ更ニ他ノ者ニ依頼シタル場合該依頼先ニ付記載スベシ
 - 4 取立金額分ノ方法ノ欄ニハ外國ヘノ送金、債權ヘノ充當、預リ金等處分ノ方法ヲ記載スベシ
 - 5 取立ノ事由ノ欄ニハ外國居住者トノ關係及取立ヲ引受ケタル理由ヲ記載スベシ
 - 6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦210センチ横297センチ

報告書式第十八號(第二十九條)

外國旅行者旅費擔當報告書

何税關 昭和何年何月何日

報告者ノ住所	職業	氏名	年齢	国籍
乗船船舶名		行先		
旅行ノ目的				

報告書式第十九號(第三十六條)

外貨證券所有高増報告書

昭和何年何月分

携帶金額	通貨		外國通貨		送金爲替		旅行債權	
	日銀券	圓	買入先	何銀行	買入先	何銀行	振替先	何銀行
	(内百圓券)	圓	英貨	磅	英貨	圓	邦貨	圓
	(内百圓券)	圓	米貨	弗	米貨	圓	邦貨	圓
	臺銀券	圓	何貨	米貨	何貨	圓	邦貨	圓
	(内百圓券)	圓	何貨	何貨	何貨	圓	邦貨	圓
	政府紙幣	圓						
	軍用手票	圓						

準則 1 本報告書ハ一通ヲ作成シ出發ニ際シ乗船港所管税關ヲ經テ朝鮮

總督ニ提出スベシ

- 2 補助通貨ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 3 航空機ニ依リ旅行スル者ハ乗船船舶名ニ代ヘ搭乗地ヲ記載スベシ
- 4 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦18.5センチ横27.7センチ

何會社何社債									
利何何公債									
何何社債									
外國何國證券									
何國何公債									
地方債									
何國何市何公債									
社債									
何國何會社何社債									
株式									
何國何會社何株式									
利何何公債									
利何何社債									

準則1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 支店ヲ有スルモノハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ

- 四分利付債券公債ニ付テハ其ノ報告ヲ省略スルコトヲ得
- 受渡済ノモノニ付記載スベシ
- 買買價額ノ欄ニハ超過利子ヲ含ムル額ヲ記載スベシ
- 自己所有證券ノ附屬利札ニシテ支拂期日到来シタルモノハ當月中買受分中ニ記載シ其ノ額ヲ内書シ自己所有證券ノ附屬利札ヲ支拂期日前ニ通知シタルモノハ當月中買渡分ノ欄ニ外書スベシ
- 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257紙横364紙トスベシ

(1) 明細分

住所 氏名又ハ商號

證券名稱	當 月 中		買受人ノ住所、氏名又ハ商號	備 考	當 月 中		買受人ノ住所、氏名又ハ商號	備 考
	券面總數	買買價額			券面總數	買買價額		

準則1 (1)ノ準則1乃至5ニ準ズ

- 證券名稱ハ(1)總括分書式ノ例ニ準ジ記載スベシ
- 買受利札ハ報告スルニ及バズ買渡利札ニ付テハ支拂期日ヲ備考ノ欄ニ附記スベシ
- 備考ノ欄ニハ朝鮮銀行ノ「スタンプ」ノ押捺ノ有無等ヲ記載スベシ
- 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257紙横364紙トスベシ

(2) 買買ノ媒介分

住所 氏名又ハ商號

證券名稱	券面種類	枚數	券面總額	記號及番號	賣出郵便局名 又ハ輸出地	名宛人ノ住所 又ハ商號	輸出ノ目的	輸出年月日	輸出許可 證番號	備考

- 準則 1 (甲)(I)ノ準則1、2及4ニ準ズ
2 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2577粘廣364粘トスベシ

報告書式第二十一號(第三十八條)

證券輸出報告書

(甲) 證券(預金證書又ハ預金通帳ヲ除ク)

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號

證券名稱	券面種類	枚數	券面總額	記號及番號	賣出郵便局名 又ハ輸出地	名宛人ノ住所 又ハ商號	輸出ノ目的	輸出年月日	輸出許可 證番號	備考

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ輸出後二週間内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ外國ニ旅行セントスル者ハ出發前提出スベシ
2 證券名稱ハ第二十號書式ノ例ニ準ジ記載スベシ
3 輸出證券ノ代リ金ヲ外國ヨリ受領スルモノニ在リテハ其ノ決済方法、時期等ヲ輸出ノ目的ノ欄ニ附記スベシ
4 外貨證券ニ付テハ朝鮮銀行「クスタンス」ノ押捺ヲキモノハ其ノ旨備考ノ欄ニ記載スベシ

- 5 輸出證券ノ附屬利札中既ニ支拂期日到來セルモノアル場合ハ其ノ金額、支拂期日等ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
6 報告者ガ所有者ニ非サルトキハ所有者ノ住所及氏名又ハ商號ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
7 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2577粘廣364粘トスベシ

(乙) 預金證書又ハ預金通帳

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號

預金ノ種類	預金者ノ住所、 氏名又ハ商號	金額	期限	賣出郵便局名 又ハ輸出地	名宛人ノ住所、 氏名又ハ商號	輸出ノ目的	輸出年月日	輸出許可 證番號	備考

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ輸出後二週間内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ外國ニ旅行セントスル者ハ出發前提出スベシ
2 報告者ガ所有者ニ非サルトキハ所有者ノ住所及氏名又ハ商號ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
3 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2577粘廣364粘トスベシ

報告書式第二十二號(第三十八條)

證券輸入報告書

(甲) 證券(預金證書又ハ預金通帳ヲ除ク)

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號

證券名稱	券面種類	枚數	券面總額	記號及番號	郵便局名 又ハ輸入地	賣受人ノ住所、 氏名又ハ商號	輸入ノ目的	輸入年月日	輸入許可 證番號	備考

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ輸入後二週間内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
 2 外貨送券ニ付テハ輸入ノ際ニ朝鮮銀行ノ「スタンプ」ヲ押捺有ルモノハ其ノ旨備考ノ欄ニ附記スベシ
 3 其ノ他第三十一號(甲)ノ準則3、3及7乃至7ニ準ス

(2) 預金證書又ハ預金通帳

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號[㊟]

預金ノ種類	預入先ノ住所、 氏名又ハ商號	金額	期限	郵便差出地 又ハ輸入地	發送人ノ住所、 氏名又ハ商號	輸入ノ目的	輸入年月日	輸入許可 證番號	備考

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ輸入後二週間内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
 2 報告者ガ所有者ニ非ザルトキハ所有者ノ住所及氏名又ハ商號ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
 3 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257糎横364糎トスベシ

報告書式第二十三號(第三十九條)

輸出禁禁代金ノ赤管及回收報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號[㊟]

名稱	種類及 數量	價額	輸出 年月日	名義人ノ住所、 氏名又ハ商號	前月未 回収額	管 中		方法及 手帳	常月未現在 回収未済額	備考
						區分	金額			

(前回収提出 昭和何年何月分)

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月中充當又ハ回収ヲ爲シタルモノニ付翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
 2 價額ノ欄ニハ外國居住者ニ對スル稟値ヲ記載シ、價額其ノ他金額ノ記載ハ總テ其ノ表示通貨ヲ以テシ外貨ナルトキハ邦貨換算額ヲ併記スベシ
 3 區分ノ欄ニハ充當若ハ回収又ハ特殊回収ノ別ヲ記載スベシ
 4 方法ノ欄ニハ回収ニ在リテハ經由銀行又ハ郵便局名ヲ、特殊回収ノ場合ニ在リテハ其ノ方法ヲ、充當ニ在リテハ充當ノ目的及内容ヲ記載スベシ
 5 爲替ノ償還又ハ買戻ヲ爲シタル場合ノ本報告書ハ別紙トシ其ノ旨欄外ノ適宜ノ箇所ニ赤書スベシ尙爲替取組金額ノ内償還又ハ買戻ヲ爲シタル金額ヲ價額ノ欄ニ併記赤書シ銀行名及年月日ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
 6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257糎横364糎トスベシ

外貨債權讓受報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號[㊟]

種類	債務者ノ住所、 氏名又ハ商號	讓渡人ノ住所、 氏名又ハ商號	支拂地	金額		取引日	備考
				金	幣		

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

- 2 外國ニ於テ讓受ケタルモノニ付テハ報告スルニ及バズ
- 3 一口千圓相當額未滿ノモノハ種類毎ニ表示通貨別ニ一括シ口数及金額ノミヲ記載シ其ノ他ノ欄ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
- 4 備考ノ欄ニハ取引ノ目的ヲ記載スベシ
- 5 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦210粘横297粘トスベシ

報告書式第二十五號(第四十六條)

邦貨債權讓受報告書

書式ハ第二十四號ノ例ニ準ズ

- 準則 第二十四號ノ準則ニ準ズ但シ外國爲替又ハ關東州若ハ滿洲國ニ居住スル者ニ對スル債權ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 報告書式第二十六號(第四十六條)

外貨預ケ金高増減報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

(前回提出 昭和何年何月分)

外貨別	預ケ金ノ種類	預入先ノ住所、氏名又ハ商號	前月末現在高	當月中増加高		當月中減少高		月末現在高	備考
				金額	預入ノ理由	金額	引出ノ理由		

- 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 外國人ガ外國ニ於テ爲シタル取引又ハ行爲ニ付テハ報告スルニ及バズ

- 3 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
- 4 月中ノ増減五百圓相當額未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得
- 5 他ノ預ケ金ニ増減アルトキハ其ノ月中ニ増減ナキ預ケ金ニ付テモ記載スベシ
- 6 預ケ金ノ種類ノ欄ニハ定期預金、當座預金、通知預金、預託保證金等ノ別ヲ記載スベシ
- 7 預ケ金ノ種類毎ニ小計ヲ附シ且外貨毎ニ合計ヲ附スベシ
- 8 備考ノ欄ニハ預ケ金ノ目的ヲ記載スルト共ニ擔保ニ供シ又ハ供託シ居ルモノニ付テハ債務額並ニ債權者名又ハ供託義務限度ヲ附記スベシ
- 9 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257粘横364粘トスベシ

報告書式第二十七號(第四十六條)

邦貨預ケ金高増減報告書

書式ハ第二十六號ノ例ニ準ズ

- 準則 1 第二十六號ノ準則ニ準ズ但シ關東州又ハ滿洲國ニ居住スル者ヘノ預ケ金ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 2 月中ノ増減五百圓未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得
- 報告書式第二十八號(第四十六條)

外貨貸付金高増減報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

(前回提出 昭和何年何月分)

外貨別	貸付金ノ種類	貸付先ノ住所、氏名又ハ商號	前月末現在高	當月中増加高		當月中減少高		月末現在高	備考
				金額	貸付ノ理由	金額	回收金ノ使途		

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 外國人ガ外國ニ於テ爲シタル取引又ハ行爲ニ付テハ報告スルニ及バズ

3 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ

4 月中ノ増減五百圓相當額未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得

5 他ノ貸付金ニ増減アルトキハ其ノ月中ニ増減ナキ貸付金ニ付テモ記載スベシ

6 貸付金ノ種類ノ欄ニハ證書貸付、手形貸付、當座貸越等ノ別ヲ記載スベシ

7 貸付金ノ種類毎ニ小計ヲ附シ且外貨毎ニ合計ヲ附スベシ

8 貸付ヲ業トスル者ノ外國ニ於ケル店舗ノ分ニ在リテハ貸付金ノ種類別ニ一括シ口數及金額ヲ記載スルヲ以テ足ル

9 備考ノ欄ニハ貸付金ノ目的ヲ記載スルト共ニ其ノ利率及期限ヲ附記スベシ

10 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257横364粘トスベシ

報告書式第二十九號(第四十六條)

邦貨貸付金高増減報告書

書式ハ第二十八號ノ例ニ準ズ

準則 1 第二十八號ノ準則ニ準ズ但シ關東州又ハ滿洲國ニ居住スル者ヘノ貸付金ニ付テハ報告スルニ及バズ

2 月中ノ増減五百圓未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得

報告書式第三十號(第四十六條)

外貨預リ金高増減報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

(前回提出 昭和何年何月分)

外貨別	預リ金ノ種類	預ケ人ノ住所、 氏名又ハ商號	前月末現在高	當月中増加高		當月中減少高		月末現在高
				金額	受入ノ理由	金額	拂戻資金調達方法	

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 外國人ガ外國ニ於テ爲シタル取引又ハ行爲ニ付テハ報告スルニ及バズ

3 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ

4 月中ノ増減五百圓相當額未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得

5 他ノ預リ金ニ増減アルトキハ其ノ月中ニ増減ナキ預リ金ニ付テモ記載スベシ

6 預リ金ノ種類ノ欄ニハ定期預金、當座預金、通知預金、預託保證金等ノ別ヲ記載スベシ

7 預リ金ノ種類毎ニ小計ヲ附シ且外貨毎ニ合計ヲ附スベシ

8 預金ノ受入ヲ業トスル者ノ外國ニ於ケル店舗ノ分ニ在リテハ預リ金ノ種類別ニ一括シ口數及金額ヲ記載スルヲ以テ足ル

9 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257横364粘トスベシ

報告書式第三十一號(第四十六條)

邦貨預リ金高増減報告書

書式ハ第三十號ノ例ニ準ズ

準則 1 第三十號ノ準則ニ準ズ但シ關東州又ハ滿洲國ニ居住スル者ヨリノ預リ金ニ付テハ報告スルニ及バズ

2 月中ノ増減五百圓未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得

報告書式第三十二號(第四十六條)

外貨借入金高増減報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

(前回提出 昭和何年何月分)

外貨別	借入金ノ種類	借入先ノ住所、氏名又ハ商號	前月末現在高	當月中増加高		當月中減少高		月末現在高	備考
				金額	借入ノ理由	金額	返済方法		

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 外國人ガ外國ニ於テ爲シタル取引又ハ行爲ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 3 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
- 4 月中ノ増減五百圓相當額未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得
- 5 他ノ借入金ニ増減アルトキハ其ノ月中ニ増減ナキ借入金ニ付テモ記載スベシ
- 6 借入金ノ種類ノ欄ニハ證書借入、手形借入、當座借越、輸出前借金等ノ別ヲ記載スベシ
- 7 借入金ノ種類毎ニ小計ヲ附シ且外貨毎ニ合計ヲ附スベシ
- 8 借入極度ノ契約アルモノニ付テハ極度額ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
- 9 備考ノ欄ニハ借入金ノ目的ヲ記載スルト共ニ擔保ヲ供シ居ルモノニ付テハ擔保ノ種類、數量及所在地ヲ附記スベシ
- 10 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱257糎横364糎トスベシ

報告書式第三十三號(第四十六條)

邦貨借入金高増減報告書

書式ハ第三十二號ノ例ニ準ズ

- 準則 1 第三十二號ノ準則ニ準ズ但シ關東州又ハ滿洲國ニ居住スル者ニリノ借入金ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 2 月中ノ増減五百圓未滿ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得

報告書式第三十四號(第四十七條)

外貨表示ノ信託契約報告書

外貨別	信託ノ種類	受託者ノ住所、氏名又ハ商號	金額	昭和何年何月分		住所	氏名又ハ商號 [㊟]
				元本及利益ノ受託者ノ住所、氏名又ハ商號	契約日		

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 外國人ガ外國ニ於テ爲シタル取引又ハ行爲ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 3 元本ノ受託者ト利益ノ受託者トガ異ル場合ニハ雙方ニ付記載スベシ
- 4 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱257糎横364糎トスベシ

(乙) 受託者ノ提出スベキモノ

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號[㊟]

外貨別	信託ノ種類	委託者ノ住所、氏名又ハ商號	金額	昭和何年何月分		住所	氏名又ハ商號 [㊟]
				元本及利益ノ受託者ノ住所、氏名又ハ商號	契約日		

準則 1 (甲)ノ準則ニ準ズ

2 支店ヲ有スル者ハ本店及各店毎ニ別紙ニ記載スベシ
報告書式第三十五號(第四十七條)

外貨表示ノ保險契約報告書

住所 氏名又ハ商號

昭和何年何月分

(甲) 保險契約者ノ提出スベキモノ

外貨別	保險ノ種類	保險金額	保險者ノ住所、氏名又ハ商號	保險料	保險期間ノ始期及終期	保險金受取人ノ住所、氏名又ハ商號	保險証券ノ作成地	保險所ノ所在地

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 外國人ガ外國ニ於テ爲シタル契約ニ付テハ報告スルニ及バズ

3 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ

4 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257糎横364糎トスベシ

(乙) 保險者ノ提出スベキモノ

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

外貨別	保險ノ種類	保險金額	保險契約者ノ住所、氏名又ハ商號	保險料	保險期間ノ始期及終期	保險金受取人ノ住所、氏名又ハ商號	保險証券ノ作成地

準則 (甲)ノ準則ニ準ズ

報告書式第三十六號(第四十八條)

外貨地方債社債高増減報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

(前回提出 昭和何年何月分)

地方債又ハ社債名稱	前月	末現在	高	當月中	發行	高	當月中	償還	高	月	末	現在	高

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 發行者ノ手持セルモノニ付テハ月末現在高ニ内書スベシ

8 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182糎横257糎トスベシ

報告書式第三十七號(第五十一條)

在外事業營業豫算報告書

(甲) 海運關係

昭和何年分

住所 氏名又ハ商號

區分	外貨別		前期末繰越額	收入		支出		収支過不足額	本邦ヨリノ送金額、本邦へノ回金額	翌期繰越額	備考
	支	收		計	計	計					

準則 1 第三國ニ於テ拓殖(栽培、森林伐採、水産、鑛業其ノ他之ニ類スルモノ)、工業其ノ他ノ事業又ハ營業(海運、保險及貿易ヲ除ク)ヲ營ム者ハ本書式ニ依リ事業地毎ニ(被統轄事業地分ハ統轄事業地分ニ於テ之ヲ總マテ記載スベシ)其ノ事業年度ノ區分ニ依リ、事業年度ナキ者ハ毎年一月ヨリ十二月迄ノ期間ニ依リ二通ヲ作成シ該事業年度開始ノ月ノ前月末日迄ニ又ハ前年十二月末日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 拓殖業ニ附隨シテ海運、販賣、金融等ノ業務ヲ營ム者ニ在リテハ本書式ニ準ジ別ニ之ヲ報告スベシ

3 其ノ他(丙)ノ準則 2 乃至 8 ニ準ズ

(1) 事業計畫

何國何市

何事業地分(被統轄事業地何事業地)

昭和何年何期分 (自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號

貨物	生			産			貨物			貨物		
	區分	數量	金額	額	摘要	區分	數量	金額	摘要	區分	數量	金額
(1) 期首貨物						(1) 期末貨物						
.....											
(2) 生産貨物						(2) 處分貨物						
.....						本邦向						
(3) 購入貨物						關滿支向						
.....						第三國向						
(4) 其ノ他						現地處分						
.....						(3) 其ノ他						
計						計						

準則 1 (1)ノ準則ニ準ズ

- 金額ハ事業地ノ所在地通貨ヲ以テ記載シ爲替相場ニ依ル邦貨換算額ヲ併記括弧書スベシ
- 貨物ノ生産ノ欄ノ購入貨物ハ他人ノ生産ニ係ル貨物ヲ購入スルモノヲ記載スベシ
- 貨物ノ處分ノ欄ノ本邦向處分貨物ニ在リテハ本邦ヘノ輸入ヲ希望スル貨物ヲ記載シ之ガ輸入見込價額ヲ金額ノ欄ニ邦貨ヲ以テ記載シ輸入見込期毎數量ヲ摘要ノ欄ニ記載スベシ
- 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2577mm横364mmトスベシ

報告書式第三十八號(第五十二條)

在外事業營業實績報告書

(甲) 海運關係
(1) 收支總括表(關東州及滿洲國)(中華民國)(第三國)

昭和何年上(下)期分 (自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

住所 氏名又ハ商號

在外店鋪名	前期	期末	殘高	當期中	收入高	當期中	支出高	當期末	殘高
計									

準則 1 外國ニ於テ海運事業ヲ營ム者ハ本書式ニ依リ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ各期間分ニ付二通ヲ作成シ各期間經過後二箇月内

ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ本書式ニ依ル報告書ハ昭和十六年七月ヨリ十二月迄ノ期間分ヨリ之ヲ提出スベシ

小	計	
(3) 交通勸奨費		
轉出		
小	計	
(4) 事務所及建物費		
地設圖通		
小	計	
(5) 交際費及寄附金		
交際特會附		
小	計	

(a) 現地調査

(c) 其ノ他ノ方法ニ依ル調査

(6) 租税公課	
(7) 雑費	
小	計
合	計

準則 1 (4)ノ準則1乃至3及5ニ準ズ

- 2 交際費及寄附金、雑費ニ付テハ一口千圓相當額以上ノモノニ在リテハ其ノ内容ヲ記載シタル附屬表ヲ添付スベシ
- 3 經費充當資金調達方法 欄ニハ經費合計金額ニ付之ガ調達方法ヲ記載スルモノトシ本邦ヨリノ送金、現地調達、其ノ他ノ方法ニ依ル調達分ニ在リテハ一口毎ニ送金月日、經由銀行名及金額ヲ、現地調達分ニ在リテハ之ガ内容ヲ、其ノ他ノ方法ニ依ル調達分ニ在リテハ邦人勤務員給與ノ本邦内邦貨物、國債債券ノ買入、會社ヘノ預ケ金等ニ區分シ具體的ニ記載スベシ
- 4 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦364横257給トスベシ

(2) 保險關係

(1) 海外店勘定

(4) 總括表 昭和何年上(下)期分(自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

所住 氏名又ハ商號

受 捐 店 鋪 別	受				入				捐				出	差引	
	各種火災	船舶積荷	保險類	勘定	利息及雑收入	小計	保險以外	海外他店	本邦ヨリ送金	本邦及果實	送金及雜物出	小計			保險以外
關東州及滿洲國分															
在															
中華民國所在分															

第三國所在分 何 店 分																				
.....																				
第三國所在分計																				

- 準則 1 外國ニ於テ損害保險業ヲ營ム者ハ本書式ニ依リ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ各期間分ニ付二通ヲ作成シ各期間經過後二箇月内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ本書式ニ依ル報告書ハ昭和十六年七月ヨリ十二月迄ノ期間分ヨリ之ヲ提出スベシ
- 2 外國所在ノ代理店又ハ支店ニ於テ當期中收入又ハ支出シタル金額(本邦ヨリノ賣再保險勘定收支ヲ除ク)ニ付關東州及滿洲國所在店分又ハ中華民國所在店分ハ夫々之ヲ取纏メ記載シ、第三國所在店分ハ各統轄店毎ニ記載シ統轄店名ヲ附記スベシ尙特ニ代理店勘定ヲ設ケザルモ海外ニ於テ生ジタル收支差引殘額ヲ送金又ハ在外預金受拂ニ依リ決済スルモノニ付テモ之ヲ記載スベシ
- 3 金額ハ邦貨ヲ以テ記載シ外貨分ハ爲替相場ニ依リ邦貨換算額ヲ記載スベシ尙本報告書ニ於テ送金又ハ回金トハ銀行又ハ郵便局ヲ經由シテ爲サルモノニ限ル
- 4 受入ノ部各種保險勘定收支殘額ハ支出超過ノモノニ付テハ赤字スベシ尙之ガ内譯ハ別ニ(ロ)各種保險勘定收支殘額内譯ニ依リ報告スベシ
- 5 第三國所在店分保險關係以外受入、同拂出ニ付テハ一口五千圓以上ノモノニ在リテハ各店毎ニ其ノ受入又ハ拂出相手方、時期及金額並ニ取引ノ内容ヲ記載シタル附屬表ヲ添附スベシ
- 6 海外他店ヨリノ送金及海外他店ヘノ送金ニ付テハ一口毎ニ仕出地店又ハ仕向地店、金額及其ノ内容ヲ、本邦ヨリノ送金又ハ本邦ヘノ回金ニ付テハ一口毎ニ送金又ハ回金ノ月日、金額及經由銀行名ヲ夫々記載シタル附屬表ヲ添附スベシ
- 7 元受保險並ニ買再保險ニ於ケル保險金又ハ損害填補金ノ拂出及本邦、關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ於テ締結シタル契約ニ基ク海上保險損害填補金ノ拂出ニ在リテハ一口五千圓以上ノモノニ付保險ノ種類、保險金又ハ損害填補金支拂額(支拂通貨別)、保險金受取人ノ住所、氏名及保險金支拂年月日ヲ記載シタル附屬表ヲ添附スベシ
- 8 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦364[3]横515[3]トスベシ
- (ロ) 各種保險勘定收支殘額内譯

何保險之部 昭和何年上(下)期分(自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號

店 鋪 別 關東州及滿洲國 所在分 中華民國所在分 第三國所在分 何々店分 第三國所在分計	受			入			拂			出			差引殘額 計		
	保險金	保險料	再保險 手數料	再保險 手數料	レザ一 レ積立	レザ一 レ拂戻	其ノ他 受入	保險金	保險料	再保險 手數料	再保險 手數料	レザ一 レ積立		レザ一 レ拂戻	代理店 手數料
中華民國所在分															
第三國所在分															
何々店分															
.....															
第三國所在分計															

準則 1 (1) 準則1乃至3及8ニ準ズ

2 海外各店ノ各種保險勘定收支ニ付船舶保險、貨荷保險、火災保險、其ノ他ノ損害保險ノ種類ニ區分シ各別紙ニ記載スベシ

(1) 賣再保險勘定 昭和何年上(下)期分(自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號

區 分 再保險 手數料	受			入			拂			出			差引殘額 決濟方法
	再保險 手數料	保 險	保 費	再保 手數料	レザ一 レ積立	其ノ他 計	再保險 手數料	レザ一 レ積立	レザ一 レ拂戻	其ノ他 計	差引殘額	差引殘額 決濟方法	
船舶保險													
英國分													
美國分													
其他													
其計													

積荷保險	英國分																			
	米國分																			
火災保險	英國分																			
	米國分																			
其ノ他保險	英國分																			
	米國分																			
合計	英國分																			
	米國分																			

準則 1 (I)(4)ノ準則1乃至3及8ニ準ズ

2 本邦ヨリ外國へノ賣再保險勘定收支(海外店ヲ通シタルモノ及之ヲ通ゼザルモノノ總テヲ含ム)ニ付船舶(船費ヲ含ム)、積荷、火災、其ノ他ノ損害保險ノ區分ニ分チ記載スベシ

3 再保險賣先國別區分ハ賣再保險特約先(文ハ取引先)保險會社ノ所在國別ニ依リ英國分、米國分、其ノ他ノ外國分ニ區分スベシ

4 差引殘額決済方法ニ付テハ當期中ニ於ケル差引殘額ヲ現貨ニ資金ノ受拂ニ依リ決済セルモノニ付本邦ヨリノ送金、本邦へノ回金、外國ニ在ル銀行預金ノ拂出、同銀行預金ノ預入、海外店舗ヨリノ送金又ハ本邦ヨリ海外店舗へノ送金其ノ他ニ區分シ其ノ金額ヲ記載スベシ

(III) 本店ノ元受保險又ハ買再保險勘定其ノ他 (何國分)

昭和何年上(下)期分 (自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號[㊟]

受 附 分	本 邦		回 金		本 邦		送 金	
	保 險	料	其	他	保 險	金	其	他

準則 1 (I)(4)ノ準則1乃至3ニ準ズ

2 海外店ヲ通ゼザル元受保險契約又ハ買再保險契約ニ基クモノ其ノ他外國トノ間ノ損害保險關係回金又ハ送金ニシテ(I)及(II)ニ含マレザルモノニ付相手國別ニ別紙ニ取引相手方毎ニ取引種類別ニ記載スベシ

3 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦182横257精トスベシ

(IV) 期末在外資産負債

(何國又ハ何店勘定分) 昭和何年上(下)期分 (昭和何年何月何日現在)

氏名又ハ商號[㊟]

資 産	債 務		債 務	
	目 録	額	目 録	額
有 價 證 券			借 入 金	
供託又ハ擔保差入金			借 入 金	
貸 付 金			借 入 金	
勘 定 金			借 入 金	
勘 定 金			借 入 金	

未收保險料	金	預ケテ預リ金	金
未收保費	金	預ケテ預リ金	金
預レザラテ預ケ金	金	金
合計		合計	

準則 1 (I)(4)ノ準則1及3ニ準ズ

- 本店勘定、海外支店勘定又ハ代理店勘定ニ所屬スル外國ニ在ル資産又ハ負債ニ付各所屬勘定別ニ記載スベシ但シ關東州及滿洲國所在店分又ハ中華民國所在店分ニ付テハ之ヲ關東州及滿洲國又ハ中華民國別ニ取纏メ記載シ、第三國所在分ニ付テハ所屬店別ニ別紙ニ記載スベシ
- 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱18ニ横257トスベシ

(丙) 海外貿易關係
何國何市

何店(被統轄店何店何店) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日) 至昭和何年何月何日)

住所 氏名又ハ商號

(I) 外國ニ於テ生ジタル收入支出

科	取		支		部
	日	金	日	金	
現商配利			繰商利手		
在品			越品		
商賣			商仕		
實			入		
品			子		
上			料		
金					
子					

雜爲替換算差金	入	雜營爲替換算差金	出
.....	金	不動産其ノ他ノ償却	費
當期損失金	金	當期利益金	金
合計		合計	

準則 1 外國ニ於テ貿易業ヲ營ム者ハ本書式ニ依リ各事業年度ノ區分ニ依リ、事業年度ナキ者ハ毎年一月ヨリ六月及七月ヨリ十二月迄ノ期間ニ依

- リニ通テ作成シ該事業年度又ハ該期間經過後二箇月内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ本書式ニ依ル報告書ハ昭和十六年七月以降ニ終ル事業年度又ハ期間分ヨリ之ヲ提出スベシ
- 在外支店、出張所等ノ各店舗毎ニ別紙ニ記載スベシ但シ派出所、駐在員等ニシテ獨立ノ會計ヲ有セズ他ノ店舗ニ統轄セラレ居ル分ニ付テハ該統轄店ニ於テ之ヲ一括記載シ被統轄店名ヲ該當欄ニ記載スベシ
- 金額ハ爲替相場ニ依ル郵貨換算額ヲ記載スベシ
- 第三國所在店舗ノ營業費ニ付テハ別(II)ニ依リ之ガ明細ヲ報告スベシ
- 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱210ニ横297トスベシ

何國何市

何店(被統轄店何店何店) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日) 至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號

(I) 營業費 明細

書式ハ(甲)(IV)(ロ)ノ例ニ準ズ

準則 1 (I)ノ準則1乃至3ニ準ズ

未經過費用	繰上負債
繰上資産	未清算損金
内訳	未拂利子
未収利子	偶發債務
見返資産	内訳
内訳	支拂引受
当期損失金	当期利益金
合計	合計

準則 1 (1)ノ準則1乃至3ニ準ズ
 2 土地建物ニ付テハ各坪数ヲ、其ノ他ノ科目ニ在リテハ其ノ内容ヲ摘要ノ欄ニ具體的ニ記載スベシ
 3 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦361横257粘トスベシ

(T) 拓殖事業關係

(1) 事業ノ概況

何事業地(被統轄事業地何事業地)
 何國何市
 昭和何年何月何日(自昭和何年何月何日)
 昭和何年何月何日(至昭和何年何月何日)

住所 氏名又ハ商號

(4) 一般業況

- (1) 權益獲得ノ沿革及權益ノ内容
- (2) 設備又ハ施設

- (3) 生産、操業狀況 月産能力 何程 何名 現業員 (本邦人 何名)
- (4) 従業人員 事務員 (本邦人 何名)
- (5) 生産高及生産品需給狀況
- (6) 投資額

準則 1 外國ニ於テ拓殖業(栽培業、森林伐採業、水産業、鑛業其ノ他之ニ類スルモノ)ヲ營ム者ハ該事業ニ付本書式ニ依リ各事業年度ノ區分ニ依リ、事業年度ナキモノハ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ期間ニ依リ二通ヲ作成シ該事業年度又ハ該期間經過後二箇月内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ本書式ニ依ル報告書ノ昭和十六年七月以降ニ終ル事業年度又ハ期間分ヨリ之ヲ提出スベシ

2 栽培業、森林伐採業、水産業、鑛業等拓殖業ニ併セ之ニ附隨スル事業トシテ海運、販賣、金融等ノ事業ヲ爲ス者ニ在リテハ該附屬事業ニ付テモ本書式ニ準ジ別ニ之ヲ報告スベシ

3 各事業地別ニ別紙ニ記載スベシ但シ獨立ノ會計ヲ有セザルモノニ在リテハ之ヲ統轄スル事業地ニ於テ取纏メ記載シ被統轄事業地名ヲ該當欄ニ附記スベシ

4 金額ハ事業地ノ所在地通貨ヲ以テ記載シ外貨ニ在リテハ爲替相場ニ依リ邦貨換算額ヲ併記括弧書スベシ

5 投資額ハ本事業ニ實際ニ投下シタル資産總額ヲ謂ヒ減價償却ヲ爲サザルモノトス但シ其ノ算出困難ナルトキハ之ガ見込時價額等ヲ記載シ其ノ算出基礎ヲ附記スベシ

6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦357横361粘トスベシ

(ロ) 栽培又ハ森林伐採地狀況
 何國何市
 何事業地(被統轄事業地何事業地) 昭和何年何月分(昭和何年何月何日現在)

氏名又ハ商號

所在地名	所在地面積	租借地面積	事業地面積計	栽培		植		内	
				樹種及樹齡	面積	植	面積	建物用地	未開墾地

- (2) 操業状況
- (3) 従業人員 工具(本邦人 何名 其ノ他(本邦人 何名)
 (外國人 何名)
- (4) 生産高
- (5) 投資額

準則 1 外國 = 於テ製造工業(紡績、染色、織物製造、製粉、製油、機械製造、其ノ他製造加工ヲ主トスルモノ)ヲ營ム者ハ該事業 = 付本書式 = 依リ各事業年度ノ區分 = 依リ、事業年度ナキ者ハ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ期間 = 依リ二通ヲ作成シ該事業年度又ハ該期間經過後二箇月内 = 最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督 = 提出スベシ但シ本書式 = 依ル報告書ハ昭和十六年七月以降 = 終ル事業年度又ハ期間分ヨリ提出スベシ

- 2 各工場別 = 別紙 = 記載スベシ但シ獨立ノ會計ヲ有セザル工場 = 在リテハ之ヲ統轄スル工場 = 於テ取纏メ記載シ被統轄工場名ヲ該當欄 = 附記スベシ
- 3 設備 = 付テハ期末 = 於ケル機械臺數又ハ生産設備ノ概要ヲ記載スベシ
- 4 操業状況 = ハ日産、月産又ハ年産能力ヲ附記シ該年度中ノ操業状況ヲ記載スベシ
- 5 生産高 = 付テハ製品別 = 該年度中ノ生産數量及之ヲ金額ヲ記載スベシ
- 6 金額ハ工場所在地通貨ヲ以テ記載シ外貨 = 在リテハ爲替相場 = 依ル邦貨換算額ヲ併記括弧書スベシ
- 7 投資額ハ本事業 = 實際 = 投下シタル資産總額ヲ謂ヒ減價償却ヲ爲サザルモノトス但シ其ノ算出困難ナルトキハ之ガ見込時價額ヲ記載シ并ノ算出基礎ヲ附記スベシ
- 8 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦357耗横364粘トスベシ

何國何市

何工場(被統轄工場何工場)

(I) 外國 = 於テ生ジタル收入支出 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號

收			支		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
現在原材料半製品製品			繰越原材料半製品製品		

製産物		賣收		上入金入	
副配	雜	當	期	損	失
.....
合計					

準則 1 (I)ノ準則1.2.6及8 = 準ズ

2 營業費 = 付テハ別 = (III) = 依リ之ガ明細ヲ報告スベシ

何國何市

何工場(被統轄工場何工場) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號

(III) 營業費ノ明細

書式ハ(甲)(IV)(a)ノ例 = 準ズ

準則 1 (I)ノ準則1.2及6 = 準ズ

2 其ノ他(甲)(IV)(a)ノ準則2乃至4 = 準ズ

何國何市

何工場(被統轄工場何工場) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號

(IV) 本邦トノ間 = 於ケル送金其ノ他ノ資金移動

書式ハ(丙)(III)ノ例 = 準ズ

準則 (丙)(III)ノ準則ニ準ズ

何國何市
何工場(被統轄工場何工場)

(V) 期末在外資産負債 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日
至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號[㊟]

資 産			負 債		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
土地			本何買未支借		
機械			店 店		
建設			掛 掛		
物品			手 手		
備品			入		
原料				
半製品				
製品				
取掛				
取手				
資金				
形金				
預金				
現金				
.....				
當期損失				
計				
合 計				

準則 1 (I)ノ準則1,2及6ニ準ズ

2 借入金、雜債權、雜債務、假受、假拂、受取未済又ハ支拂未済等ニ付テハ一〇一萬圓相當額以上ノモノニ付金額、取引相手方、種類等ヲ記載シタル附屬表ヲ添附スベシ

3 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦364横257精トスベシ

(癸) 其ノ他ノ事業營業關係

何國何市
何店(被統轄店何店何店) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日
至昭和何年何月何日)

住所 氏名又ハ商號[㊟]

- (1) 事業ノ概況
- (1) 事業又ハ營業ノ種類
- (2) 事業又ハ營業ノ内容及該年度中取扱數量金額
- (3) 投資額

- 準則 1 第五十二條ノ規定ニ依リ報告ノ義務ヲ有スル者ノ内(甲)乃至(戊)ニ掲ゲザル事業又ハ營業ヲ爲ス者ハ本書式ニ依リ各事業年度ノ區分ニ依リ、事業年度ナキ者ハ毎年一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ノ期間ニ依リ二通ヲ作成シ該事業年度又ハ該期間經過後二箇月内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ本書式ニ依ル報告書ハ昭和十六年七月以降ニ終ル事業年度又ハ期間分ヨリ提出スベシ
- 2 各店別ニ別紙ニ記載スベシ但シ獨立ノ會計ヲ有セザルモノニ在リテハ之ヲ統轄スル店舗ニ於テ取繼メ記載シ被統轄店名ヲ該當欄ニ附記スベシ
- 3 金額ハ店舗所在地通貨ヲ以テ記載シ外貨ニ在リテハ爲替相場ニ依ル邦貨換算額ヲ併記括弧書スベシ
- 4 投資額ハ本事業ニ實際ニ投下シタル資産總額ヲ謂ヒ減價償却ヲ爲サザルモノトス但シ其ノ算出困難ナルトキハ之カ見込時價額ヲ記載シ其ノ算出基礎ヲ附記スベシ
- 5 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257横364精トスベシ

何國何市
何店(被統轄店何店何店) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日
至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號[㊟]

(CI) 外國ニ於テ生ジタル收入支出

收 入			支 出		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
現在商品			繰越商品		
製品			製品		

商 事 配 雑	品 業 收 當 收	上 入 金 入	商 仕 支 管 不	品 入 掛 業 其 ノ 他 ノ	仕 諸 工 ノ	入 掛 費 却
當 期 損 失 金	計		當 期 利 益 金	計		
合	計		合	計		

準則 1 (I)ノ準則1乃至3ニ準ズ

2 事業營業費ニ付テハ別ニ(III)ニ依リ之ガ明細ヲ報告スベシ

何國何市

何店(被統轄店何店何店) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日
至昭和何年何月何日)

(III) 事業營業費ノ明細

書式ハ(甲)(IV)(ウ)ノ例ニ準ズ

準則 1 (I)ノ準則1乃至3ニ準ズ

2 其ノ他(甲)(IV)(ウ)ノ準則2乃至4ニ準ズ

何國何市

何店(被統轄店何店何店) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日
至昭和何年何月何日)

(IV) 本邦トノ間ニ於ケル送金其ノ他ノ資金移動

書式ハ(丙)(III)ノ例ニ準ズ

準則 (丙)(III)ノ準則ニ準ズ

何國何市

氏名又ハ商號(印)

何店(被統轄店何店何店) 昭和何年何期分(自昭和何年何月何日
至昭和何年何月何日)

氏名又ハ商號(印)

科	資			負			債	要
	目	金	額	目	金	額		
土 商 賣 事 出 預 現	地 品 建 製 品 金 金 金 金 金 金			本 何 買 未 借				勘 勘 入 金 金 金 金 金 金
當 期 損 失 金	計			當 期 利 益 金	計			
合	計			合	計			

準則 1 (I)ノ準則1乃至3ニ準ズ

2 借入金、雜債權、雜債務、假受、假拂、受取未済又ハ支拂未済ニ付テハ一口一萬圓相當額以上ノモノニ付金額、取引相手方、種類等ノ内
譯ヲ記載シタル附屬表ヲ添付スベシ

3 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦364横257粘トスベシ

報告書式第三十九號(第五十三條)

在 外 子 會 社 報 告 書

昭和何年何月何日現在

住所 氏名又ハ商號(印)

(前回提出 昭和何年何月何日)

子會社ノ名稱	所在地	組織	本 金 (公稱及拂込)	代表者名	子會社ノ 事業目的	子會社ニ 對スル 出資額	子會社ニ 對スル 支配 状況	備	考

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ本令施行ノ際子會社ヲ有スル者ニ在リテハ本年八月末日迄ニ、本令施行後子會社ヲ有スルニ至リタル者ハ子會社ヲ有スルニ至リタルトキヨリ二箇月内ニ、報告後其ノ内容ニ付異動ヲ生ジタル者ハ異動ヲ生ジタルトキヨリ二箇月内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 組織ノ欄ニハ法人又ハ組合ノ別及法人ニ在リテハ株式会社、合名會社、合資會社又ハ有限會社等ノ別ヲ記載スベシ

3 子會社ニ對スル支配状況ノ欄ニハ財務(出資、貸付金又ハ社債保有)、技術又ハ經營等ノ關係ニ區分シ其ノ支配状況ヲ成ルベシ詳細ニ記載スベシ

4 子會社ニ對スル出資額ノ欄ニハ名義者ノ如何ヲ問ハズ實際上ノ出資額ヲ記載シ其ノ内容ヲ詳細附記スベシ

5 備考ノ欄ニハ子會社ノ設立年月及子會社ヲ有スルニ至リタル年月ヲ記載スベシ

6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257糎横364糎トスベシ

報告書式第四十號(第五十四條)

在外財産報告書

自昭和何年何月
至昭和何年何月 分

(前回提出)

住所 氏名又ハ商號
自昭和何年何月 分
至昭和何年何月 分

所在地	財産ノ種類	前回報告書		當期中増加		當期中減少		當期末現在高		所有ノ目的	備	考
		數	金額	増數量	增加金額	減數量	減少金額	數量	金額			

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各期分ノ期間經過後二箇月内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 關東州又ハ滿洲國ニ在ル財産ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 3 財産ノ種類ノ欄ニハ不動産、動産及其ノ他ニ區分シ適宜其ノ内譯ヲ附スベシ
- 4 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257糎横364糎トスベシ

報告書式第四十一號(第五十五條)

關東州、滿洲國又ハ中華民國へノ貨物ノ輸入又ハ資金移動ノ爲ノ在外財産處分報告書

昭和何年何月 分

住所 氏名又ハ商號
(前回提出 昭和何年何月 分)

種類	數	量	所在地	財		處分月日	關、滿、支へノ		輸入貨物又ハ送付資金	備考
				金額又ハ價額	處分月日		貨物又ハ別	荷受人又ハ資金受取人		

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ處分ヲ爲シタル月ノ翌々月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 金額又ハ價額ノ欄ニハ處分シタル財産ガ資金ノ場合ニ在リテハ其ノ金額ヲ、其ノ他ノ財産ノ場合ニ在リテハ其ノ處分價額ヲ記載スベシ

3 荷受人又ハ資金受取人ノ欄ニハ荷受人又ハ資金受取人ノ住所、氏名又ハ商號ヲ記載スベシ

4 貨物價額又ハ送金額ノ欄ニハ貨物ニ在リテハ該貨物ノ買入價額及之ガ買入ニ充當シタル處分財産ノ代リ金額ヲ、資金ニ在リテハ之ガ送付

金額ヲ記載スベシ

- 5 備考ノ欄ニハ在外財産ノ處分ノ目的ガ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ貨物ヲ輸入スルモノニ在リテハ該貨物ノ品名、數量、輸入地及輸入ノ時期又ハ豫定時期ヲ記載スベシ
- 6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱257耗費364耗トスベシ

報告書式第四十二號(第五十八條)

不動産等ノ代リ金ノ充當及回收報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號
(前回提出 昭和何年何月分)

處分種類	所在地	數量	價額	摘要 要回收額	處分 年月日	前月末現在充當 又ハ回收済額	前月末現在充當 又ハ回收未済額	當月中充當又ハ回收		當月末現在充當 又ハ回收未済額	備考
								區分	金額		

- 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ代リ金ノ充當又ハ回收ヲ爲シタル月ノ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 種類ノ欄ニハ不動産、鐵業權、森林代採權、工業所有權、船舶、事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資ニ在リテハ其ノ内容ヲ附記スベシ
- 3 區分ノ欄ニハ充當若ハ回收又ハ特殊回收ノ別ヲ記載スベシ
- 4 方法ノ欄ニハ回收ニ在リテハ經由銀行又ハ郵便局名、特殊回收ノ場合ニ在リテハ其ノ方法ヲ、充當ニ在リテハ充當ノ目的及内容ヲ記載スベシ
- 5 備考ノ欄ニハ賣却又ハ譲渡ニ付與シタル費用ノ金額及内容並ニ回收期間延長若ハ特殊回收又ハ不回收ノ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱257耗費364耗トスベシ

報告書式第四十三號(第五十九條)

不使用資金ノ充當及回收報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號
(前回提出 昭和何年何月分)

送金額及 送金目的	不 使 用 資 金	債 權 許 可 又 ハ 不 使 用 資 金 ノ 區 別	要 求 不 使 用 ト ナ リ タ リ シ 事 由 及 日	前月末現在充當 又ハ回收済額	前月末現在充當 又ハ回收未済額	當月中充當又ハ回收		當月末現在充當 又ハ回收未済額	備考
						區分	金額		

- 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ充當又ハ回收ヲ爲シタル月ノ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 送金額及送金目的ノ欄ニハ送金額ノ一部ガ不使用トナリタルトキハ該不使用資金ノ外送金ヲ爲シタル金額全額及之ガ送金ノ目的ヲ記載スベシ
- 3 許可又ハ不許可ノ區別ノ欄ニハ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 4 區分ノ欄ニハ充當、回收又ハ特殊回收ノ別ヲ記載スベシ
- 5 方法ノ欄ニハ回收ニ在リテハ經由銀行又ハ郵便局名、特殊回收ニ在リテハ其ノ方法、充當ニ在リテハ充當ノ目的及内容ヲ記載スベシ
- 6 備考ノ欄ニハ回收期間延長、特殊回收又ハ不回收ノ場合ニ在リテハ許可ノ有無並ニ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 7 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縱257耗費364耗トスベシ

報告書式第四十四號(第六十條)

利益金の充當及回收報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號(印)
(前回提出 昭和何年何月分)

事業所又ハ營業所名	所在地	利益金の所属スル年度	利益金額	利益金額(定期)	前月末現在	前月末現在	當月中		當月末現在	備	考	
					充當又ハ回收済額	充當又ハ回收未済額	充當又ハ回收	金額	月日			方法

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ利益金ヲ充當又ハ回收シタル月ノ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 利益金の所属スル年度ノ欄ニハ利益金ヲ生ジタル年度ノ期首及期末ヲ記載スベシ
- 3 區分ノ欄ニハ充當、回收又ハ特殊回收ノ別ヲ記載スベシ
- 4 方法ノ欄ニハ回收ニ在リテハ經由銀行又ハ郵便局名、特殊回收ニ在リテハ其ノ方法ヲ、充當ニ在リテハ充當ノ目的及内容ヲ記載スベシ
- 5 備考ノ欄ニハ回收期間延長、特殊回收又ハ不回收ニ付許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ許可證ノ日附及番號ヲ記載スベシ
- 6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2577粘貼364粘トスベシ

報告書式第四十五號(表面)(第六十四條又ハ第六十六條)

貨物ノ記號	
及	
番號	

全部無爲替輸出報告書

輸出申告番號	
輸出申告年月日	
郵便ニ依ル場合	
ニハ差	

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號(印)

品名	品質、等級及銘柄		内		容		量	價格 (F. O. B.)			内容額	
	品	質	構成材料	製造者名	數	價		單位	單	價		金
1												
2	貨物ノ價額											
3	積出港及積載船名(郵便ニ依ル場合ニハ差出郵便局名)											
4	仕向地(郵便ニ依ル場合ニハ名宛地)及到着豫定時期											
5	荷受人(郵便ニ依ル場合ニハ名宛人)ノ住所、氏名又ハ商號											
6	送り狀金額(表示通貨ニ依ル)											
7	爲替ヲ取組マザル理由											

● 代金ノ受領方法及豫定時期	許可證額
9 其ノ他参考トナルベキ事項	種額
	番號

- 準則 1 本報告書ハ第六十四條ノ規定ニ依ル場合ハ輸出申告又ハ郵便差出ニ際シ、第六十六條第一項ノ規定ニ依ル場合ハ輸出申告又ハ郵便差出後二週間内ニ、同條第二項ノ規定ニ依ル場合ハ爲替ノ償還又ハ買戻後遲滞ヲシテ通ラ作成シ税關又ハ差出郵便局ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 1 ノ欄ノ品名ハ輸出申告書又ハ税關告知書ノ品名ヲ記載スベシ
 1 ノ欄ノ品質内容ハ貨物ノ性質上明白ナルモノ又ハ記載特ニ困難ナル場合ハ當該事項ヲ省略スルコトヲ得
 1 ノ欄ノ数量ハ價格算定上必要ナル數量(例ヘバ綿布ニ在リテハ反數、長サ、幅、平方碼及重量)ヲ、單位ハ商取引單位ヲ、金額ハ邦貨額ヲ記載スベシ
- 3 2 ノ欄ニハ外國居住者ニ對スル賣價ヲ、賣價確定セス若ハ判明セザルモノ又ハ賣價チキモノニ付テハ任向地ニ於ケル見込賣價ヲ記載シ且輸出申告價格又ハ税關告知書記載價格ヲ其ノ右傍ニ括弧書スベシ
- 4 6 ノ欄ニハF.O.B., O.I.F. 等ノ別ヲ附記スベシ
- 5 本邦内ニ在ル者ヨリ代金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ受クル場合ハ其ノ支拂人ノ住所、氏名又ハ商號ヲ、其ノ支拂人以外ノ者ガ外國ヨリ代金ノ全部又ハ一部ヲ受領スル場合ハ其ノ者ノ住所、氏名又ハ商號ヲモテ7ノ欄ニ記載シ外國ヨリノ代金回收關係ヲ準則7ニ準ジ8ノ欄ニ記載スベシ
- 6 郵便ニ依ル場合ニハ輸出申告番號、鐵道便ニ依ル場合ニハ積載船名ヲ記載スルニ及バズ
- 7 8ノ欄ニハ輸出前又ハ輸出後受領ノ別、取立爲替又ハ送金爲替等ノ別、經由銀行又ハ郵便局名及取立爲替ノ支拂地、送金爲替ノ仕出地等ヲ記載スベシ
- 尙代金受領數回ニ及ルモノ及輸出前代金受領ノモノニ付テハ其ノ内容ヲ本報告書裏面ニ依リ報告スベシ
- 8 賣買契約ニ基ク輸出ニ在リテハ其ノ契約年月日ヲ其ノ他参考トナルベキ事項ノ欄ニ記載スベシ
- 9 第六十六條第一項ノ規定ニ依ル場合ハ全部有爲替又ハ一部爲替輸出報告ヨリ變更セル旨及前回報告年月日ヲ、同條第二項ノ規定ニ依ル場合ハ爲替ノ償還若ハ買戻ヲ爲シタル旨ヲ欄外適宜ノ箇所ニ赤書スベシ

其ノ他報告事項ニ變更ヲ生ジタル場合ハ本報告書式ニ依リ遲滞ヲシテ報告シ前回報告年月日及第何回變更ナル旨ヲ欄外適宜ノ箇所ニ赤書スベシ

10 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2977横4217精トスベシ

報告書式第四十五號(裏面) (第六十四條又ハ第六十六條)

外國ヨリノ代金回收(又ハ豫定)表
昭和何年何月何日

區分	受			入			支			何日現在高
	前月高	月末	受達金額	受領時期	取立、送金爲替等ノ仕出日	貸付金額	其ノ他	其ノ他	何日現在高	
1 輸出前代金關係										
2 買付金關係										

3 輸出後 受金保 關	/	年	月	備	考
		年	月		
		年	月		

準則 1 1ノ欄ニハ輸出前當月及貨物代金トシテ送付ヲ受ケタル資金ノ受拂ヲ、2ノ欄ニハ輸出貨物代金其ノ他本邦内ニ於ケル諸支拂ニ充ツル爲輸出

前送付ヲ受ケタル資金ノ受拂ヲ記載スベシ

2 受人及支拂ニ付テハ當月中受拂アリタルモノニ付記載シ前月末残高又ハ現在残高ガ貸越ナルトキハ赤字スベシ

報告書式第四十六號(第六十五條又ハ第六十六條)

貨物ノ記 號及番號	
--------------	--

全部有爲無輸出報告書

輸出申告番號	
輸出申告年月日	
(郵便ニ依ル場合)	
ニハ差出年月日	

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號

品名	品質、等級及銘柄	構成材料	製造者名	數	量	價格 (F.O.B.)			内率額
						單位	單位	價金	
1									

2	貨物ノ價額								
3	積出港及積載船名(郵便ニ依ル場合ニハ差出郵便局名)								
4	仕向地(郵便ニ依ル場合ニハ名宛地)及到着豫定期								
5	荷受人(郵便ニ依ル場合ニハ名宛人)及支拂人ノ住所、氏名又ハ商號								
6	送り状金額(表示通貨ニ依ル)								
7	爲替取組年月日	外貨							
		邦貨							
7	爲替ノ種類、期限及支拂地	爲替							
		取組銀行							
8	信用狀ノ種類並ニ發行銀行ノ住所及商號								
8	其ノ他参考トナルベキ事項								

準則 1 本報告書ハ第六十五條第一項ノ規定ニ依ル場合ハ輸出申告又ハ郵便差出ニ際シ一通ヲ作成シ、同條第二項又ハ第六十六條第一項ノ規定ニ依ル場合ハ輸出申告又ハ郵便差出後二週間内ニ二通ヲ作成シ税關又ハ差出郵便局ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 報告書式第四十五號(表面)ノ準則2乃至4,6,8,及10ニ準ズ

3 外貨表示ノ爲替ヲ取組ムトキハ對價タル邦貨額ヲ邦貨ノ箇所ニ記載スベシ

4 第六十五條第一項ノ規定ニ依リ提出スル本報告書ニ付テハ爲替取組未済ノ場合ハ7ノ欄ノ事項ハ豫定ニ依リ記載スベシ

第十三章 証券 第八節 資本移動 附資金調整及敵産管理

- 5 爲替ノ種類ハ荷付D/P、荷付D/A又ハクリーソノ別ヲ記載スベシ
- 6 信用狀ノ種類ハイレボカアル又ハレボカアルノ別ヲ記載スベシ
- 7 爲替取組先銀行ノ證明ハ爲替取組銀行ノ箇所ニ其ノ證明ヲ受クベシ
- 8 報告事項ニ變更ヲ生ジタル場合ハ本報告書式ニ依リ報告シ欄外ノ適宜ノ箇所ニ前回報告年月日及第何回變更ナル旨ヲ書スベシ

報告書式第四十七號(表面) (第六十五條又ハ第六十六條)

一 邦内代辦輸出報告書

貨物ノ記號	
及番號	

輸出申告番號	
輸出申告年月日	
輸出申告場所	
輸出申告日	

昭和何年何月何日

住所 氏名又ハ商號

品名	品目		數量	單位		F.O.B		內額
	品名	等級		單位	單位	價	金	
1								
2	貨物ノ價額							
3	積出港及積載船名(郵便ニ依ル場合ニハ差出郵便局名)							
4	仕向地(郵便ニ依ル場合ニハ宛地)及到着豫定期間							
5	荷受人(郵便ニ依ル場合ニハ宛人)及支拂人ノ住所、氏名又ハ商號							

6	送り取金額(表示通貨ニ依ル)	
	爲替取組金額	外貨
		邦貨
7	爲替取組年月日	
	爲替ノ種類、期限及支拂地	
	信用狀ノ種類及發行銀行ノ住所及商號	
8	價額ノ一部ニ付爲替ヲ取組マザル理由	
9	爲替ヲ取組マザル部分ノ代金額(契約通貨ニ依ル)及ニ其ノ受領方法(豫定時間)	
10	其ノ他参考トナルキ事項	

準則 1 本報告書ハ第六十五條第一項ノ規定ニ依ル場合ハ輸出申告又ハ郵便差出ニ際シ一通ヲ作成シ、同條第二項又ハ第六十六條第一項ノ規定ニ依ル場合ハ輸出申告又ハ郵便差出後二週間内ニ二通ヲ作成シ、第六十六條第二項ノ規定ニ依ル場合ハ爲替ノ價額又ハ買戻運滞チクニ通ヲ作成シ税關又ハ差出郵便局ヲ經テ關稅總督ニ提出スベシ

2 報告書式第四十五號(表面)ノ準則2及至4、6及8乃至10並ニ報告書式第四十六號ノ準則3乃至7ニ準ズ

3 本邦内ニ在ル者ヨリ無爲爲替部分ノ代金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ受クル場合ハ其ノ支拂人ノ住所、氏名又ハ商號ヲ、其ノ支拂人以外ノ者ガ外國ヨリ該代金ノ全部又ハ一部ヲ受領スル場合ハ其ノ住所、氏名又ハ商號ヲモ8ノ欄ニ記載シ尙無爲爲替部分ノ代金ノ外國ヨリノ回收關係ヲ準則1ニ準ジ9ノ欄ニ記載スベシ

4 9ノ欄ニハ輸出前又ハ輸出後受領ノ別、取立爲替又ハ送金爲替等ノ別、經由銀行又ハ郵便局名及取立爲替ノ支拂地、送金爲替ノ仕向地等ヲ記載スベシ

尙無爲爲替部分ノ代金ニシテ受領數額ニ互ルモノ及輸出前受領ノモノニ付テハ其ノ内容ヲ本報告書裏面ニ依リ報告スベシ

報告書式第四十七號(裏面) (第六十五條又ハ第六十六條)

外國ヨリノ代金回收(又ハ豫定)表
昭和何年何月何日

區分	受			入			支		何日現在残高
	前月残	未達	受送金額	受領時期	戻立、返還等ハ別及 其ノ支拂	其ノ別及 戻立、返還等ハ別及	其ノ別及 戻立、返還等ハ別及	其ノ別及 戻立、返還等ハ別及	
1 輸出前 受領 関係									
2 買付資 金関係									
3 輸出後 受領 関係									

準則 報告書式第四十五號(裏面)ノ準則ニ準ズ
報告書式第四十八號(第六十七條)

輸出貨物代金充當及回数報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

貨物	摘要	代金		回数		及		充		備考
		当月中回数	回数	前月未達代收済金額	当月中未回収金額	前月未回収済金額	前月未回収済金額	未回収金額		
輸出申告年月(郵便ニハ差出)	輸出申告	送り状金額	荷受人ノ住所又ハ商號	回数	当月中回数	前月未達代收済金額	当月中未回収金額	前月未回収済金額	未回収金額	

- 準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ輸出地所管税關ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 本報告書ハ輸出申告又ハ郵便差出月日順ニ記載スベシ
- 一輸出ニ付回収又ハ充當シタル金額ガ價額ノ一部ニ過ギザル場合ト雖金額回収等ヲ俟ズ本報告スベシ
- 3 價額ノ欄ニハ外國居住者ニ對スル賣値ヲ、委託販賣等賣値確定セザルモノニ付テハ仕向地ニ於ケル見込賣値ヲ記載スベシ
- 尙價額ガ F.O.B. ニシテ仕向地迄ノ運費及保険料等ヲ立替ヘタル場合ハ其ノ金額ヲ括弧書スベシ
- 4 價額共ノ他金額ノ記載ハ總テ其ノ表示通貨ヲ以テシテ外貨ナルトキハ邦貨換算額ヲ併記スベシ尙送り狀金額ニハ F.O.B.O.I.F 等ノ別ヲ附
- 第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理 一四四六

(甲) 賣爲替(受入)

(1) 仕向爲替

昭和何年何月分

住所 商號

買入ノ住所、氏名又ハ商號	受取人ノ住所、氏名又ハ商號	支拂地	支金爲替ト別立爲替ノ別	爲替ノ種類	貨			爲替相場	取引日	備考
					外	邦	貨			

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 仕向送金爲替ノ賣却シタルモノ、仕向取立爲替ノ賣却シタルモノ及仕向取立爲替ノ取立代リ金ノ支拂ヲ受ケタルモノニ付記載スベシ

仕向取立爲替ノ場合ハ受取人ノ欄ニ被取立人ヲ記載スベシ

3 表示通貨ノ種類毎ニ列記スベシ

仕向取立爲替ノ取立代リ金ノ支拂ヲ受ケタル場合ハ買入ノ欄ニ取立代リ金ノ支拂人ヲ記載スベシ

4 同一買入ニ屬スル同一通貨ノ取引ハ總シテ取引日ノ順序ニ記載スベシ

買入ハ五十音順ニ記載スベシ

5 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ

6 銀行(外國銀行ニ付テハ自行ノ他ノ店舗ヲ含ム)間ノ取引ハ其ノ取引ト記載スベシ

7 銀行(外國銀行ニ付テハ自行ノ他ノ店舗ヲ含ム)ノ取引ニ付別ニ報告ヲ爲ス者ハ國內店舗ノ取引ニ限リ之ガ記載ヲ省略スルコトヲ得

8 表示通貨ガ外貨ナルトキハ其ノ對價タル邦貨額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ

9 外國ニ於ケル店舗ノ分ニ付テハ報告スルニ及バズ

10 備考ノ欄ニハ取引ノ目的等ニ付記載スベシ

11 本邦ト關東州、滿洲國及中華民國トノ間ノ爲替ニ付テハ各別紙ニ記載スベシ

10 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦297ヲ横420ヲナスベシ

(1) 被仕向爲替

昭和何年何月分

住所 商號

支拂人ノ住所、氏名又ハ商號	振出人ノ住所、氏名又ハ商號	仕出店	支拂地	買入爲替ト別立爲替ノ別	爲替ノ種類			爲替相場	取引日	備考
					外	邦	貨			

準則 1 被仕向買入爲替(其ノ店ノ計算ニ於テ買入レラレタルモノ)及被仕向取立爲替(取立買爲替ト取立依頼爲替トヲ含ム)ノ取立ラ了シタルモノ

及被仕向送金爲替ノ支拂ヲ受ケタルモノニ付記載スベシ

2 被仕向買入爲替又ハ被仕向取立爲替ニシテ本邦ニ於テ其ノ引當手形ヲ作成シタルモノニ付テハ其ノ支拂人ヲ支拂人ノ欄ニ附記スベシ

3 本邦ヘノ輸入ニ係ル荷付爲替手形ノ取立ラ了シタルモノハ買入爲替ト取立爲替トニ區分シ表示通貨ノ種類毎ニ一括シ口數及金額ヲ記載スルヲ以テ足ル

4 其ノ他(1)ノ準則1,3乃至10ニ準ズ

(2) 買爲替(拂出)

(1) 仕向爲替

昭和何年何月分

住所 商號

買入又ハ立依類人ノ住所、氏名又ハ商號	支拂地	買入爲替ト取立爲替トノ別	爲替ノ種類	貨			爲替相場	引日	取立爲替ノ取立依頼ヲ受ケタル日	備考
				外	邦	貨				

準則1 仕向爲替ノ買入レタルモノ及仕向取立爲替ノ取立代リ金ヲ支拂ヒタルモノニ付記載スベシ

2 本邦ヨリノ輸出ニ係ル荷付爲替手形ノ買入及同上仕向代金取立手形ノ取立代リ金ノ支拂ニ付テハ各別ニ表示通貨ノ種類毎ニ一括シ口數及金額ヲ記載スルヲ以テ足ル

3 其ノ他中(1)ノ準則1、3乃至10ニ準ズ

(1) 被仕向爲替

支拂相手方ノ住所、氏名又ハ商號	送金人ハ依託人	仕向店	支拂地	送金爲替ト別		爲替相場		取引日	備考
				金額	種別	外	邦		

準則1 被仕向送金爲替及被仕向取立爲替ノ支拂ヲ爲シタルモノニ付記載スベシ

2 其ノ他(甲)(1)ノ準則1、3乃至10ニ準ズ

報告書表第五十號(二)第七十九條)

外國爲替ノ換約實行報告書

(甲) 賣爲替

(1) 仕向爲替

買入ノ住所、氏名又ハ商號	取受人ノ住所、氏名又ハ商號	支拂地	送金爲替ト別	爲替ノ額		爲替相場	取引日	換約月日	備考
				金額	種別				

準則 第五十號(一)(甲)(1)ノ準則ニ準ズ

(1) 被仕向爲替

支拂人ノ住所、氏名又ハ商號	取受人ノ住所、氏名又ハ商號	仕向店	支拂地	送金爲替ト別		爲替相場	取引日	換約月日	備考
				金額	種別				

準則 第五十號(一)(甲)(1)ノ準則ニ準ズ

(2) 買爲替

(1) 仕向爲替

買入又ハ取立依頼人ノ住所、氏名又ハ商號	支拂地	買入爲替ト別	爲替ノ額	爲替相場		取引日	換約月日	取立爲替ノ取立月日	備考
				外	邦				

準則 第五十號(一)(乙)(1)ノ準則ニ準ズ

(1) 被仕向爲替

昭和何年何月分

住所 商號

支拂相手方ノ住所、氏名又ハ商號	送金又ハ取寄、氏名又ハ商號	仕出店	支拂地	送金爲替卜取、爲替卜ノ別	爲替ノ額		爲替相場	取引日	契約月日	備考
					金	額				

準則 第五十號(一)(乙)(I)ノ準則ニ準ズ

報告書式第五十號(三)(第七十九條)

外國爲替ノ賣買豫約報告書

(甲) 賣爲替豫約

昭和何年何月分

住所 商號

買入ノ住所、氏名又ハ商號	仕向爲替及被仕向爲替ノ別	爲替ノ種類	金		受渡期	爲替相場	取引日	備考
			外	邦				

準則 1 受渡ノ日ニ依リ相場ヲ異ニスルモノノ邦貨額ノ欄ノ記載ハ最初ノ受渡日ニ於ケル相場ヲ以テ換算シタル額ヲ以テスベシ

2 自店發行ノ本邦ヘノ輸入荷爲替信用狀ニ基キ振出サレタル爲替手形決済ノ爲ノ賣豫約ハ表示通貨ノ種類毎ニ一括シ口數及金額ヲ記載スルヲ以テスル

3 其ノ他第五十號(一)(甲)(I)ノ準則ニ準ズ

(乙) 買爲替豫約

昭和何年何月分

住所 商號

賣入ノ住所、氏名又ハ商號	仕向爲替及被仕向爲替ノ別	爲替ノ種類	金		受渡期	爲替相場	取引日	備考
			外	邦				

準則 1 自店ノ案内ヲ受ケ居ル本邦ヨリノ輸出ニ係ル荷爲替信用狀ニ基キ振出サレタル爲替ノ買豫約ハ表示通貨ノ種類毎ニ一括シ口數及金額ヲ記載スルヲ以テスル

2 其ノ他(甲)ノ準則1及3ニ準ズ

報告書式第五十號(三)(第七十九條)

信用狀發行報告書

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號

信用狀ノ種類	發行依頼人ノ住所、氏名又ハ商號	信用狀ニ基ク手形振出人ノ住所、氏名又ハ商號	振出手形ノ宛先ノ住所、氏名又ハ商號	期限	金額		取引日	備考
					外	邦		

準則 1 本邦ヘノ輸入荷爲替信用狀ニ付テハ表示通貨毎ニ一括シ口數及金額ヲ記載スルコトヲ以テスル

2 旅行小切手ニ在リテハ發行依頼人ノ住所、氏名又ハ商號、金額及取引日ヲ記載スルヲ以テスル

3 信用狀ノ種類ノ欄ニハ旅行信用狀其ノ他ノ種類ヲ記載シ他店ノ旅行小切手ニ付テハ其ノ商號ヲ記載スベシ

- 4 外貨表示ノモノハ其ノ換算額ヲ邦貨ノ欄ニ記載スベシ
- 5 月末ニ於ケル發行殘高ヲ信用狀ノ種類毎ニ表示通貨別ニ邦貨換算額ト共ニ記載スベシ
- 6 信用狀ノ取消ヲ爲シタルモノニシテ十萬圓相當額ヲ超エルモノアルトキハ適宜其ノ種類、發行依頼人、取消額、取消日及原發行年月日ヲ掲記スベシ
- 7 關東州、滿洲國及中華民國ニ仕向ケタル信用狀ニ付テハ各別紙ニ記載スベシ
- 8 其ノ他第五十號(イ)(甲)(I)ノ準則1、4、7及8ニ準ズ
- 9 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦3576粘廣364粘トスベシ

外國爲替購買高及所持又ハ買持高報告書

(I) 日報

昭和何年何月何日

住所 商號

外貨別	現物買入ハ買超過	換約買入ハ買超過	差引買持又ハ買持	換算相場	邦貨及相場	備	考

- 準則 1 本報告書ハ國內各店ノ取引ニ付二通ヲ作成シ毎日分ヲ三日以内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 支店ヲ有スル者ハ本店及各支店毎ニ別紙ニ記載スベシ
- 3 各外貨ノ買持又ハ買持高ヲ時價ニ依リ夫々邦貨ニ換算シ之ヲ通計ヲ附スベシ
- 4 買超過又ハ買持ハ赤字スベシ
- 5 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦210粘廣297粘トスベシ

(I) 旬報

昭和何年何月上(中、下)旬分

住所 商號

外貨別	買		替		賣		差引買持又ハ買持	換算相場	其ノ他外貨資産勘定	其ノ他外貨負債勘定	備	考
	前旬殘高	當旬買入高 現物 換約	前旬殘高	當旬賣却高 現物 換約	前旬殘高	當旬買却高 現物 換約						

- 準則 1 本報告書ハ國內各店ノ取引ニ付二通ヲ作成シ旬分ヲ三日以内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 2 其ノ他外貨資産勘定ニハ爲替勘定ニ計上セザル外貨證券(額面ニ依ル)、外貨貸付金等、其ノ他外貨負債勘定ニハ同シク外貨預り金、借入金等ヲ記載スベシ
- 3 下旬分ニ限リ當月中ノ買入高及買却高ノ集計ヲ附スベシ
- 4 其ノ他(I)ノ準則2乃至4ニ準ズ
- 5 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦364粘廣516粘トスベシ

報告書式第五十二號(第九十八條)

在內財産報告書

昭和何年第何四半期分(自昭和何年何月
至昭和何年何月)

住所 氏名又ハ商號

第()所有分(又ハ管理分)

(前回提出 昭和何年第何四半期分)

所在地	財産ノ種類	前期末現在高		當期中増加高		當期中減少高		當期末現在高		所有ノ目	備考
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額		

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各期間經過後一箇月内ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 財産ノ金額通ジテ期末現在高千圓未満ナル場合ハ報告ヲ省略スルコトヲ得

3 財産ノ種類ノ欄ニハ證券、預ケ金、動産、不動産、其ノ他ニ區分シ更ニ適宜其ノ内譯明細ヲ附スベシ

4 金額ノ欄ニハ證券ニ在リテハ額面金額、動産、不動産等ニ在リテハ時價額又ハ帳簿價額ヲ記載シ、證券ノ内株式ニ付テハ其ノ時價額ヲ當期未現在高ノ金額ノ欄ニ括弧書附記スベシ

5 第三國人等ノ爲ニ財産ヲ保有又ハ管理スル場合ニハ其ノ事情及該第三國人等ノ國籍、住所及氏名又ハ商號ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ

6 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦2577横3644トスベシ

報告書式第五十三號(第九十九條)

朝鮮内ニ住所ヲ有スルニ至リタル者ノ外國通貨、外國爲替、外貨證券、外貨預金、外貨消費貸借、信託又ハ保險契約及外國居住者ニ對スル邦貨預金又ハ消費貸借契約報告書

昭和何年何月

住所

氏名又ハ商號[㊟]

書式ハ外國通貨ニ在リテハ第十號、外國爲替ニ在リテハ第二十四號、外貨證券ニ在リテハ第十九號、外貨預金ニ在リテハ第二十六號、外貨貸付金ニ在リテハ第二十八號、外貨預リ金ニ在リテハ第三十號、外貨借入金ニ在リテハ第三十二號、外貨信託ニ在リテハ第三十四號、外貨保險ニ在リテハ第三十五號、邦貨預金ニ在リテハ第二十七號、邦貨貸付金ニ在リテハ第二十九號、邦貨預リ金ニ在リテハ第三十一號、邦貨借入金ニ在リテハ第三十三號ノ例ニ準ズ

準則 1 本報告書ハ二通ヲ作成シ朝鮮内ニ住所ヲ有スルニ至リタル月ノ翌月十五日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

〔題1〕

2 其ノ他外國通貨ニ在リテハ第十號ノ準則、外國爲替ニ在リテハ第二十四號ノ準則、外貨證券ニ在リテハ第十九號ノ準則、外貨預金ニ在リテハ第二十六號ノ準則、外貨貸付金ニ在リテハ第二十八號ノ準則、外貨預リ金ニ在リテハ第三十號ノ準則、外貨借入金ニ在リテハ第三十二號ノ準則、外貨信託ニ在リテハ第三十四號ノ準則、外貨保險ニ在リテハ第三十五號ノ準則、邦貨預金ニ在リテハ第二十七號ノ準則、邦貨貸付金ニ在リテハ第二十九號ノ準則、邦貨預リ金ニ在リテハ第三十一號ノ準則、邦貨借入金ニ在リテハ第三十三號ノ準則ニ準ズ

様式第一號(第四十條及第四十一條)



●外國爲替管理法施行規則第九十 四條第一項及第百條第一項ノ規 定ニ依リ取引又ハ行爲ヲ爲ス場 合ノ制限及報告ノ免除

昭和十七年八月六日
朝鮮總督府告示第七十七號

免除第一號

外國爲替管理法施行規則第九十四條第一項及第百條第一項ノ規定ニ依リ左
ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ爲ス場合ニハ同令ノ制限及報告ヲ免除ス
一 滿洲國、關東州、泰國、佛領印度支那又ハ戰地ニ居住スル帝國軍人又
ハ軍屬ノ委託ニ基キ又ハ其ノ爲ニスル外國爲替管理法施行規則第十一條
第一項第二號及第三號ニ掲グル取引又ハ行爲但シ外國ヨリ仕向ケラレタ
ル爲替ノ支拂ヲ除ク
二 滿洲國、關東州、泰國、佛領印度支那又ハ戰地ニ居住スル帝國軍人又
ハ軍屬ニ對シ又ハ其ノ爲ニスル外國爲替管理法施行規則第四十五條ニ掲
グル取引又ハ行爲但シ外國ニ於テ該貸付金、假拂金又ハ立替金ノ辨濟ヲ
受クルモノヲ除ク

●外國爲替管理法施行規則第九十 四條第一項ノ規定ニ依リ取引又

ハ行爲ヲ爲ス場合ノ支拂ニ關ス ル制限ノ免除

昭和十七年十月六日
朝鮮總督府告示第二百九十三號

免除第二號

外國爲替管理法施行規則第九十四條第一項ノ規定ニ依リ左ニ掲グル取引又
ハ行爲ヲ爲ス場合ニハ同令第十一條第二號及第三號ノ支拂ニ關スル
同項ノ制限ヲ免除ス
一 本邦人ニシテ外國ニ居住スル者ニ對シ支拂フベキ公債、社債借入金若
ハ預リ金ノ利子、信託ノ利益、株式配當金又ハ該外國居住者ノ爲ニ保有
若ハ管理スル財産ノ收益ヲ其ノ代理人若ハ家族ニ支拂フトキ又ハ該外國
居住者ノ預金ト爲ストキ
二 本邦内ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ本邦人タル使用人其ノ
他ノ從業者ニシテ外國ニ居住スル者ニ對シ支拂フベキ俸給、給料、手當、
賞與其ノ他之ニ準ズルモノヲ其ノ家族ニ支拂フトキ又ハ該外國居住者ノ
預金ト爲ストキ
三 外國居住者ヨリノ預リ金ヲ以テ該外國居住者ノ本邦ニ於テ買入レタル
物品ノ代金又ハ其ノ買入若ハ受渡ニ伴フ諸掛ヲ支拂フトキ
四 外國居住者ヨリノ預リ金ヲ以テ該外國居住者ノ本邦人タル使用人其ノ
他ノ從業者ノ俸給、給料、手當、賞與其ノ他之ニ準ズルモノヲ本人若ハ
其ノ家族ニ對シ支拂フトキ又ハ本人ノ預金ト爲ストキ
五 本邦内ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ本邦人タル使用人其ノ
他ノ從業者ニシテ外國ニ居住スル者ヨリノ預リ金ヲ以テスル其ノ家族ニ

〔朝〕

對スル支拂、該外國居住者ノ支拂ヲ爲スベキ生命保險料、本邦内ニ於テ
爲シタル借入金ノ利子、新聞雜誌購讀料、會費、寄附金、寄贈金若ハ公
債、社債、債券若ハ株式ノ買入代金ノ支拂又ハ株式ノ拂込ヲ爲ストキ
六 本邦人ニシテ外國ニ居住スル者ノ本邦内ニ在ル家族該外國居住者ノ本
邦内ニ於テ爲シタル契約ニ基ク義務履行ノ爲ニ必要ナル支拂其ノ他該外國
居住者ノ爲ニ支拂ヲ爲ストキ但シ該外國居住者ノ外國ニ於ケル事業又ハ
營業ノ爲ニ必要ナル支拂ヲ除ク

●外國爲替管理法第一條ノ規定ニ 基ク外國爲替相場取極ニ關スル 命令ノ件

昭和十六年十二月三十一日
朝鮮總督府令第三百四十七號

外國爲替管理法第一條ノ規定ニ基ク外國爲替相場取極ニ關スル命令ノ件左
ノ通定ム

- 第一條 朝鮮總督外國爲替相場ヲ指定シタルトキハ該相場ニ依ルニ非ザレ
バ外國爲替相場ノ取極ヲ爲スコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル
場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二條 前條ノ指定相場ハ朝鮮總督之ヲ告示ス但シ緊急已ムヲ得ザル場合
ハ朝鮮銀行ノ店頭ニ於ケル揭示ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 第三條 第一條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ爲替ノ種類及金
額、取極相場並ニ右相場ニ依ルヲ必要トスル事由ヲ記載シタル適宜ノ書

式ニ依リ許可申請書二通ヲ作成シ朝鮮總督ニ提出スベシ
第四條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ本令ニ定ムル行爲ノ制限ヲ免除シ又ハ
許可申請ニ關シ特別ノ手續ヲ定ムルコトヲ得
附則
本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔朝〕

昭和十六年朝鮮總督府令第三百四十七號第一條ノ規定ニ依ル外國爲替相場

昭和十六年十二月三十一日 朝鮮總督府告示第千九百九號

改正 昭和一七年五月第七二三號 昭和十六年朝鮮總督府令第三百四十七號第一條ノ規定ニ依リ外國爲替相場ヲ左ノ通指定ス

通貨ノ種類	電信	相場	場
印度支那貨	一〇〇ピアストルニ付	邦貨	九七圓六〇錢
タイ國貨	一〇〇バートニ付	同	一〇〇圓
ドイッ國貨	一〇〇マーグニ付	同	一七〇圓五〇錢
イタリヤ國貨	一〇〇リラニ付	同	二二圓三五錢
フランス國貨	一〇〇フランニ付	同	九圓三〇錢
スイス聯邦貨	一〇〇フランニ付	同	九八圓九〇錢
ズウエーデン國貨	一〇〇クローナニ付	同	一〇一圓五〇錢
ホルトガル國貨	一〇〇エスクードニ付	同	一七圓三〇錢
アルゼンティン共和國貨	一〇〇ペソニ付	同	一〇一圓八〇錢
アラビヤ國貨	一〇〇ミルレイニスニ付	同	二一圓八〇錢
チリ國貨	一〇〇ペソニ付	同	一三圓七五錢
ペルー國貨	一〇〇ソールニ付	同	六五圓五〇錢

〔朝〕

外國爲替管理法施行規則、外國爲替管理法特別規則又ハ外國人關係取引取締規則ノ規定ニ依ル許可ノ失効ニ關スル件

昭和十六年十二月十二日 朝鮮總督府令第三百二十三號

改正 昭和一六年二月第三四〇號 外國爲替管理法ニ基キ外國爲替管理法施行規則、外國爲替管理法施行特別規則又ハ外國人關係取引取締規則ノ規定ニ依ル許可ノ失効ニ關スル件左ノ通定ム

本令施行ノ日迄ニ外國人關係取引取締規則第六條ノ指定外國人ニシテ左ニ掲グル者ガ外國爲替管理法施行規則、外國爲替管理法施行特別規則又ハ外國人關係取引取締規則ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル行爲ノ全部又ハ一部ヲ爲シ居ラザルトキハ當該許可ハ其ノ範圍ニ於テ效力ヲ失フ

一 米國(フィリッピン聯邦及領地全體ヲ含ム)、米國人、米國法人、米國系法人及米國居住者

二 英國(印度及海外領土ヲ含ム)、英國人、英國法人、英國系法人及英國居住者

三 和蘭國(蘭領印度ヲ含ム)、和蘭國人、和蘭國法人、和蘭國系法人及和蘭國居住者

前項ノ規定ハ前項第一號又ハ第二號ニ掲グル者ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲ス者ノ當該行爲ニ付外國爲替管理法施行規則、外國爲替管理法施行特別規則又ハ外國人關係取引取締規則ノ規定ニ依リ受ケタル許可ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

外國爲替管理法施行特別規則

昭和十六年七月三十日 朝鮮總督府令第二百二十一號

改正 昭和一七年二月第五〇號、八月第一九七號 外國爲替管理法施行特別規則左ノ通定ム

外國爲替管理法施行特別規則

第一條 朝鮮ヨリ金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スルニ付外國爲替管理法施行規則(以下單ニ規則ト稱ス)第二十一條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケベキ場合ハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受ケベシ

前項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第二十一條第三項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ輸出地所管税關ニ之ヲ提出スベシ

外國ニ施行セントスル者ノ携帶スル手廻品及身邊裝飾品ニ付テハ税關官吏ニ前項ノ許可申請書ヲ提出シ現品ヲ呈示シテ其ノ許可ヲ受ケルコトヲ

〔朝〕

得

第二條 陸接國境ヲ經テ朝鮮ニ渡來スル旅行者本邦通貨ヲ携帶輸入スルニ付規則第十八條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第十八條第二項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ國境通過地所管税關ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ許可申請書ヲ提出シ難キ事情アルトキハ第一項ノ規定ニ依リ許可申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三條 陸接國境ヲ經テ朝鮮ニ渡來スル旅行者本邦通貨又ハ外國通貨ヲ携帶輸入スル場合ハ規則第十八條第三項ノ規定ニ拘ラズ報告ヲ爲スコトヲ要セズ

第四條 朝鮮ヨリ陸接國境ヲ經テ關東州又ハ滿洲國ニ旅行セントスル者本邦通貨、外國通貨、送金爲替又ハ信用狀ヲ携帶スル場合ハ規則第二十九條ノ規定ニ拘ラズ報告ヲ爲スコトヲ要セズ

第五條 朝鮮ヨリ陸接國境ヲ經テ關東州又ハ滿洲國ニ旅行セントスル者本邦通貨ノ内券面金額百圓以上ノ銀行券ヲ携帶スル場合ハ規則第三十一條ノ規定ヲ適用セズ

第五條ノ二 朝鮮ヨリ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ旅行セントスル者本邦、關東州、滿洲國又ハ中華民國内ニ於テ發行セラレタル證券ヲ携帶輸出スルニ付規則第三十八條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ
關東州、滿洲國又ハ中華民國ヨリ朝鮮ニ渡來スル旅行者前項ノ證券ヲ携帶輸入スル場合亦同項ニ同シ

品、本邦ニ渡來シタル巡回興行者ガ輸入シタル興行用物品、輸出貨物ノ容器ニシテ本邦ニ再輸入セラルベキモノ又ハ輸入貨物ノ容器ニシテ返送若ハ轉送スルモノノ輸出

前項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第六十三條第三項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ輸出申告ノ際税關ニ之ヲ提出スベシ但シ郵便ニ依ル場合ニ在リテハ差出郵便局ノ所在地ヲ管轄スル税關ニ提出スベシ

第七條 朝鮮ヨリノ輸出貨物ノ代金ヲ回收セズ若ハ特殊回收シ又ハ其ノ回收期間ヲ延長スルニ付規則第六十七條第一項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ

一 關東州若ハ滿洲國ヘノ輸出貨物ノ代金ヲ回收セズ若ハ關東州又ハ滿洲國ヨリ特殊回收シ又ハ其ノ回收期間ヲ延長スルトキ

二 關東州又ハ滿洲國以外ノ地ヘノ輸出貨物代金ニシテ金額五千圓相當額以下ノモノノ回收期間ヲ延長スルトキ

三 本邦ヨリノ貨物ノ輸出又ハ本邦ヘノ貨物ノ輸入ノ爲必要ナル販賣口錢、損害賠償金其ノ他ノ費用ノ支拂ニ充當スル爲關東州又ハ滿洲國以外ノ地ヘノ輸出貨物ノ代金ニシテ金額千圓相當額以下ノモノヲ回收セザルトキ

前項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第六十七條第二項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ該貨物ノ輸出申告ヲ爲シタル税關ニ之ヲ提出スベシ但シ郵便ニ依リ輸出シタル場合ニ在リテハ差出郵便局ノ所在地ヲ管轄スル税關ニ提出スベシ

第八條 朝鮮ヘノ貨物ノ輸入ニ必要ナル決済ヲ爲ス爲規則第十一條第一第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

前二項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第三十八條第二項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ輸出地又ハ輸入地所管税關ニ之ヲ提出スベシ
第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル許可申請ニ付テハ第二條第三項ノ規定ヲ準用ス

第五條ノ三 本邦、關東州、滿洲國又ハ中華民國内ニ於テ發行セラレタル證券ヲ携帶輸出又ハ携帶輸入シタル場合ハ規則第三十八條第三項ノ規定ニ拘ラズ報告ヲ爲スコトヲ要セズ

第六條 朝鮮ヨリ貨物ヲ輸出スルニ付規則第六十三條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ

一 關東州又ハ滿洲國ヘ輸出スルトキ

二 關東州又ハ滿洲國以外ノ地ヘ左ニ掲グル輸出ヲ爲ストキ

イ 代金ノ全部ノ回收ヲ伴フ輸出但シ委託販賣ノ爲ノモノ又ハ代金ノ特殊回收(仕向地外ヨリノ回收又ハ銀行經由若ハ本邦ニ仕向ケタル郵便爲替ニ依ラザル回收ヲ謂フ以下同シ)ヲ伴フモノヲ除ク

ロ 代金ノ全部又ハ一部ヲ以テ本邦ヨリノ貨物ノ輸出又ハ本邦ヘノ貨物ノ輸入ノ爲必要ナル販賣口錢、損害賠償金其ノ他ノ費用ノ支拂ニ充當スル爲ノ輸出ニシテ其ノ金額千圓相當額以下ノモノ但シ委託販賣ノ爲ノモノ又ハ代金ノ一部ニ付他ノ事由ニ因ル不回收若ハ特殊回收ヲ伴フモノヲ除ク

ハ 加工、修繕又ハ不良品ノ取換ノ爲ノ輸出
ニ 加工、修繕若ハ複製ノ爲ニ輸入シタル貨物、學術研究ノ爲若ハ試驗品トシテ輸入シタル貨物、註文取集若ハ製作ノ爲輸入シタル見本

【一四六二】

項、第十七條第一項、第二十條第一項及第二十二條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ各同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ

一 關東州又ハ滿洲國ヨリノ輸入ニ必要ナル決済ヲ爲ス爲該地域トノ間ノ取引又ハ行爲ヲ爲ストキ

二 關東州又ハ滿洲國以外ノ地ヨリノ輸入ニ必要ナル決済ヲ爲ス爲一箇月ヲ通ジ金額百圓相當額以下ノ取引又ハ行爲ヲ爲ストキ

前項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第十一條第三項、第十七條第三項、第二十條第二項及第二十二條第二項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ輸入申告ノ際税關ニ之ヲ提出スベシ但シ貨物輸入前外國爲替ヲ買入レ、外國ニ於テ爲ス支拂ノ委託ヲ爲シ又ハ本邦通貨若ハ外國通貨ノ送付、携帶其ノ他ノ方法ニ依リ送金スル場合ニ在リテハ該貨物ノ輸入申告ヲ爲スベキ

稅關ニ、第十一條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ受ケズシテ關東州又ハ滿洲國ヨリ朝鮮ニ仕向ケタル爲替ヲ取組マズシテ輸入シタル貨物ノ代金ヲ決済スル場合ニ在リテハ該貨物ノ輸入申告ヲ爲シタル税關ニ提出スベシ

前項ノ許可申請書ハ郵便ニ依ル貨物ノ輸入ニ關ヘルモノニ在リテハ當該郵便物ニ付關稅法第三十一條ノ検査ヲ行フベキ税關ニ提出スベシ

第九條 朝鮮ヘノ貨物ノ輸入ノ爲必要ナル信用狀ヲ取得スルニ付規則第十四條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ

一 關東州又ハ滿洲國ヨリノ輸入ノ爲必要ナル信用狀ヲ取得スルトキ
二 關東州又ハ滿洲國以外ノ地ヨリノ輸入ノ爲必要ナル信用狀ニシテ

箇月ヲ通シ金額百圓相當額以下ノモノヲ取得スルトキ

前項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第十四號第二項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ最寄税關ニ之ヲ提出スベシ

第十條 價額ノ全部若ハ一部ニ付外國爲替ヲ取組マズシテ關東州若ハ滿洲國へ貨物ヲ輸出シタル者又ハ價額ノ全部若ハ一部ニ付外國爲替ヲ取組ミ關東州若ハ滿洲國へ貨物ヲ輸出シタル後其ノ取組ミタル爲替ノ償還若ハ買戻ヲ爲シタル者其ノ他該貨物ノ代金ヲ關東州若ハ滿洲國ヨリ受領スベキ者其ノ代金(増量金、増量金其ノ他之ニ準ズルモノヲ含ム)ノ全部又ハ一部ヲ關東州又ハ滿洲國ヨリ朝鮮へノ輸入貨物ノ代金ニ充當スルニ付規則第六十七條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル許可申請書ニ付テハ第七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第十一條 朝鮮ニ貨物ヲ輸入スルニ付規則第六十九條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ

一 關東州又ハ滿洲國ヨリ輸入スルトキ
二 關東州又ハ滿洲國以外ノ地ヨリ一箇月ヲ通シ價額百圓以下ノ貨物ヲ輸入スルトキ
三 本邦ヨリ輸出シタル貨物ニシテ返送セラレタルモノヲ關東州又ハ滿洲國以外ノ地ヨリ輸入スルトキ

前項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第六十九條第二項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ輸入申告ノ際税關ニ之ヲ提出スベシ但シ郵便ニ依ル場合ニ在リテハ當該郵便物ニ付關税法第三十一條ノ検査ヲ行フベキ税關ニ提出スベシ

第十二條 朝鮮へノ貨物ノ輸入ニ關シ外國ニ送金シタル者該資金ヲ其ノ目

的ニ使用セザルニ至リタルトキ之ヲ回收セズ若ハ特殊回收シ又ハ其ノ回收期間ヲ延長スルニ付規則第五十九條第一項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ場合ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ同條ノ規定ニ拘ラズ税關長ノ許可ヲ受クベシ

一 關東州又ハ滿洲國ヨリノ輸入ニ關シ關東州又ハ滿洲國ニ送金シタルトキ
二 關東州又ハ滿洲國以外ノ地ヨリノ輸入ニ關シ本令ノ規定ニ依リ税關長ノ許可ヲ受ケ外國ニ送金シタルトキ
前項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ規則第五十九條第二項ノ規定ニ準ジ正副二通ヲ作成シ該貨物ノ輸入ニ付本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル税關ニ之ヲ提出スベシ但シ規則第六十八條又ハ本令第十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受クルコトヲ要セズシテ送金シタル場合ニ在リテハ最寄税關ニ提出スベシ

第十三條

朝鮮ト關東州又ハ滿洲國トノ間ノ貨物ノ輸出入ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ規則第十七條、第二十條、第六十三條又ハ第六十九條ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

一 大正九年法律第五十三號第二條第四號及第五號ニ掲グル物品、同法第二條ノ二ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受クル物品並ニ同法第六條ノ規定ニ依リ輸出スルトキ
二 大正九年法律第五十三號第二條第四號、第五號及第二條ノ二ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受クル物品並ニ同法第六條ノ規定ニ依リ輸入スルトキ

三 關東州又ハ滿洲國ヨリ貨物ヲ輸入スル者其ノ代金ノ決済ヲ爲ス爲一箇月ヲ通シ百圓相當額以下ノ本邦通貨ヲ關東州又ハ滿洲國ニ送付又ハ携帶シ若ハ關東州又ハ滿洲國ニ於テ爲マズ支拂ノ委託ヲ爲ストキ

〔朝〕

第十四條 規則第二十一條第四項ノ規定ニ依ル報告書ニシテ金ノ合金又ハ

金ヲ主タル材料トスル物ノ輸出入ニ關スルモノ並ニ規則第五十九條第三項、第六十四條乃至第六十六條及第六十七條第三項ノ規定ニ依ル報告書ニシテ關東州又ハ滿洲國トノ間ノ貨物ノ輸出入ニ關スルモノ並ニ關東州又ハ滿洲國以外ノ地トノ間ノ貨物ノ輸出入ニ關シ本令ノ規定ニ依リ税關長ノ許可ヲ受クベキ事項ニ關スルモノハ各同條ノ規定ニ拘ラズ輸出地又ハ輸入地所管税關ニ提出スベシ但シ郵便局ヲ經由スベキ旨定アルモノハ郵便局ヲ經由スルトコトヲ要ス

第十五條 削除

第十六條 本令ニ依ル許可申請又ハ報告ニシテ各規定ニ定ムル手續ニ依ルコト業務上其ノ他ノ事由ニ依リ著シク支障アリト認ムル場合ハ税關長ハ特別ノ手續ヲ定ムルコトヲ得

第十七條 税關長ハ本令ニ規定スル取引又ハ行爲ニ付必要アルトキハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス昭和十五年朝鮮總督府令第二百七十九號ハ之ヲ廢止ス

従前ノ規定ニ依リ爲シタル許可申請ハ之ヲ本令ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

従前ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル取引又ハ行爲ニ關シテハ仍従前ノ例ニ依ル

本令施行ノ際昭和八年年朝鮮總督府令第四十號ノ規定ニ依リ既ニ爲シタル許

●外國爲替管理法、朝鮮産金令等 違反申告者賞與ニ關スル件

昭和十五年六月一日
朝鮮總督府令第三百三十七號

外國爲替管理法、朝鮮産金令等違反申告者賞與ニ關スル件左ノ通定ム
第一條 左ニ掲グル犯罪アルコトヲ其ノ發覺前警察官署又ハ税關ニ申告シタル者ニ對シテハ賞與金ヲ給與ス

- 一 外國爲替管理法第一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ税關ノ免許ヲ受ケズシテ金貨幣、金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スル目的ヲ以テ收得シ又ハ輸出セントシ若ハ輸出シタル罪
- 二 朝鮮産金令第一條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ金地金ヲ朝鮮銀行ニ賣却セザル罪
- 三 朝鮮産金令第一條第一項ノ規定ニ違反シテ金地金ヲ朝鮮銀行以外ノ者ニ讓渡シタル罪
- 四 朝鮮産金令第一條第三項ノ規定ニ違反シテ金地金ヲ讓受ケタル罪
- 五 朝鮮産金令第一條第一項ノ規定ニ違反シテ朝鮮總督ノ指定シタル金製鍊業者及同令第三條第一項ノ規定ニ依リ合金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者以外ノ者ニ合金鑛産物ヲ讓渡シタル罪
- 六 朝鮮産金令第三條第一項ノ規定ニ違反シテ金ノ製鍊ヲ爲シ若ハ合金鑛産物ヲ買入レ又ハ同條第三項ノ規定ニ違反シテ合金鑛産物ヲ讓受ケタル罪

〔朝一〕

七 朝鮮産金令第十二條ノ二ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ金地金ヲ讓渡シ又ハ讓受ケタル罪

八 金地金又ハ朝鮮産金令第一條第一項ノ規定ニ依ル合金鑛産物ヲ竊取シタル罪

第二條 前條ノ賞與金ハ左ノ各號ニ依ル但シ道知事又ハ税關長必要アリト認ムルトキハ其ノ二倍以内ノ金額ヲ給與スルコトヲ得

一 前條第一號ノ罪又ハ前條第一號ト第二號乃至第八號トノ併合罪ニ付テハ十圓以上三千圓以内但シ當該犯罪ノ目的物中沒收シタルモノアルトキハ本文ノ金額ニ其ノ物ノ價額トキハ本文ノ金額ニ其ノ物ノ價額ノ十分ノ一以上十分ノ五以内ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

二 前條第二號乃至第八號ノ罪ニ付テハ五圓以上千五百圓以内但シ當該犯罪ノ目的物中沒收シタルモノアルトキハ本文ノ金額ニ其ノ物ノ價額ノ十分ノ一以上十分ノ五以内ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

第三條 第一條ノ賞與金ハ道知事又ハ税關長犯罪ノ事實明白ナリト認ムルトキハ確定判決ニ至ラザル場合又ハ訴訟ヲ必要トセザル爲訴訟ヲ提起セザル場合ト雖前條ノ規定ニ依ル金額ヲ給與スルコトヲ得

第四條 第一條ノ賞與金ハ官吏、公吏其ノ他官署又ハ公署ニ職ヲ奉ズル者ニ對シテハ之ヲ給與セズ

第五條 第一條ノ賞與金ノ給與ハ道知事又ハ税關長之ヲ行フ

附則

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔朝一〕

第二條 在外凍結財産ヲ有スル者ハ本令附屬書式ニ準據シテ當該財産ニ關スル報告書正副二通ヲ作成シ各月分ヲ翌々月末日迄ニ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ報告ヲ爲シタル財産ニ付テハ其ノ後異動アリタル分ニ付テノミ報告スルヲ以テ足ル

第三條 前條ノ期間内ニ報告ヲ爲スコト困難ナル場合ハ報告期限ノ延長ニ關シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ
前項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書正副二通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

一 申請者ノ住所、職業及氏名又ハ商號

二 在外凍結財産ノ種類及所在地

三 相手方ノ住所及氏名又ハ商號

四 報告書提出ノ見込時期

五 報告期限ノ延長ヲ必要トスル事由

六 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第四條 總災其ノ他已ムラ得ザル事故ニ因リ本令ノ規定ニ依ル期間内ニ報告書ヲ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタル後其ノ事由ヲ具シテ遲滞ナク提出スベシ

第五條 朝鮮總督必要ト認ムルトキハ本令ニ定ムル報告ヲ免除シ又ハ記載方ノ一部ヲ省略セシムルコトヲ得

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令ノ規定ニ依リ提出スベキ報告書ハ昭和十六年六月分ヨリ之ヲ提出スベシ

〔朝一〕

●在外凍結財産調査規則

昭和十六年六月十八日
朝鮮總督府令第七十二號

外國爲替管理法第五條ノ規定ニ基キ在外凍結財産調査規則左ノ通定ム

在外凍結財産調査規則

第一條 本令ニ於テ在外凍結財産トハ外國(關東州、滿洲國又ハ中華民國ヲ除ク以下同シ)ニ在ル財産ニシテ外國ニ於ケル取立若ハ處分又ハ本邦ヘノ取寄ノ困難又ハ不可能ナルモノヲ謂フ但シ外國ニ於テ事業若ハ營業ヲ爲ス爲又ハ外國ニ入國若ハ滞在スル爲外國ニ留置スルヲ必要トスルモノヲ除ク

第一號(凍結財産報告書)

貸出貨物代金

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號
(前回提出 昭和何年何月分)

所在地	凍結ノ理由	相手方ノ住所、氏名又ハ商號	債權ノ種類	前月末現在高	當月末現在高	増減ノ理由	備考

〔露〕

注意 1 本邦ヨリノ無爲替輸出貨物ノ代金又ハ有爲替輸出貨物ニ關スル手形ノ償還若ハ買戻ヲ爲シタル代金ノ凍結セルモノニ付記載スベシ
2 所在地ノ欄ニハ代金ノ取立又ハ受入済ノ場合ニハ取立又ハ受入金ノ預ケ先、貸付先又ハ寄託先ノ所在地名ヲ、取立又ハ受入未済ノ場合ニハ支拂義務者ノ所在地名ヲ記載スベシ(貨物ノ仕向地ハ瑞典ニシテ同國ヨリ手形ノ支拂地タル英國ヘノ手形代リ金送金不可能ナル爲資
金凍結シ居レル如キ場合ニハ瑞典ヲ以テ所在地トシ備考ノ欄ニ手形ノ支拂地ヲ附記スルコト、貨物ノ仕向地ハ和蘭ニシテ同國ヨリ手形ノ支拂地タル英國ヘノ手形代リ金送金済ナルモ該資金ガ英國ニ於テ凍結シ居レル如キ場合ニハ英國ヲ以テ所在地トシ備考ノ欄ニ貨物ノ仕向地ヲ附記スルコト)

3 凍結ノ理由ノ欄ニハ外國ノ爲替管理其ノ他外國政府ノ措置ニ基クモノト債務者ノ私的理由ニ基クモノトニ區分シ其ノ内容ヲ記載スベシ
私的理由ニ基ク場合ニ在リテハ原則トシテ貨物輸出後九箇月以上ヲ經過シタルモノニ付記載スベシ

4 相手方ノ住所、氏名又ハ商號ノ欄ニハ代金ノ取立又ハ受入済ノ場合ニハ取立又ハ受入金ノ預ケ先、貸付先其ノ他寄託先、取立又ハ受入未済ノ場合ニハ支拂義務者ノ住所、氏名又ハ商號ヲ記載スベシ

5 債權ノ種類ノ欄ニハ預ケ金、貸付金、買掛金等ヲ記載スベシ

6 一口千圓相當額未滿ノモノ又ハ千圓相當額未滿ノ異動ニ付テハ之ガ記載ヲ省略スルコトヲ得

- 金額 = 付テハ表示通貨 = 依リ且邦貨換算額ヲ附記シ所在地毎ニ之ガ合計ヲ附スベシ
- 備考ノ欄 = ハ本凍結財産ノ本邦ヘノ取寄等 = 關シ爲シタル交渉ノ經過及之ガ處理 = 關スル希望其ノ他參考ト爲ルベキ事項ヲ附記スベシ
- 本邦内 = 在ル支店又ハ出張所ノ有スル凍結財産ハ本店分ト合算シ本店ヨリ報告スベシ
- 本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦257横364粘トスベシ

第二號(凍結財産報告書)

輸出入貨物

住所 氏名又ハ商號(前同提出 昭和何年何月分)

所在地	凍結ノ理由	相手方ノ住所、氏名又ハ商號	貨物ノ種類	前月末現在高	當月末現在高	増減ノ理由	備考

- 注意
- 本邦ヨリ輸出シタル委託販賣貨物、仕向地不到達貨物等ニシテ其ノ處分若ハ積戻ノ困難若ハ不可能ナルモノ又ハ本邦ニ輸入スベキ代金支拂濟若ハ爲替取組濟ノ貨物ニシテ本邦ヘノ輸入若ハ處分ノ困難若ハ不可能ナルモノニ付キ記載スベシ但シ輸出貨物ト輸入貨物トハ之ヲ別紙トスベシ
 - 所在地ノ欄 = ハ貨物ノ所在地名ヲ記載スベシ
 - 凍結ノ理由ノ欄 = ハ外國ノ爲替管理、貿易管理其ノ他外國政府ノ措置 = 基クモノト其ノ他ノ理由 = 基クモノト = 區分シ其ノ内容ヲ記載スベシ
- 其ノ他ノ理由 = 基ク場合 = 在リテハ原則トシテ輸出貨物 = 付テハ輸出後九箇月以上、輸入貨物 = 付テハ代金支拂又ハ爲替取組後六箇月以上ヲ經過シタルモノニ付記載スベシ

[繼]

- 相手方ノ住所、氏名又ハ商號ノ欄 = ハ本邦ヨリノ輸出貨物 = 在リテハ貨物が委託販賣ナル場合 = ハ之ガ委託先ノ、其ノ他ノ場合 = ハ荷受人及保管先ノ、本邦 = 輸入スベキ貨物 = 在リテハ之ガ買入先及保管先ノ住所、氏名又ハ商號ヲ記載スベシ
- 貨物ノ種類ノ欄 = ハ本邦ヨリノ輸出貨物 = 在リテハ之ヲ綿織物、絹織物、人造絹織物、人造絹織物、毛織物、綿絲、生絲、人造絹絲、毛絲、メリヤス製品、陶磁器、蠟燭詰食料品、機械類、玩具、木製品、其ノ他 = 區分シ、本邦 = 輸入スベキ貨物 = 在リテハ關稅定率法別表輸入稅表標號ノ區分 = 依リ記載スベシ
- 備考ノ欄 = ハ本凍結財産ノ處分又ハ本邦ヘノ輸入等 = 關シ爲シタル交渉ノ經過、之ガ處理 = 關スル希望、輸入スベキ貨物ノ處分放 = 其ノ代リ金ノ取寄ノ能否其ノ他參考ト爲ルベキ事項ヲ記載スベシ
- 其ノ他第一號ノ注意6,8及9 = 準ズ

第三號(凍結財産報告書)

證券代り金

住所 氏名又ハ商號(前同提出 昭和何年何月分)

所在地	凍結ノ理由	證券ノ種類	相手方ノ住所、氏名又ハ商號	債權ノ種類	前月現在高	當月現在高	増減ノ理由	備考

- 注意
- 外國 = 於テ支拂ヲ受ケタル證券ノ利金、配當金若ハ償還金又ハ外國 = 於ケル證券ノ賣却代金ノ凍結セルモノニ付記載スベシ
 - 證券ノ種類ノ欄 = ハ利金又ハ配當金 = 在リテハ其ノ別及之ガ元本證券ノ名稱、數量、券面額ヲ、償還金又ハ賣却代金 = 在リテハ其ノ別及償還又ハ賣却證券ノ名稱、數量、券面額ヲ記載スベシ
 - 本邦内 = 在ラサル支店又ハ出張所ノ有スル凍結財産 = 付テハ各別 = 記載シ其ノ店舗名ヲ備考ノ欄 = 記載スベシ
 - 其ノ他第一號ノ注意2乃至9 = 準ズ

第四號(凍結財産報告書)

證券

昭和何年何月分

住所 氏名又ハ商號
(前回提出 昭和何年何月分)

所在地	凍結ノ理由	寄託先	証券ノ種類	銘柄	前月末現在高		當月末現在高		増減ノ理由	備考
					數量	金額	數量	金額		

注意 1 証券ノ利息、配當金若ハ償還金ノ支拂ヲ受クルコト困難若ハ不可能ナルモノ、証券ノ買却ヲ希望スルモノ其ノ買却ノ困難若ハ不可能ナルモノ(買却代金ノ取寄困難若ハ不可能ニ基クモノヲ含ム)又ハ証券ノ本邦ヘノ取寄ヲ希望スルモノ取寄ノ困難若ハ不可能ナルモノニ付記載スベシ

- 2 本邦ニ在ル外國証券ニシテ其ノ利息、配當金又ハ償還金ノ支拂ヲ受クルコト困難又ハ不可能ナルモノニ付テモ之ヲ記載スベシ
- 3 所在地ノ欄ニハ証券ノ所在地名ヲ記載スベシ
- 4 凍結ノ理由ノ欄ニハ外國ノ爲替管理其ノ他外國政府ノ措置ニ基クモノト其ノ他ノ理由ニ基クモノトニ區分シ更ニ買却自體ノ困難又ハ不可能ナルモノト買却代金ノ取寄困難又ハ不可能ナル爲買却ヲ差控ヘ居ルモノトニ別テ其ノ内容ヲ記載スベシ
- 5 寄託先ノ欄ニハ保護預ケ先、保管先又ハ擔保差入先等ヲ記載スベシ
- 6 証券、種類ノ欄ニハ証券ノ利息、配當金若ハ償還金ノ支拂ヲ受クルコト困難若ハ不可能ナル証券、買却ノ困難若ハ不可能ナル証券(買却代金ノ取寄困難若ハ不可能ナル爲買却ヲ差控ヘ居ルモノヲ含ム)又ハ取寄ノ困難若ハ不可能ナル証券ノ別ヲ記載スベシ
- 7 銘柄ノ欄ニハ本邦証券ト外國証券トニ區分シ其ノ順序ニ依リ各銘柄ヲ記載スベシ
- 8 現在高ノ欄ニハ公社債及其ノ利札ニ付テハ券面總額ヲ、株式ニ付テハ一株當券面額ト株數ヲ、配當金ニ付テハ其ノ支拂ヲ受クベキ金額

[罫]

ヲ記載スベシ但シ無額面株式ニ付テハ株數ノミヲ記載シ券面額ノ欄ニ其ノ旨附記スベシ
8 其ノ他第一號ノ注意6乃至9及第三號ノ注意3ニ準ズ

第五號(凍結財産報告書)

不動産

昭和何年何月分 (前回提出 昭和何年何月分)

住所 氏名又ハ商號
(前回提出 昭和何年何月分)

所在地	凍結ノ理由	不動産ノ種類	前月末現在高		當月末現在高		増減ノ理由	備考
			員數	價	員數	價		

注意 1 不動産ヲ買却ノ上代リ金ノ取寄ヲ希望スルモノ買却ノ困難又ハ不可能ナルモノ(買却代金ノ取寄ノ困難又ハ不可能ニ基クモノヲ含ム)ニ付記載スベシ

2 不動産ノ種類ノ欄ニハ土地、鐵區、計測權、採掘權、永代借地權、道路、農圃、山林、立木、住宅、工場、倉庫、店舗、工場敷團、船舶、鐵道、橋梁、棧橋、灌漑用設備等ノ別ヲ記載スベシ

3 員數ノ欄ニハ地積、棟數等ヲ記載スベシ

4 價額ノ欄ニハ買却見込價額ヲ記載シ運賃價額ヲルモノハ之ヲ併記スベシ

5 其ノ他第一號ノ注意6乃至9、第三號ノ注意3及第四號ノ注意3ニ準ズ

第六號(凍結財產報告書)

預ケ金、貸付金其ノ他ノ債權ニシテ第一號乃至第五號ニ掲ゲザルモノ

住所 氏名又ハ商號
昭 和 何 年 何 月 分 (前回提出 昭 和 何 年 何 月 分)

所在地	凍結ノ理由	債權ノ種類	相手方ノ住所、氏名又ハ商號	前月末現在高	當月末現在高	増減ノ理由	備考

- 注意
- 1 海外事業又ハ營業ノ利益金、本邦へノ輸入貨物ニ關スル支拂金(未拂貨物代金引當金、貨物賣戻代金、前拂金、手附金、精算殘金等ヲ含ム)、貿易附帶諸受入金又ハ相殺勘定戻ニシテ本邦へノ取寄困難又ハ不可能ナルモノ及其ノ他ノ預ケ金、貸付金、金錢信託等ニシテ本邦ニ取寄ヲ希望シ居レルモノ其ノ困難又ハ不可能ナルモノニ付記載スベシ
 - 2 所在地ノ欄ニハ預ケ金、貸付金、金錢信託等ニ在リテハ預ケ先、貸付先又ハ寄託先ノ所在地名ヲ、相殺勘定戻ニ在リテハ勘定相手方ノ所在地名ヲ、不動産ノ賣却代金、請負工事代金、貿易附帶諸受入金等ニシテ代リ金ノ受入又ハ取立未済ノモノニ在リテハ支拂義務者ノ所在地名ヲ記載スベシ
 - 3 凍結ノ理由ノ欄ニハ外國ノ爲替管理其ノ他外國政府ノ措置ニ基クモノト其ノ他ノ理由ニ基クモノトニ區分シ其ノ内容ヲ記載スベシ
 - 4 債權ノ種類ノ欄ニハ預ケ金、貸付金、金錢信託、其ノ他ニ區分シ其ノ順序ニ依リ記載シ其ノ發生原因ヲ利益金、本邦へノ輸入貨物ニ關スル支拂金、貿易附帶諸受入金、相殺勘定戻、其ノ他ニ區分シ備考ノ欄ニ附記スベシ
 - 5 相手方ノ住所、氏名又ハ商號ノ欄ニハ預ケ金、貸付金、金錢信託ニ在リテハ預ケ先、貸付先又ハ寄託先ノ、相殺勘定戻ニ在リテハ勘定相手方ノ、其ノ他ノ債權ニ在リテハ支拂義務者ノ住所、氏名又ハ商號ヲ記載スベシ
 - 6 其ノ他第一號ノ注意6乃至9及第三號ノ注意3ニ準ス

[備]

[備]

第七號(凍結財產報告書)

在外店舗又ハ在外子會社所屬財產

住所 氏名又ハ商號
昭 和 何 年 何 月 分 (前回提出 昭 和 何 年 何 月 分)

在外店舗又ハ在外子會社ノ名稱及所在地	財産ノ所在地	凍結ノ理由	財産ノ種類	前月末現在高	當月末現在高	増減ノ理由	備考

- 注意
- 1 本邦商社ノ外國(關東州、滿洲國又ハ中華民國ヲ含ム)ニ在ル支店、出張所又ハ代理店及子會社ノ所在國內取引又ハ外國間(關東州、滿洲國又ハ中華民國ト外國トノ間ヲ含ム)取引ニ基ク凡テノ債權ニシテ其ノ取立ノ困難者ハ不可能ナルモノ又ハ其ノ所有ニ屬スル貨物(本邦ヨリノ輸出貨物ニシテ本邦店ニ歸シテハ「ハリスヒル」ノ支拂済其ノ他代金決済済ノモノヲ含ム)其ノ他ノ動産若ハ不動産ニシテ其ノ處分ノ困難者ハ不可能ナルモノニ付本店又ハ親會社ヨリ報告スベシ但シ第三號乃至第六號ニ依リ報告スルモノヲ除ク
 - 2 財産ノ所在地ノ欄ニハ債權ニ在リテハ債權者ノ住所、氏名又ハ商號ヲ、其ノ他ノ財産ニ在リテハ其ノ所在地名ヲ記載スベシ
 - 3 凍結ノ理由ノ欄ニハ外國ノ爲替管理其ノ他外國政府ノ措置ニ基クモノト其ノ他ノ理由ニ基クモノトニ區分シ其ノ内容ヲ記載スベシ其ノ他ノ理由ニ基ク場合ニ在リテハ原則トシテ債權ニ付テハ辨済ノ時期以後其ノ他ノ財産ニ付テハ其ノ處分ヲ企圖セル時期以後六箇月以上ヲ經過シタルモノニ付記載スベシ
 - 4 財産ノ種類ノ欄ニハ債權、貨物、證券、土地、建物等ノ種類ヲ具體的ニ記載スベシ
 - 5 其ノ他第一號ノ注意6,7及9ニ準ス

●外國人關係取引取締規則

昭和十六年七月二十八日
朝鮮總督府令第二百十八號

改正 昭和十六年八月第二三號、第二三三號、一七年一月第二五號
外國爲管理法ニ基キ外國人關係取引取締規則左ノ通定ム

外國人關係取引取締規則

第一條 本令ニ於テ指定國トハ朝鮮總督ノ指定スル外國ヲ謂フ

前項ノ規定ニ依ル指定ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス

第二條 本令ニ於テ指定國人トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 指定國ノ國籍ヲ有スル人(日本ノ國籍ヲ有スル本邦居住者ヲ除ク)

二 朝鮮總督ノ指定スル者

前項第二號ノ規定ニ依ル指定ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス

第三條 本令ニ於テ指定國法人トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 指定國並ニ指定國ノ行政區劃、公共團體及此等ニ準ズルモノ

二 指定國ニ本店又ハ主たる事務所ヲ有スル法人

三 指定國ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ前各號ニ該當セザルモノ

第四條 本令ニ於テ指定國系法人トハ指定國法人以外ノ法人ニシテ左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 指定國法人又ハ指定國人ガ資本金ノ二分ノ一以上ヲ占ムルモノ

二 指定國法人又ハ指定國人ガ前號以外ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スルモノ

三 指定國人、指定國法人、第一號ニ該當スルモノ又ハ前號ニ該當スルモノ

モノガ資本金ノ二分ノ一以上ヲ占ムルモノ又ハ其ノ他ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スルモノニシテ前各號ニ該當セザルモノ

第八條 本令ニ於ケル動産ニハ本邦通貨、外國通貨及有價證券(有價證券ニ準ズルモノヲ含ム以下同シ)ヲ含マズ

第九條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ左ニ掲グル財産ノ取得又ハ處分ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第十條乃至第十三條

〔朝一〕

モノガ資本金ノ二分ノ一以上ヲ占ムルモノ又ハ其ノ他ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スルモノニシテ前各號ニ該當セザルモノ

四 前各號ニ掲グルモノ以外ノ法人ニシテ指定國內ニ於テ事業又ハ營業ヲ爲スコトヲ主たる目的トスルモノ

五 朝鮮總督ノ指定スルモノ

前項第五號ノ規定ニ依ル指定ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス

第五條 本令ニ於テ指定國居住者トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 指定國ニ住所又ハ居所ヲ有スル人ニシテ指定國人以外ノモノ

二 法人(指定國法人及指定國系法人ヲ除ク)ノ支店其ノ他ノ營業所ニシテ指定國ニ在ルモノ

第六條 本令ニ於テ指定外國人トハ指定國人、指定國法人、指定國系法人又ハ指定國居住者ヲ謂フ

第七條 本令ニ於テ外國系本邦法人トハ本邦法人ニシテ左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 外國法人又ハ外國人ガ資本金ノ二分ノ一以上ヲ占ムルモノ

二 外國法人又ハ外國人ガ前號以外ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スルモノ

三 外國人、外國法人、第一號ニ該當スルモノ又ハ前號ニ該當スルモノガ資本金ノ二分ノ一以上ヲ占ムルモノ又ハ其ノ他ノ關係ニ於テ經營ヲ支配スルモノニシテ前各號ニ該當セザルモノ

第八條 本令ニ於ケル動産ニハ本邦通貨、外國通貨及有價證券(有價證券ニ準ズルモノヲ含ム以下同シ)ヲ含マズ

第九條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ左ニ掲グル財産ノ取得又ハ處分ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第十條乃至第十三條

又ハ第二十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 不動産又ハ永代借地權

二 價額百圓相當額以上ノ動産

三 地上權、地役權又ハ不動産買戻權

四 質權又ハ抵當權

五 鑛業權、漁業權又ハ森林伐採權

六 工業所有權、著作權又ハ此等ニ準ズルモノ

七 事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資(有價證券ヲ除ク)

八 内國爲替以外ノ價額二十圓相當額以上ノ有價證券(本邦内旅行ノ爲ノ乗車券、乗船券及此等ニ準ズルモノヲ除ク以下同シ)

九 内國爲替

十 外國通貨

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第一號乃至第十號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第十條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 外貨債權又ハ邦貨債權ノ處分(相殺ノ場合ヲ含ム)

二 邦貨債權ノ讓受

三 債務ノ引受

四 債務ノ保證

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十一號又ハ第十二號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及破産管理

第十一條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 貸付金ノ貸付又ハ回收

二 借入金ノ借入又ハ返済

三 預ケ金ノ預入又ハ引出

四 預リ金ノ受入又ハ拂戻

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十六號乃至第十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第十四條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ

第十一條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 不動産、本邦通貨、外國通貨、價額百圓相當額以上ノ動産又ハ價額二十圓相當額以上ノ有價證券ノ寄託ヲ爲シ又ハ寄託ヲ受ケルコト

二 前號ニ掲グルモノニシテ寄託ヲ爲シタルモノノ返還ヲ受ケ又ハ寄託ヲ受ケタルモノノ返還ヲ爲スコト

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十三號又ハ第十四號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第十二條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ不動産、價額百圓相當額以上ノ動産又ハ價額二十圓相當額以上ノ有價證券ノ貸借、轉貸借又ハ貸借權ノ取得若ハ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十五號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第十三條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 貸付金ノ貸付又ハ回收

二 借入金ノ借入又ハ返済

三 預ケ金ノ預入又ハ引出

四 預リ金ノ受入又ハ拂戻

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十六號乃至第十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第十四條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ

第十一條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 貸付金ノ貸付又ハ回收

二 借入金ノ借入又ハ返済

三 預ケ金ノ預入又ハ引出

四 預リ金ノ受入又ハ拂戻

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十六號乃至第十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第十四條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ

第十一條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 貸付金ノ貸付又ハ回收

二 借入金ノ借入又ハ返済

三 預ケ金ノ預入又ハ引出

四 預リ金ノ受入又ハ拂戻

前項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第十六號乃至第十九號ニ依リ許可申請書ヲ提出スベシ

第十四條 指定外國人ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ

一箇月ヲ通ジ五百圓(法人以外ノ場合ハ世帯毎ニ五百圓)以上ノ本邦通貨ヲ取得又ハ處分スルコトヲ得ズ但シ取得又ハ處分ノ原因ト爲ルベキ行爲ニ付第九條乃至第十三條又ハ外國爲替管理法施行規則ニ依リ許可ヲ受ケタル行爲ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ本邦内ニ於テ振出サレ本邦内ニ在ル銀行ヲ支拂入トスル當座小切手ニシテ本邦内ニ於テ支拂ハルモノハ本邦内ノ支拂ノ手段トシテ使用セラルル場合ニ限リ之ヲ本邦通貨ト看做ス
第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第十五條 指定外國人ハ第九條乃至第十四條ノ規定ニ拘ラズ左ニ掲グル場合ハ第九條乃至第十四條ノ規定ニ掲グル行爲ヲ爲スニ付朝鮮總督ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

- 一 本邦ノ公租公課其ノ他之ニ準ズルモノノ支拂ヲ爲ス爲必要ナルトキ
- 二 本邦内ニ居住スル本邦人タル使用人其ノ他ノ從業者ニ對シ俸給給與其ノ他之ニ準ズルモノノ支拂ヲ爲ス爲必要ナルトキ
- 三 朝鮮總督ノ指定スル場合ニ該當スルトキ

前項第三號ノ規定ニ依ル指定ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス

第十六條 外國爲替管理法施行規則第十二條第一號乃至第三號、第十三條第一項但書、第十六條第一項但書、第十九條第一項第二號乃至第四號、第二十三條第一項但書、第二十四條第一項但書、第二十五條、第二十六條、第二十七條、第三十條、第三十二條第一項第一號乃至第四號、第三十三條第二項、第三十八條第一項但書、第四十四條第一項第二號、第四十五條第一項第一號、第四十九條第二項、第五十條第一項第一號第二號

第四號第五號、同條第二項、第五十五條第一項第二號、第五十六條第二項第四號、第五十七條第一項第一號第二號、第五十八條第一項第二號乃至第四號、第六十三條第一項第一號乃至第四號、同條第二項、第六十四條第一項第一號乃至第三號、第六十五條第一項但書、第六十八條、第六十九條第一項第六號、第七十七條及第九十九條第二項ノ規定ハ指定外國人ニ之ヲ適用セズ但シ朝鮮總督ノ指定スル場合ニ該當スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依ル指定ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス

第十七條 第九條乃至第十四條及第十六條ノ規定ハ指定外國人ノ爲ニ又ハ指定外國人ヲ相手方トシテ第九條乃至第十四條ニ掲グル行爲並ニ第十六條ノ規定ニ於テ指定外國人ニ對シ適用ヲ除外セラレタル外國爲替管理法施行規則ノ規定ニ掲グル行爲ヲ爲ス者(指定外國人ヲ除ク)ニ之ヲ準用ス但シ指定外國人ヲ相手方トスル行爲ニシテ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 本邦ノ公租公課其ノ他之ニ準ズルモノヲ受領スル爲必要ナルトキ
- 二 朝鮮總督ノ指定スル場合ニ該當スルトキ

前項第二號ノ規定ニ依ル指定ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス

第十八條 第十五條ノ規定ハ指定外國人ノ爲ニ同條ニ掲グル行爲ヲ爲ス者(指定外國人ヲ除ク)ニ之ヲ準用ス

第十九條 指定外國人以外ノ者ハ外國爲替管理法施行規則第十三條第一項但書ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督ノ許可ヲ可クルニ非ザレバ朝鮮内ニ於テ外國爲替銀行ニ對シ指定外國人ヲ支拂入トスル外國爲替又ハ指定國向輸出貨物ニ關スル外國爲替ヲ賣却スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ指定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

合ニ該當スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依ル指定ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス

第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十一號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第二十條 朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ指定外國人ノ爲朝鮮内ニ於テ財產ノ保有若ハ管理ヲ爲シ又ハ之ヲ廢止スルコトヲ得ズ但シ第十一條(第十七條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ又ハ朝鮮總督ノ指定スル場合ニ該當スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依ル指定ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス
第一項ノ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ本令附屬申請書式第二十二號ニ依ル許可申請書ヲ提出スベシ

第二十一條 第一條ノ規定ニ依リ朝鮮總督外國ヲ指定シタル日以後外國爲替管理法施行規則ニ依リ許可ヲ受ケタル行爲ニ付テハ本令ニ依ル許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十二條 第一條ノ規定ニ依リ朝鮮總督外國ヲ指定シタル日ニ指定外國人外國爲替管理法施行規則ニ依ル許可ヲ受ケタル行爲ノ全部又ハ一部ヲ爲シ居ラザルトキハ該許可ハ其ノ範圍ニ於テ其ノ效力ヲ失フ
前項ノ規定ハ指定外國人ノ爲ニ又ハ指定外國人ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲ス者ノ該行爲ニ付外國爲替管理法施行規則ニ依リ受ケタル許可ニ之ヲ準用ス

第二十三條 第一條ノ規定ニ依リ朝鮮總督外國ヲ指定シタル日以後指定外國人ヨリ朝鮮内ニ在ル財產ヲ取得シタル者(本邦居住者及指定外國人ヲ除ク)ハ之ヲ指定外國人ト看做ス但シ該財產ニ關スル行爲以外ノ行爲ヲ

爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ指定外國人ヨリ朝鮮内ニ在ル財產ヲ取得シタル者又ハ其ノ相手方タル指定外國人ガ本令又ハ外國爲替管理法施行規則ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ許可ヲ要セズシテ該財產ヲ取得又ハ處分シタル場合ハ之ヲ適用セズ

第二十四條 指定外國人ハ其ノ所有スル財產等ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ朝鮮總督外國ヲ指定シタル日ニ於ケル現在高ニ付其ノ日以後二週間以内ニ本令附屬報告書式第一號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ指定外國人ノ爲朝鮮内ニ於テ財產ヲ保有シ又ハ管理スル者其ノ財產ニ關シ亦同ジ
前項ニ掲グル者ハ毎月前項ノ財產等ノ増減ノ内容及月末ニ於ケル現在高ヲ本令附屬報告書式第一號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
前項ノ規定ニ依リ報告ヲ爲ス者ハ前項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲シタル財產ニ付テハ外國爲替管理法施行規則第九十八條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲スコトヲ要セズ

第二十五條 指定外國人ニ對シ債權若ハ債務ヲ有シ又ハ出資ヲ爲シ居レル者及指定外國人ヨリ出資ヲ受ケ居レル者ハ其ノ債權、債務又ハ出資ニ付第一條ノ規定ニ依リ朝鮮總督外國ヲ指定シタル日ニ於ケル現在高ヲ其ノ日以後二週間以内ニ本令附屬報告書式第二號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ

前項ニ掲グル者ハ毎月其ノ債權、債務又ハ出資ノ増減ノ内容及月末ニ於ケル現在高ヲ本令附屬報告書式第二號ニ依リ朝鮮總督ニ報告スベシ
第二十六條 指定外國人ノ爲ニ又ハ指定外國人ヲ相手方トシテ本令ニ規定スル行爲ヲ爲シタル者ハ該行爲ニ關シ毎月本令附屬報告書式第三號ニ依

リ朝鮮總督ニ報告スベシ但シ指定外國人ノ爲朝鮮内ニ於テ財産ヲ保有シ又ハ管理スル者第二十四條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 外國爲替管理法施行規則附屬報告書式第十九號準則第二號及第五號(報告書式第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第二十四號準則第二號及第三號(報告書式第二十五號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第二十五號準則但書後段、報告書式第二十六號準則第二號及第四號(報告書式第二十七號及第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第二十七號準則第一號但書及第二號(報告書式第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第二十八號準則第二號及第四號(報告書式第二十九號及第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第三十一號及第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第三十一號準則第一號但書及第二號(報告書式第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第三十二號準則第二號及第四號(報告書式第三十三號及第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第三十三號準則第一號但書及第二號(報告書式第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第三十四號準則第二號(報告書式第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、報告書式第三十五號準則第二號(報告書式第五十三號準則ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)並ニ報告書式第四十號準則第二號ハ指定外國人ニ之ヲ準用セズ

第二十八條 外國爲替管理法ニ基キテ發スル命令ニ依リ提出スベキ許可由

請書又ハ報告書中ニ外國人、外國法人又ハ外國系本邦法人ノ氏名又ハ商號ヲ記載スル場合ニハ左ノ事項ヲ適宜ノ箇所ニ記載スベシ

一 外國人ニ在リテハ其ノ國籍、國籍ヲ有セザル者ニ在リテハ其ノ旨
二 外國法人ニ在リテハ其ノ設立準據法令及本店又ハ主たる事務所ノ所在地

三 指定國系法人タル外國法人ニ在リテハ前號ニ掲グル事項及其ノ資本關係又ハ支配關係ノ内容

四 外國系本邦法人ニ在リテハ其ノ資本關係又ハ支配關係ノ内容

第二十八條ノ二 朝鮮總督ハ必要アルトキハ第二條第一項、第三條、第四條第一項、第五條又ハ第二十三條第一項ニ該當スルモノト雖モ之ヲ指定外國人ヨリ除外スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ除外ハ告示ヲ以テ之ヲ爲ス

第二十九條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ本令ニ定ムル行爲ノ制限ヲ免除スルコトヲ得

第三十條 朝鮮總督ハ必要アルトキハ本令ニ定ムルモノノ外報告ヲ徵シ又ハ本令ニ定ムル報告ヲ免除シ若ハ報告ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第三十一條 外國爲替管理法施行規則第九十六條、第一百一條及第一百三條ノ規定ハ本令ニ依リ許可申請又ハ報告ニ關シ之ヲ準用ス

附則 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

申請書式第一號(第九條第一項第一號及第十七條) 電話番號 擔當者

朝鮮總督 殿

年月日

申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號

(代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 不動産又ハ永代借地權ノ種類、數量、價格及所在地
二 取得又ハ處分ノ原因及方法
三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
五 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
六 動産ノ受渡地又ハ擔保差入先
七 取得又ハ處分ノ豫定時期
八 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相続、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第八項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二號(第九條第一項第二號及第十七條) 電話番號 擔當者

朝鮮總督 殿

年月日

申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號

(代表者氏名)

- 一 動産ノ種類、數量、價格及所在地
二 取得又ハ處分ノ原因及方法
三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
五 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
六 取得又ハ處分ノ豫定時期
七 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
八 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(一) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(二) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第七項ニ記載スベシ

(三) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七糎横三六四糎トスベシ

申請書式第三號(第九條第一項第三號及第十七條)

地上權等ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者 住所、職業、國籍

氏名又ハ商號

(代表者氏名)

⑩

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 地上權等ヲ設定シタル不動産ノ種類、數量、價格及所在地

二 地上權等ヲ設定シタル不動産ノ所有者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

三 取得又ハ處分ノ原因及方法

四 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

五 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

六 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件

七 取得又ハ處分ノ豫定期

八 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第三項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第八項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七糎横三六四糎トスベシ

申請書式第四號(第九條第一項第四號及第十七條)

質權又ハ抵當權ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿

年月日

申請者 住所、職業、國籍

氏名又ハ商號

(代表者氏名)

⑩

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 質權又ハ抵當權ノ種類及順位

二 取得又ハ處分ノ原因及方法

三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

五 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件

六 取得又ハ處分ノ豫定期

七 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

八 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第七項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七糎横三六四糎トスベシ

申請書式第五號(第九條第一項第五號及第十七條)

質權又ハ抵當權ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第七項ニ記載スベシ

朝鮮總督 殿

年月日

申請者 住所、職業、國籍

氏名又ハ商號

(代表者氏名)

⑩

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 鑛區等ノ登錄地、登錄年月日、番號、位置、形狀、區域若ハ面積又ハ鑛床ノ位置若ハ形狀

二 取得又ハ處分ノ原因及方法

三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

五 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件

六 取得又ハ處分ノ豫定期

七 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

八 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第七項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七糎横三六四糎トスベシ

申請書式第五號(第九條第一項第五號及第十七條)

ベシ

- (四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ
- (五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第六號(第九條第一項第六號及第十七條)

工業所有權等ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號 (代表者氏名)

年月日

⑧

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 工業所有權等ノ種類並ニ登録ノ地、年月日及番號
- 二 取得又ハ處分ノ原因及方法
- 三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 五 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
- 六 取得又ハ處分ノ豫定期
- 七 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第八項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第八號(第九條第一項第八號及第十七條)

有價證券ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號 (代表者氏名)

年月日

⑧

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 工業所有權等ノ種類並ニ登録ノ地、年月日及番號
- 二 取得又ハ處分ノ原因及方法
- 三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 五 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
- 六 取得又ハ處分ノ豫定期
- 七 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第八項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第八號(第九條第一項第八號及第十七條)

有價證券ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號 (代表者氏名)

年月日

⑧

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 有價證券ノ名稱、金額、數量及所在地
- 二 取得又ハ處分ノ原因及方法
- 三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 五 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
- 六 取得又ハ處分ノ豫定期
- 七 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 八 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

スベシ

- (三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第七項ニ記載スベシ
- (四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ
- (五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第七號(第九條第一項第七號及第十七條)

事業等ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號 (代表者氏名)

年月日

⑧

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 事業、營業又ハ事業若ハ營業ニ對スル出資ノ種類、數量、價額及所在地
- 二 取得又ハ處分ノ原因及方法
- 三 事業又ハ營業ノ資産負債及損益ノ狀況
- 四 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 五 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 六 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
- 七 取得又ハ處分ノ豫定期
- 八 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第八項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第九號(第九條第一項第九號及第十七條)

內國爲替ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號 (代表者氏名)

年月日

⑧

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 有價證券ノ受渡地又ハ擔保差入先
- 二 取得又ハ處分ノ豫定期
- 三 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 四 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 六 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 七 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 八 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ

(三) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第八項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(五) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第九號(第九條第一項第九號及第十七條)

內國爲替ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號 (代表者氏名)

年月日

⑧

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 有價證券ノ受渡地又ハ擔保差入先
- 二 取得又ハ處分ノ豫定期
- 三 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 四 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 五 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 六 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 七 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 八 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

年月日

申請者 住所、職業、國籍
氏名又ハ商號
(代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 爲替ノ種類及金額
 - 二 取得又ハ處分ノ原因及方法
 - 三 爲替ノ受取人又ハ振出人ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 四 爲替ノ支拂地、支拂期日並ニ支拂人ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 五 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 六 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 七 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
 - 八 取得又ハ處分ノ豫定期
 - 九 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 十 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- (一) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ
- (二) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第九項ニ記載スベシ
- (三) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ
- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七耗横三六四耗トスベシ
- 申請書式第十號(第九條第一項第十號及第十七條)
- 外國通貨ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)
- 朝鮮總督 殿

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 外國通貨ノ種類、金額及所在地
 - 二 取得又ハ處分ノ原因及方法
 - 三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 五 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
 - 六 外國通貨ノ受渡地又ハ擔保差入先
 - 七 取得又ハ處分ノ豫定期
 - 八 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- (一) 第二項ニハ賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定ノ別等ヲ記載スベシ
- (二) 擔保權設定ノ場合ニ在リテハ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號並ニ債務ノ種類、金額及其ノ主要條件ヲ第八項ニ記載スベシ
- (三) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ
- (四) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七耗横三六四耗トスベシ
- 申請書式第十二號(第十條第一項第三號又ハ第四號及第十七條)
- 債務ノ引受又ハ保證許可申請書(電話番號)
- 朝鮮總督 殿

[朝一]

申請書式第十一號(第十條第一項第一號又ハ第二號及第十七條)

外貨債權ノ處分、邦貨債權、電話番號
ノ引受又ハ處分許可申請書 擔當者
朝鮮總督 殿

申請者 住所、職業、國籍
氏名又ハ商號
(代表者氏名)

⑩

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 債權ノ種類及金額
 - 二 債權發生ノ時期及原因並ニ債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 三 債務辨濟ノ時期及場所
 - 四 擔保物ノ種類、數量、價額及所在地並ニ擔保物ノ所有者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 五 讓受又ハ處分ノ原因及方法
 - 六 讓受又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 七 指定外國人ノ爲讓受又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 八 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
 - 九 讓受又ハ處分ノ豫定期
 - 十 讓受又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
 - 十一 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ
- 申請書式第十一號(第十條第一項第一號又ハ第二號及第十七條)
- 外貨債權ノ處分、邦貨債權、電話番號
ノ引受又ハ處分許可申請書 擔當者
朝鮮總督 殿

[朝一]

- 五 債務ノ引受又ハ保證ノ契約ノ主要條件
- 六 債務者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 七 指定外國人ノ爲債務ノ引受又ハ保證ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 八 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
- 九 債務ノ引受又ハ保證ノ豫定期
- 十 債務ノ引受又ハ保證ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事項
- 十一 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 引受又ハ保證セントスル債務ニ付既ニ保證アル場合ニハ保證ノ金額其ノ他ノ條件並ニ保證人ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號ヲ第四項ニ記載スベシ

(三) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

申請書式第十三號(第十一條第一項第一號第十七條)

不動産等ノ寄託ヲ爲シ又ハ(電話番號) 寄託ヲ受ケル許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號

〔朝一〕

- 一 寄託物又ハ受寄物ノ種類、數量及價額
- 二 寄託物又ハ受寄物ノ所在地並ニ所有者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 三 契約ノ主要條件
- 四 受寄者又ハ寄託者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 五 指定外國人ノ爲寄託ヲ爲シ又ハ寄託ヲ受ケル場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 六 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件
- 七 寄託ヲ爲シ又ハ寄託ヲ受ケル豫定期
- 八 寄託ヲ爲シ又ハ寄託ヲ受ケル目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七耗橫三六四耗トスベシ

申請書式第十四號(第十一條第二號及第十七條)

寄託物返還ノ受領又ハ受寄物返還許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號

不動産等ノ貸借等許可申請書(電話番號) 擔當者

朝鮮總督 殿 申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號

〔朝一〕

年月日

申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號 (代表者氏名)

〔朝一〕

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 寄託物又ハ受寄物ノ種類、數量及價額

二 寄託物又ハ受寄物ノ所在地並ニ所有者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

三 契約ノ主要條件

四 受寄者又ハ寄託者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

五 指定外國人ノ爲寄託物ノ返還ヲ受ケ又ハ受寄物ノ返還ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

六 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額、所在地及受領又ハ支拂ノ時期其ノ他ノ條件

七 返還ノ受領又ハ返還ノ豫定期

八 返還ノ受領又ハ返還ノ必要トスル事由

九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七耗橫三六四耗トスベシ

申請書式第十五號(第十二條及第十七條)

年月日

申請者 住所、職業、國籍 氏名又ハ商號 (代表者氏名)

〔朝一〕

標題ノ件左ノ通及申請候也

一 不動産等ノ種類、數量、價額及所在地

二 契約ノ主要條件

三 貸借等ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

四 指定外國人ノ爲貸借等ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

五 不動産等ノ引渡豫定期

六 貸借等ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由

七 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七耗橫三六四耗トスベシ

申請書式第十六號(第十三條第一號及第十七條)

貸付金ノ貸付又ハ回収許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿
年 月 日

申請者 住所、職業、國籍、
氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 貸付又ハ回収ノ金額及場所
- 二 貸付ノ種類及契約ノ主要條件
- 三 擔保物アル場合ニハ其ノ種類、數量、價額及所在地並ニ差入人ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 四 他人ノ勘定ニ於テ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 五 貸付ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 六 指定外國人ノ爲貸付又ハ回収ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 七 貸付又ハ回収ノ豫定期期
- 八 貸付又ハ回収ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 貸付金ノ交付又ハ回収ノ相手方ガ貸付ノ相手方ト異ル場合ニハ其ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號ヲ第五項ニ併記スベシ

(三) 保證アル場合ニハ保證ノ金額其ノ他ノ條件並ニ保證人ノ住所、

住所、職業、國籍、
氏名又ハ商號

職業、國籍及氏名又ハ商號ヲ第三項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七耗横三六四耗トスベシ

預リ金ノ預入又ハ引出許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿
年 月 日

申請者 住所、職業、國籍、
氏名又ハ商號 (代表者氏名)

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 借入又ハ返済ノ金額及場所
- 二 借入ノ種類及契約ノ主要條件
- 三 擔保物アル場合ニハ其ノ種類、數量、價額及所在地並ニ差入人ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 四 他人ノ勘定ニ於テ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 五 借入ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 六 指定外國人ノ爲借入又ハ返済ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 七 借入又ハ返済ノ豫定期期
- 八 借入又ハ返済ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 預入金ノ交付又ハ引出金ノ受領ノ相手方ガ預入ノ相手方ト異ル場合ニハ其ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號ヲ第三項ニ併記スベシ

〔朝一〕

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 借入金ノ受領又ハ返済金ノ交付ノ相手方ガ借入ノ相手方ト異ル場合ニハ其ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號ヲ第五項ニ併記スベシ

(三) 保證アル場合ニハ保證ノ金額其ノ他ノ條件並ニ保證人ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號ヲ第三項ニ記載スベシ

(四) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縱二五七耗横三六四耗トスベシ

預リ金ノ預入又ハ引出許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

年 月 日

申請者 住所、職業、國籍、
氏名又ハ商號 (代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 預入又ハ引出ノ金額及場所
 - 二 預リ金ノ種類及契約ノ主要條件
 - 三 預入ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 四 指定外國人ノ爲預入若ハ引出ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

標題ノ件左ノ通及申請候也

- 一 受入又ハ拂戻ノ金額及場所
- 二 預リ金ノ種類及契約ノ主要條件
- 三 預入者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
- 四 指定外國人ノ爲受入又ハ拂戻ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

籍及氏名又ハ商號

- 五 受入又ハ拂戻ノ豫定期
- 六 受入又ハ拂戻ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 預リ金ノ受入又ハ拂戻金ノ交付ノ相手方ヲ預入者ト異ル場合ニハ其ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號ヲ第三項ニ併記スベシ

(三) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(四) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十號(第十四條及第十七條)

本邦通貨ノ取得又ハ處分許可申請書(電話番號)

朝鮮總督 殿

年 月 日

申請者 住所、職業、國籍
氏名又ハ商號
(代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 本邦通貨ノ種類、金額及所在地
 - 二 取得又ハ處分ノ原因及方法
 - 三 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
 - 四 指定外國人ノ爲取得又ハ處分ヲ爲ス場合ニハ其ノ者ノ住所、職業、國籍

籍及氏名又ハ商號

- 五 對價タル財産等ノ種類、數量、價額、所在地及支拂又ハ受領ノ時期其ノ他ノ條件
- 六 本邦通貨ノ受渡地
- 七 取得又ハ處分ノ豫定期
- 八 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ行爲ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨標題ニ括弧書附記スベシ

(三) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十一號(第十九條)

指定外國人ヲ支拂人トスル外國爲替又ハ指定國(電話番號)

向輸出貨物ニ關スル外國爲替ノ賣却許可申請書(擔當者)

朝鮮總督 殿

年 月 日

申請者 住所、職業、國籍
氏名又ハ商號
(代表者氏名)

- 標題ノ件左ノ通及申請候也
- 一 爲替ノ種類及金額
 - 二 爲替ノ支拂地、支拂期日並ニ支拂人ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

〔朝一〕

- 三 現物又ハ豫約ノ別及豫約ニ在リテハ受渡期
- 四 賣却ノ相手方タル外國爲替銀行ノ住所及商號
- 五 賣却ノ豫定期
- 六 賣却ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
- 七 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意(一) 本許可申請書ハ三通ヲ作成シ最寄朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリタル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

(二) 本許可申請書ノ用紙ノ大サハ縦二五七耗横三六四耗トスベシ

申請書式第二十二號(第二十條)

指定外國人ノ爲ニ爲ス財産ノ保有者ハ管理又ハ指定外國人ノ爲ニ爲ス財産ノ保有者ハ管理ノ廢止許可申請書

朝鮮總督 殿

年 月 日

申請者 住所、職業、國籍
氏名又ハ商號
(代表者氏名)

指定外國人所有財産又ハ指定外國人ノ爲保有者ハ管理スル財産ノ報告書

(1) 自己所有分

昭和何年何月分

住所及國籍

氏名又ハ商號

(前同提出) 昭和何年何月分

種類	所在地	前月末現在高		當月中取得ノ許可ノ無		當月中處分ノ許可ノ無		當月末現在高		所有ノ目的	備考
		數量	金額	取 得 數量	理 由 金額	處 分 數量	理 由 金額	數量	金額		
在內分 資產											
負債											
合計											
在外分 資產											
負債											
合計											

準則1 本報告書ハ二通ヲ作成シ各月分ヲ翌月十五日迄ニ最前朝鮮銀行(外國爲替管理法施行規則第九十五條第二項ノ規定ニ依ル告示アリ
ル場合ハ當該事務取扱者)ヲ經テ朝鮮總督ニ提出スベシ

2 第二十四條第一項ノ規定ニ依リ報告書ヲ提出スベキ場合ニハ第一條ノ規定ニ依リ朝鮮總督外國ヲ指定シタル日ニ於ケル現在高ノ當月
末現在高ノ欄ニ記載シ、前月末現在高、當月中取得高及當月中處分高ノ欄ハ記載スルニ及バズ

3 個人ニ在リテハ世帯主ヨリ取纏メ記載ノ上報告スベシ

4 個人ノ日常生活必需品ノ取得消費及一世帯ニ付一箇月ヲ通シ五百圓以下ノ本邦通貨ノ取得又ハ處分ニ付テハ報告スルニ及バズ

〔準1〕

- 5 繰延資産負債、繰上資産負債又ハ見返資産負債ニ付テハ報告スルニ及バズ
- 6 種類ノ欄ニハ資産ニ在リテハ土地(永代借地權ヲ含ム)、建物、機械器具、什器備品(家庭道具ヲ含ム)、商品、有價證券、地上權其ノ他第
九條第一項第三號、第五號及第六號ニ掲グル權利、出資金、貸付金、買掛金、受取手形、小切手、取引先勘定其ノ他ノ債權、預ケ金又ハ現
金、負債ニ在リテハ借入金、預リ金、買掛金、支拂手形、取引先勘定其ノ他ノ負債又ハ保立債務ニ分チ成ルベシ其體格ニ記載スベシ
- 7 金額ノ欄ニハ外貨表示ノモノニ在リテハ外貨額ヲ記載シ且其ノ邦貨換算額ヲ併記シ、證券ニ在リテハ額面金額ヲ、動産、不動産等ニ在リ
テハ契約價額、等價額又ハ記載價額ヲ記載スベシ
- 8 當月中取得高又ハ處分高ノ欄ニハ(甲)原因行爲ニ付許可ヲ受ケタルモノ(同第十五條ノ規定ニ依リ許可ヲ要セザルモノ又ハ(乙)許可ヲ受ケザリ
シモノニ分チ數量及時價額又ハ記載價額ヲ記載シ、許可ヲ受ケタルトキハ許可證ノ日附及番號ヲ夫々該當欄ニ記載スベシ
- 9 財産ヲ第三者ニ寄託シ、擔保ニ供シ又ハ貸付ケ居ルルトキハ其ノ旨、相手方ノ住所、國籍及氏名又ハ商號並ニ之ヲ必要トスル事由ヲ記載
シ、其ノ有スル債權ニ付擔保(保證ヲ含ム)ヲ徴シ居ルルトキハ擔保物ノ差入人(又ハ保證人)ノ住所、國籍及氏名又ハ商號並ニ擔保物ノ種
類、數量、價額、所在地及之ヲ必要トスル事由ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
- 10 本報告書ノ用紙ノ大サハ縦257mm横364mmトスベシ

(I) 保有又ハ管理分

書式ハ(I)=準ズ

- 準則1 (I)ノ準則ニ準ズ
- 2 指定外國人ニ對スル債權ニ付買物ヲ占有スル場合及指定外國人ノ所有又ハ借用セルモノヲ借用シ又ハ買物トシテ占有スル場合ハ本書式ニ
依リ報告スベシ
 - 3 保有又ハ管理ヲ必要トスル事由並ニ保有又ハ管理ヲ依頼シタル者ノ住所、國籍及氏名又ハ商號ヲ所有ノ目的ノ欄ニ記載スベシ
- 報告書式第二號(第二十五條)

指定外國人ニ對スル債權、債務若ハ出資又ハ指定外國人ヨリ受ケ居ル出資ノ報告

昭和何年何月分

住所及國籍

氏名又ハ商號

(前回提出

昭和何年何月分)

- 2 區分ノ欄ニハ指定外國人ノ爲ニ爲シタル行爲又ハ之ヲ相手方トシテ爲シタル行爲ノ別ヲ記載スベシ
- 3 價額百圓相當額以下ノモノノ取得又ハ處分(貸借又ハ寄託ニ關スル行爲ヲ含ム)ハ之ヲ一括記載スルコトヲ得但シ銀行ハ此ノ限ニ在ラズ
- 4 指定外國人ノ爲ニ又ハ之ヲ相手方トシテ爲ス本邦通貨ノ取得又ハ處分ニシテ一箇月ヲ通ジ五百圓未満ノ場合ハ報告スルニ及バズ
- 5 行爲ノ種類ノ欄ニハ第九條乃至第十四條、第十六條、第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ許可ヲ要スル行爲ノ別ヲ明ニシ共ノ内票詳細ヲ記載スベシ
- 6 對價ノ欄ニハ對價ガ金錢以外ノモノニ在リテハ其ノ物ノ種類、數量、價額及所在地ヲ、對價チキモノニ在リテハ其ノ事由ヲ記載スベシ
- 7 對價ノ支拂方法其ノ他ノ條件ノ欄ニハ支拂又ハ引渡ノ時期、場所等ヲ、擔保(保證ヲ含ム)アル場合ニハ其ノ種類並ニ擔保物ノ種類、數量、價額及所在地、差入人若ハ差入先又ハ保證人ノ住所、國籍及氏名又ハ商號ヲ記載スベシ
- 8 指定外國人トノ關係ノ欄ニハ資本關係、取引關係其ノ他ノ關係ニ付具體的ニ記載スベシ
- 9 許可ノ有無ノ欄ニハ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ許可證ノ日付及番號ヲ、許可チキモノニ在リテハ其ノ事由ヲ記載スベシ
- 10 本報告書ノ用紙ノ大サハ縦⁵⁵⁷横³⁶⁴純トスベシ

●外國人關係取引取締規則第一條
第一項ノ規定ニ依ル外國

昭和十六年十二月十二日
朝鮮總督府告示第二千一號

外國人關係取引取締規則第一條第一項ノ規定ニ依リ左ノ外國ヲ指定ス
昭和十六年朝鮮總督府告示第千百三十三號ハ之ヲ廢止ス

アメリカ合衆國
アメリカ合衆國領地全體
フィリッピン聯邦
グレートブリテン

グレートブリテン海外領土
北部アイルランド聯合王國
印度
和蘭國及蘭領印度

昭和十六年十二月二十七日
朝鮮總督府告示第二千六十九號

外國人關係取引取締規則第一條第一項ノ規定ニ依リ左ノ外國ヲ指定ス

メキシコ國
コスタ、リカ共和國
ホンデウラス共和國
グアテマラ國

[朝]

[朝]

ニカラガア國
ドミニカ共和國
キリバ共和國
ハイテイ共和國
コロンビア共和國
エル、サルバドル共和國

昭和十七年一月十六日
朝鮮總督府告示第六十三號

外國人關係取引取締規則第一條第一項ノ規定ニ依リ左ノ外國ヲ指定ス
エジプト國

昭和十七年二月十四日
朝鮮總督府告示第二百二十四號

外國人關係取引取締規則第一條第一項ノ規定ニ依リ左ノ外國ヲ指定ス
イラク國
ベルギー國
ギリシヤ國
パナマ共和國

昭和十七年五月二十日
朝鮮總督府告示第七百六十一號

外國人關係取引取締規則第一條第一項ノ規定ニ依リ左ノ外國ヲ指定ス
ノールウェー國

臨時資金調整法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

昭和十二年十月十五日
勅令第五百九十四號

改正 昭和十四年四月第二二號、一七年四月第三六三號

臨時資金調整法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 臨時資金調整法ハ第五條乃至第七條及第十一條乃至第十五條ノ規定ヲ除クノ外之ヲ朝鮮ニ施行ス

第二條 臨時資金調整法第二條中銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫、戰時金融庫及北海道、府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會トアルハ銀行、信託會社、保險會社、東洋拓殖株式會社及朝鮮金融組合聯合會トシ同法第二十條中當該官吏、委員若ハ第五條第三項ニ規定スル日本銀行職員トアルハ當該官吏トス

第三條 臨時資金調整法施行令第三條第二項、第四條第二項、第五條第二項、第六條第二項、第六條ノ三第三項、第七條、第八條及第十一條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第四條 臨時資金調整法施行令中主務大臣、同令第九條中大藏大臣及商工大臣、同令第九條ノ二中大藏大臣トアルハ朝鮮總督トシ同令第六條ノ三第一項中北海道、府縣、府縣組合、市町村、市町村組合、町村組合、市町村內ノ區、市町村學校組合、町村學校組合及學區トアルハ道、府邑面、邑面組合、學校組合及學校費トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

11500

臨時資金調整法

昭和十二年九月十日
法律第八十六號

改正 昭和十四年四月第六八號、第八六號、一五年三月第七〇號、一六年三月第一八號、一七年四月第八四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臨時資金調整法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

臨時資金調整法

第一條 本法ハ支那事變ニ關聯シ物資及資金ノ需給ノ適合ニ資スル爲メ國內資金ノ使用ヲ調整スルヲ目的トス

第二條 銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫、戰時金融庫及北海道、府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會(以下金融機關ト總稱ス)ハ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ニ關スル資金ノ貸付ヲ爲シ又ハ有價證券ノ應募、引受若ハ募集ノ取扱ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ金融機關ニ非ズシテ有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ヲ業トスル者(以下之ヲ證券引受業者ト稱ス)有價證券ノ應募、引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第三條 金融機關又ハ證券引受業者前條ノ貸付又ハ有價證券ノ應募、引受若ハ募集ノ取扱ニ關シ本法ノ目的ニ從ヒ政府ノ適當ト認ムル方法ニ依リ自治的ニ調整ヲ爲スモノナルトキハ之ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得

第四條 命令ノ定ムル會社ノ設立ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ズ會社ノ資本増加、合併又ハ目的變更ニシテ命令ノ定ムルモノニ付亦同シ

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及激進管理

11500

〔朝一〕

命令ノ定ムル會社左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ政府ノ許可ヲ受ケベシ

一 第二回以後ノ株金ノ拂込ヲ爲サシメントスルトキ
一 他人ヲシテ引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サシメズシテ社債ヲ募集セントスルトキ

第四條ノ二 命令ノ定ムル限度ヲ超ユル事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル者ハ之ニ付政府ノ許可ヲ受ケベシ但シ命令ノ定ムル者及左ノ各號ノ一ニ該當スル資金ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 金融機關ヨリノ借入金
二 他人ヲシテ引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サシメタル社債ノ收入金
三 本法ニ依リ設立又ハ資本増加ニ付認可ヲ受ケタル場合ノ會社ノ第一回拂込株金又ハ出資金

四 本法ニ依リ拂込又ハ募集ニ付許可又ハ認可ヲ受ケタル場合ノ會社ノ拂込株金又ハ社債收入金

第五條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第二條、第四條又ハ前條ノ許可又ハ認可ニ關スル事務ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシム

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス
第一項ノ場合ニ於テ當該事務ニ從事スル日本銀行職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第六條 日本興業銀行ハ五十億圓ヲ限リ日本興業銀行法第十二條ノ規定ニ依リ制限ヲ超エテ債券ヲ發行スルコトヲ得
日本興業銀行ハ其ノ債券借換ノ爲債券ヲ發行スル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

〔朝一〕

日本興業銀行法第十六條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

政府ハ日本興業銀行ノ發行スル債券ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第七條 金資金ハ金資金特別會計法第四條ノ規定ニ依ルノ外之ヲ興業債券ニ運用スルコトヲ得

第七條ノ二 商工組合中央金庫ハ五千萬圓ヲ限リ商工組合中央金庫法第三十一條ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ債券ヲ發行スルコトヲ得

商工組合中央金庫ハ其ノ債券借換ノ爲債券ヲ發行スル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依テザルコトヲ得

商工組合中央金庫法第三十三條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第八條 命令ノ定ムル時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム會社ハ事業擴張ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲株金金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

第九條 命令ノ定ムル時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲商法ニ規定スル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十條 政府ハ第八條ノ規定ニ依リ資本ヲ増加シタル會社又ハ前條ノ規定ニ依リ社債ヲ募集シタル會社ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル擔保ヲ附スルコトヲ要ス

第十四條ノ三 報國債券ハ無利子トシ券面金額ヲ以テ之ヲ賣出スモノトス

第十四條ノ四 報國債券ハ發行ノ翌年ヨリ十年内ニ之ヲ償還スベシ

報國債券ニハ抽籤ヲ以テ割増金ヲ附スルコトヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣ノヲ定ム

第十四條第三項ノ規定ハ報國債券ニ之ヲ準用ス

第十四條ノ五 報國債券ノ所有者ガ長期ニ互リ郵便官署又ハ日本勸業銀行ニ其ノ債券ノ保管ヲ委託シタル場合ニ於テハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ當該債券ニ割増金ヲ附スルコトヲ得

第十五條 復興貯蓄債券法第三條ノ規定ハ貯蓄債券ニ、同法第六條、第七條第一項及第八條並ニ日本勸業銀行法第三十五條ノ二、第三十五條ノ三、第四十條及第四十二條ノ規定ハ貯蓄債券及報國債券ニ之ヲ準用ス但シ日本勸業銀行法第三十五條ノ二第一項中二十圓トアルハ三十圓トス

商法第二百九十六條乃至第二百九十八條ノ規定ハ貯蓄債券及報國債券ニハ之ヲ適用セズ

第十六條 政府ハ資金ノ狀況ヲ調査スル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ掲グル事項ニ關シ關係者ヨリ報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲スコトヲ得

一 資金ノ需給及移動ニ關スル事項

二 有價證券ニ關スル事項

三 國際收支ニ關スル事項

四 事業ノ資金計畫ニ關スル事項

五 事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル事項

第十六條ノ二 政府ハ第四條ノ二ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ又ハ

第十二輯 財務 第八章 資本移動 附資金調整及敵産管理

ル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十條ノ二 政府ハ土地其ノ他ノモノニシテ命令ノ定ムルモノヲ收用セラレ若ハ賣却シタル者又ハ其ノ利害關係人ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ代價トシテ受ケル金銀ノ處分ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十一條 資金使用ノ調整ニ關シ重要ナル事項ヲ調査審議スル爲臨時資金調整委員會ヲ置ク

臨時資金調整委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 第二條、第四條、第四條ノ二、第八條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ許可又ハ認可ニ關スル處分ニシテ重要ナルモノニ付テハ臨時資金審査委員會ノ議ヲ經ベシ

第十三條 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ收入金二十億圓ニ達スル迄貯蓄債券ヲ發行セシムルコトヲ得

貯蓄債券ハ無記名トシ券面金額ヲ三十圓以下トス

第十四條 貯蓄債券ハ發行ノ翌年ヨリ三十五年内ニ毎年二回以上抽籤ヲ以テ之ヲ償還スベシ

貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ賣出價格ノ三百倍以内ノ割増金ヲ附與スルコトヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣ノヲ定ム

前條ノ割増金ハ主務大臣ノ定ムル價格ニ依リ國債證券ヲ以テ交付スルコトヲ得

第十四條ノ二 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ收入金十五億圓ニ達スル迄報國債券ヲ發行セシムルコトヲ得

報國債券ハ無記名トシ券面金額ヲ十圓以下トス

〔朝一〕

第四條、第四條ノ二、第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ認可若ハ許可ニ附シタル條件ニ違反シテ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲シタル者ニ對シ其ノ中止ヲ命ズルコトヲ得

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以上ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ資金ノ貸付ヲ爲シ又ハ有價證券應募、引受若ハ募集ノ取扱ヲ爲シタル者

二 第四條第二項ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ株金拂込ノ催告又ハ社債ノ募集ヲ爲シタル者

三 第四條ノ二ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ又ハ第四條、第四條ノ二、第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ認可若ハ許可ニ附シタル條件ニ違反シテ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲シタル者

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

二 第十條ノ二ノ規定ニ基キ金銀ノ處分ニ關シ發スル命令ニ違反シタル者

三 第十六條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

四 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スベキ許可又ハ認可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者

第十八條ノ二 第十六條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨グ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前三條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行

一五〇一